

令和4年度

足立区立元洲江公園・生物園 指定管理業務

年度業務報告書

指定管理者

体験型いきものパークマネジメント

東京都立川市錦町2-1-22

代表 株式会社自然教育研究センター

代表取締役 税所 功一 印



令和4年度 元渚江公園・生物園  
指定管理業務 報告書

目 次

第一章 目標・計画

I 長期的展望と令和4年度の計画	
1.長期的展望（指定管理期間（5年間）を踏まえて）	1
（1）『体験型いきものパークマネジメント』実現に向けての4つの機能	
（2）3つの「活動の柱」	
2.令和3年度の計画	3
（1）重点的取り組み	
（2）数値目標	
（3）管理運営実施計画	
（4）事業予定	

第二章 利用促進・教育普及業務

I 利用促進・サービス向上	
1.受付窓口	9
（1）年間入園者数の月別推移とその傾向	
（2）入園料収入	
（3）インフォメーションの対応実績	
（4）来園者の声	
2.ミュージアムショップ	20
（1）利用状況	
（2）売り上げ状況	
（3）売上の内訳	
（4）キャッシュレス導入状況	
（5）オンラインショップ	
（6）商品展開	
（7）年間売上ランキング	
3.サービス向上の取り組み	32
（1）もっともっとモルモットキャンペーン	
（2）モルモットのふれあい体験再開	
（3）ふるさと納税	
（4）子どもの貧困対策	
（5）ひとり親家庭の親子への体験機会の提供事業（豆の木メール）	
（6）生物園・東武動物公園「年パス所持者特典相互減免キャンペーン」	
（7）無料招待券等の配布	
（8）ミュージアムショップでのキャンペーン実施	
II 展示解説業務	
1.展示解説実施および対応実績	35
2.夜間特別開園の実施	40

3. 参加型プログラムの実施	40
(1) 特別イベント	
(2) ふれあいプログラム	
(3) 導入型プログラム	
(4) 発展型プログラム	
4. ボランティア活動	44
(1) 昆虫飼育ボランティア	
(2) 公園花壇ボランティア	
(3) プレーリーダー	
5. 団体対応	45
(1) 団体プログラム	
(2) 出張授業	
(3) 教職員向け講座	
(4) 実習対応	
6. 展示による解説	49
(1) 園内表示	
(2) 常設展	
(3) 特別展・企画展	
7. 印刷物による解説	51
(1) セルフガイド	
(2) ニュースレター	
8. 元洲江公園における「ぼうけんあそび」事業	53

### Ⅲ 広報活動

1. メディア対応と掲載・放映の実績	55
(1) メディアへの情報配信	
(2) 掲載・放映実績	
2. インターネットによる情報発信	57
(1) ホームページのアクセス数	
(2) SNS の運用	
3. ポスター・チラシ等による情報発信	62
(1) ポスター	
(2) ニュースレター/チラシ	
(3) 中吊り広告	
4. その他の情報発信	65
(1) 幼稚園・保育園・その他児童施設や介護施設への FAX 配信	
(2) 足立区デジタルサイネージの活用	

## 第三章 生物飼育業務

### I 生物飼育業務

1. 令和 4 年度の飼育状況	67
(1) 昆虫類	
(2) 両生・爬虫類	
(3) 水族	
(4) 鳥類・哺乳類	

2. 各飼育区分の飼育種および活用実績リスト	68
(1) チョウ類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト	
(2) 水生昆虫類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト	
(3) 陸生昆虫類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト	
(4) 両生・爬虫類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト	
(5) 水族の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト	
(6) 鳥類・哺乳類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト	
3. 昆虫飼育展示の主な取り組み実績	74
(1) チョウ類の月別放蝶実績	
(2) 食草管理	
(3) ツシマウラボシシジミの生息域外保全	
(4) ホタルの飼育展示実績	
(5) フサヒゲルリカミキリの生息域外保全モデル事業	
4. 両生爬虫類飼育展示の主な取り組み実績	77
(1) 樹上性トカゲ飼育場への生体導入	
(2) サキシマキノボリトカゲの繁殖	
5. 水族飼育展示の主な取り組み実績	78
(1) サンゴの世界水槽の展示レイアウト変更	
(2) 持続可能な社会に向けた電気使用量削減の取り組み	
6. 鳥類・哺乳類飼育展示の主な取り組み実績	78
(1) ニホンリスの新規導入	
(2) アマミトゲネズミの生息域外保全について	
7. その他の取り組み実績	79
(1) 研修・会議	
(2) 交易	

## 第四章 連携業務

I 利用促進・教育普及に関わる連携	
1. 区民協働活動の推進・支援	81
(1) 元淵江公園・生物園利用促進協議会	
(2) 地元企業との連携	
2. 区内施設・イベントとの連携	85
(1) 足立区主催イベントとの連携	
(2) 区内施設との連携	
(3) 区内商業施設との連携	
(4) 「あだち自然の遊び場」連携	
3. 区外施設・イベントとの連携	86
II 大学等との連携・共同研究	
1. 連携・共同研究一覧	87
2. 連携・共同研究の進捗状況	87
(1) 子どもの居場所づくりプロジェクトに関する研究	
(2) ふれあい動物プロジェクトに関する研究	
(3) 絶滅危惧種を救うプロジェクトに関する研究	

## 第五章 施設維持管理業務

### I 元湊江公園の維持管理業務

1. 公園管理上の留意事項 . . . . . 91
2. 公園維持管理業務の主な内容 . . . . . 91
3. 令和4年度施設維持管理業務実施報告（元湊江公園） . . . . . 94
4. 公園維持管理作業の様子 . . . . . 95

### II 生物園の維持管理業務

1. 生物園維持管理業務の主な内容 . . . . . 103
2. 令和4年度施設維持管理業務実施報告（生物園） . . . . . 104
3. 生物園維持管理作業の様子 . . . . . 105

# 第一章 目標・計画

## I 長期的展望と令和4年度の計画

### 1. 長期的展望（指定管理期間（5年間）を踏まえて

#### (1) 『体験型いきものパーク』実現に向けての4つの機能

本共同体は、第一期指定管理業務期間（平成26年度～平成30年度）に続いて、元洲江公園および、生物園に『レクリエーションの場としての機能』、『環境学習の拠点としての機能』、『自然科学博物館としての機能』、『生物多様性保全の拠点としての機能』を位置づけ、『体験型いきものパーク』の実現を目指していきます。



#### (2) 3つの「活動の柱」

第一期（H26年度～H30年度）の指定管理業務におきましては、11年ぶりに「ホタルのタペ」を復活させたり、「わんフェス」や「さくらフェスタ」などの大型イベントを新規に立ち上げる等、生物園や元洲江公園の活性化に大きく前進できたと考えています。また、「おみやげ研究会」や「教育利用研究会」、「地域連携研究会」の活動を通し、区民協働・協創の実現に向けて大きな役割を果たしてきたと自負しております。

このような実績を踏まえて、第二期は以下の3つのプロジェクトを「活動の柱」として取り組んでいきたいと考えています。

なお、各プロジェクトの一環として取り組んだ活動については、以下のアイコンをそれぞれ報告書内に付けて示しています。ご参照ください。

### ① 足立区生物園型「ふれあい動物」プロジェクト

「ふれあい動物」は、どこの動物園や水族館でも実施されており、特に小さな子どもたちにとって人気のアクティビティとなっています。一方で、単に動物に触るだけの活動になってしまい、そこに動物介在教育や動物福祉の視点が十分に配慮されたものは、ほとんどないのが現状です。そこで地域密着型の生物園だからこそ実現できる「ふれあい動物」の構築を目指していきます。第二期指定管理では、「プランニング」「飼育設備の整備」「展示」「モニタリング（大学との共同研究）」「プロモーション」を戦略的に進めていきたいと考えています。



### ② 絶滅危惧種を救う！プロジェクト

「種の保存」「生物多様性の保全」についての活動を通して、「区民の誇り」になる生物園を目指していきます。現在、環境省によって国内希少野生動植物として395種が指定されています。緊急に対策を行わなければ絶滅してしまう生物も多く含まれています。生物園では、可能な限りそれらの生物の生息域外保全に取り組み、「〇〇の絶滅を防いだ生物園」として足立区民が誇りに思えるような施設にしていきたいと考えています。

例：ツシマウラボシシジミ、フサヒゲルリカミキリ等いずれも国内希少野生動植物種



### ③ 子どもの居場所づくりプロジェクト

元漕江公園は住宅に囲まれている公園でありながら、広い草地、雑木林、釣り池など様々な環境があります。それらの豊富な環境や素材を使った外遊びを通して、子どもの中の様々な側面に光を当てることで自己肯定感を高め、家庭・学校以外の居場所となることを目指します。また、ひとり親家庭や貧困家庭の子どもたちの居場所となるよう生物園の利用に関するサービスの向上に努めます。具体的な取り組み案は以下のとおりです。

- 子どもたちの自主性と地域のつながりを育む公園遊びプログラムの充実
- ひとり親家庭の子どもに対するプログラム参加機会の公平化
- 貧困家庭の子どもに対する年間パスポートの無償提供



## 2. 令和4年度の計画

### (1) 重点的取り組み

生物園の3つの活動の柱として掲げた「子どもの居場所づくりプロジェクト」、「足立区生物園型『ふれあい動物』プロジェクト」、「絶滅危惧種を救う！プロジェクト」の推進とともに、コロナ禍での利用者に対する利便性の向上を目指します。また、飼育動物について動物福祉の向上と評価基準の作成に着手します。

#### ① 3つの「活動の柱」の推進

##### ● 子どもの居場所づくりプロジェクト

子どもの貧困対策担当課と連携し、支援を必要とする子ども（家庭）に年間パスポートの無償提供を実現させることで家庭の経済格差による利用機会の不均等をできるだけ解消します。この事業には第一生命保険株式会社もCSRの一環として関心を持っていただいております、資金的な協力が得られる可能性があります。

##### ● 足立区生物園型「ふれあい動物」プロジェクト

動物介在教育や動物福祉の視点に配慮することに加え、感染症対策も考慮した新しいふれあいの形を展示・プログラムの双方で実現を目指します。

- 小動物、ふれあいコーナーの改修計画の作成：帝京科学大学との連携
- ふれあい動物プログラムの開発：帝京科学大学の出張授業プログラムとの連携
- 動物福祉に関する調査、研究：帝京科学大学との連携

##### ● 絶滅危惧種を救う！プロジェクト

環境省と連携した国内希少野生動植物種の保護増殖を推進します。また、SNSやあだち広報、外部向けの講座や講演会を通じて生物園の絶滅危惧種保全の取り組みとその成果を広く区民に知っていただく活動に力を入れます。

- ツシマウラボシシジミ：飼育繁殖技術の確立と他園館への技術供与
- フサヒゲルリカミキリ：伊丹市昆虫館と連携した累代飼育技術の開発
- アマミトゲネズミ：繁殖支援施設として生息域外保全個体群の維持に協力

#### ② 動物福祉の向上に関する取り組み

世界動物園水族館協会（WAZA）は、加盟団体（JAZA 等）が2023 年末までに動物福祉の評価体制を整えて監査することを要請しています。それを受けて JAZA は、2023 年末までに、まず WAZA に直接加盟している国内の10 園館に動物福祉評価手順を実施し、その後、すべての JAZA 加盟園館に対して順次、動物福祉評価手順を行い、動物福祉向上を図っていくとしています。



##### ● 生物園における動物福祉基準の検討

現在策定が進められている公益社団法人日本動物園水族館協会（JAZA）の動物福祉基準を精査し、生物園の飼育施設の課題を抽出します。また、動物福祉基準に適合

した設備面の検討も併せて行います。

- 日本動物園水族館協会（JAZA）の動物福祉基準に対する生物園の現状評価
- 生物園における動物福祉チェックリスト案の作成
- リスザル展示室の改修計画案の作成
- ふれあい動物コーナーの改修計画案の作成



### ③ 自主事業の新たな展開

- リモートに対応した新規プログラムの開発

授業での来園が叶わない場合の小学校向けプログラムや、実習生・教員向けの体験型講座についてリモート方式を活用したプログラムの開発を行います。

また、Dream Night at the Zoo も新型コロナウイルス感染症の状況によっては、リモートでの対応も検討します。動画や生きもの素材を用いたプログラムの開発を行い、自宅でも障がいを感じず楽しめる内容とします。 ※令和3年度試行済み

- 小学校向け動物介在教育プログラムの開発

帝京科学大学と連携して生物園の教育的な質の向上と利用促進を図ります。

具体的には、生物園での保育園・幼稚園、小学校を対象とした「ふれあい動物プログラム」の事前・事後学習に帝京科学大学の「動物介在活動プログラム」を位置づけ、プログラムの共同開発を行います。また、秋以降、2～3校を目標に実践に移していきたいと考えています。

- 帝京科学大学「サテライト展示」の設置に協力

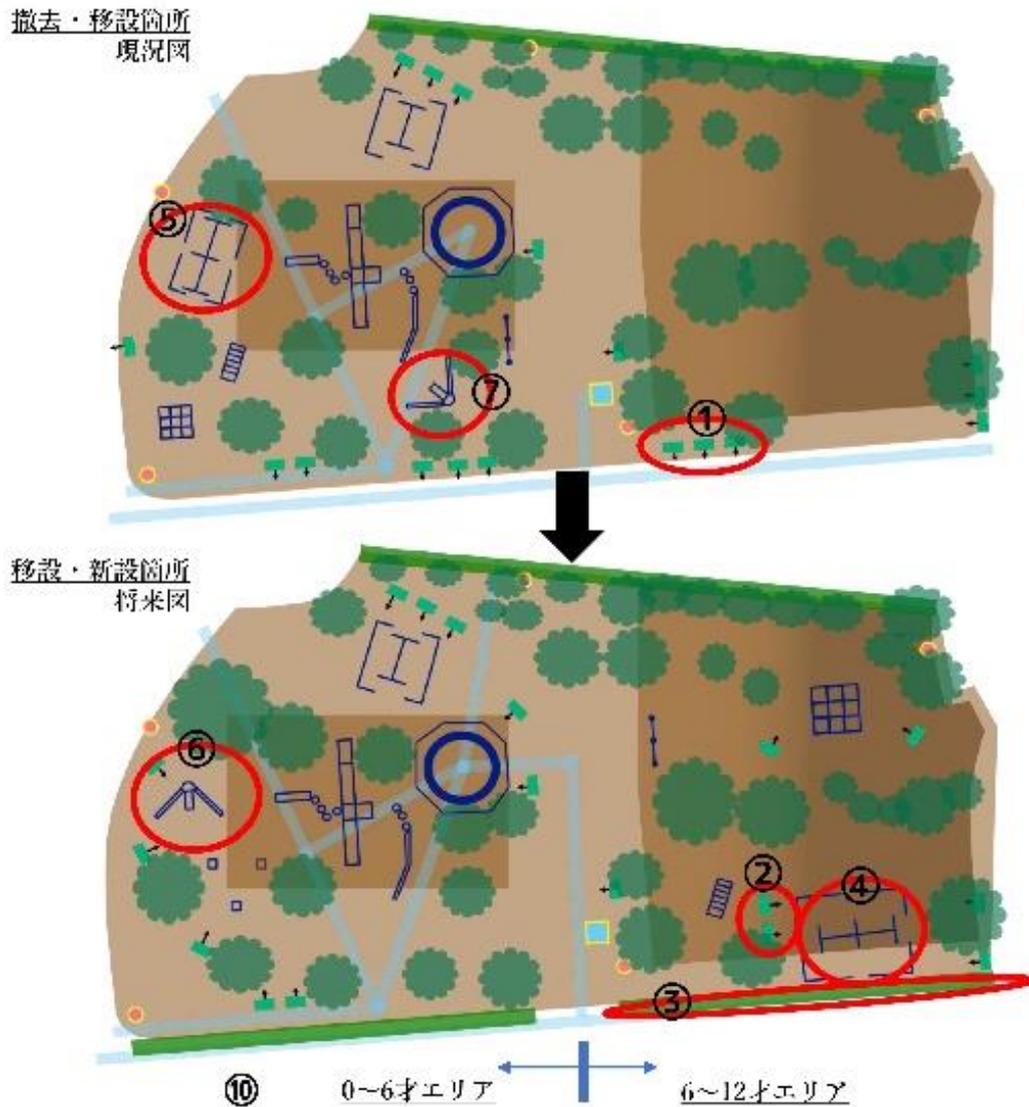
評価委員より大学連携の成果が見えにくいとのご指摘をいただいています。そこで、生物園内に共同研究の概要や成果をPRするための展示ブースを設置する方向で準備を進めています。

### ④ 遊具広場の再整備

多くの利用者で賑わう元洲公園の遊具広場ですが、ハード面等において様々な課題を抱えており、安全面への配慮から使用を禁止している遊具もあるのが現状です。そこで、遊具広場の改修に着手し、段階的に利用者の利便性を向上させていきたいと考えています。

令和4年度の工事予定

- 【移設】ベンチ移設前（3基）…①
- 【移設】ベンチ移設後（3基）…②
- 【新設】南東園路際土留め・盛土施工…③
- 【新設】大型4連ブランコ（SW-14）新設…④
- 【撤去】大型4連ブランコ撤去不陸整正…⑤
- 【新設】幼児用滑り台…⑥
- 【撤去】ステンレス滑り台撤去、不陸整正…⑦



## (2) 数値目標

### ① 目標入園者数：218,000人

提案書でお示した年間目標入園者数 218,000 人を目指したいと考えています。ただし、未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、休園や入園制限などの措置を取らざるを得ない状況も想定されます。よって、今後の状況次第では目標値の下方修正も念頭に置き、必要に応じて見直しを行います。

### ② 生物園目標収入額：45,190,000円

指定管理料および、預り金を除く収入額の目標を 45,190 千円とします。収入の内訳は以下のとおりです。

ただし、新型コロナウイルス感染症の再拡大による休園措置等が取られた場合は、下方修正をする可能性があります。

収支区分	内容	金額（単位：千円）
収 入 (指定管理料・預り金を除く)	入園料	26,100
	ミュージアムショップ	16,000
	アニマルベンダー（生物のエサ販売等）	1,000
	有料プログラム	1,500
	有料対応（出張生物園等）	290
	補助金・助成金	100
	雑収入	200
合計		45,190

③ ミュージアムショップ目標収入額：16,000,000円

ミュージアムショップは安定的な生物園の運営を実現するために重要な収入源です。利用者ニーズを汲み取り、魅力的かつ、生物園らしい環境教育に資する商品を充実させることに取り組みます。また、来園者だけでなく自宅からでもミュージアムショップにアクセスできるようにオンラインショップを展開し、収入目標額の達成を目指します。

ただし、新型コロナウイルス感染症の再拡大による休園措置等が取られた場合は、下方修正をする可能性があります。

④ 目標年間対応率：200%以上

来園される全ての方に生物園の魅力を伝え、生物や生命の尊さに気付いてもらうため、解説員や飼育員などによる対応をできるかぎり行えるよう努力していきたいと考えています。そこで、総入園者数に対する延べ対応者数の割合が200%を超えることを目標とします。なお、対応者数としてカウントするのは下記の通りです。

インフォメーション: 受付での「見どころ紹介」「イベント案内」「展示案内」など

レンジャートーク: 解説員による「生物解説」「質問対応」「展示解説」など

プログラム: 対象者のレベルに応じて「ふれあい」「導入型」「発展型」など

⑤ 発展型プログラムの目標応募率：120%以上

発展型プログラムは、あらかじめそのテーマに関心を持った方を対象に、より高度な内容で実施するため、募集形式を事前申込にしています。そのため応募状況がそのプログラムの人気（ニーズ）のひとつの目安となります。そこで、定員に対する応募者数の割合を応募率とし、それが120%を超えるよう、タイトルや内容、広報などを工夫していきます。

⑥ 導入型プログラムの目標参加率：100%

気軽に参加でき、生物や生命に関心を持つきっかけとなるよう、導入型プログラムは当日申込の形式をとっています。休日には、このプログラムの参加を目的に来園される方も多くいます。

天候などに影響を受けることもありますが、プログラムのニーズの目安として、定員に対する参加者数の割合を参加率とし、それが100%に達するよう努力します。



(4) 事業予定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	金: まへし〜園長のガイドツアー ほ乳類のショー ハッピーバースデー	日: 生きものガイド	水: ちびっこプログラム	1	金: まへし〜園長のガイドツアー ほ乳類のショー	月: まへし〜園長のガイドツアー ほ乳類のショー	木: まへし〜園長のガイドツアー ほ乳類のショー	1	土: 春の園遊会 まへし〜園長のガイドツアー ほ乳類のショー	火: 生きものガイド	1	日: 年末年始休暇	水: ちびっこプログラム
2	土: まへし〜園長のガイドツアー ほ乳類のショー	月: 休園日	木: ちびっこプログラム	2	土: まへし〜園長のガイドツアー ほ乳類のショー	火: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	2	日: 生きものガイド	水: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	木: ちびっこプログラム	
3	日: 生きものガイド 手作りポップ	火: 春の園遊会 タンゴムシ	金: ちびっこプログラム	3	日: 生きものガイド	水: ちびっこプログラム	木: まへし〜園長のガイドツアー ほ乳類のショー 園くしゅわい	3	月: 休園日	木: 文化の日 わんフェス	土: まへし〜園長のガイドツアー ほ乳類のショー	日: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム
4	月: ちびっこプログラム	水: みどりの日	土: まへし〜園長のガイドツアー ほ乳類のショー	4	月: 休園日	火: ちびっこプログラム	水: 生きものガイド	4	火: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	日: 生きものガイド	土: まへし〜園長のガイドツアー ほ乳類のショー	月: まへし〜園長のガイドツアー ほ乳類のショー
5	火: ちびっこプログラム	木: こどもの日 折り紙	日: 生きものガイド	5	火: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	月: 休園日	5	水: ちびっこプログラム	土: まへし〜園長のガイドツアー ほ乳類のショー	月: 休園日	日: 生きものガイド	金: ちびっこプログラム
6	水: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	月: 休園日	6	水: ちびっこプログラム	土: まへし〜園長のガイドツアー ほ乳類のショー Dreamlight at the Zoo 2022 体験	火: ちびっこプログラム	6	木: ちびっこプログラム	日: 生きものガイド	火: ちびっこプログラム	6	金: ちびっこプログラム
7	木: ちびっこプログラム	土: まへし〜園長のガイドツアー ほ乳類のショー	火: ちびっこプログラム	7	木: ちびっこプログラム	月: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	7	金: ちびっこプログラム	月: 休園日	水: ちびっこプログラム	7	土: まへし〜園長のガイドツアー ほ乳類のショー
8	金: ちびっこプログラム	日: うらがわ探検ツアー	水: ちびっこプログラム	8	金: ちびっこプログラム	月: ちびっこプログラム	木: ちびっこプログラム	8	土: ほ乳類のショー	火: ちびっこプログラム	木: ちびっこプログラム	8	日: うらがわ探検ツアー
9	土: ほ乳類のショー	月: 休園日	木: ちびっこプログラム	9	土: ほ乳類のショー	火: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	9	日: うらがわ探検ツアー	水: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	9	月: 大人の飼育員体験
10	日: うらがわ探検ツアー	火: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	10	日: うらがわ探検ツアー	土: ほ乳類のショー	月: ほ乳類のショー	10	月: スポーツの日 チリメンジャコの生きもの	木: ちびっこプログラム	土: ほ乳類のショー	10	火: 休園日
11	月: 休園日	水: ちびっこプログラム	土: ほ乳類のショー	11	月: 休園日	月: 山の日 展示をつくろう	火: うらがわ探検ツアー	11	火: 休園日	金: ちびっこプログラム	日: うらがわ探検ツアー	11	水: ちびっこプログラム
12	火: ちびっこプログラム	木: ちびっこプログラム	日: うらがわ探検ツアー	12	火: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	月: 休園日	12	水: ちびっこプログラム	土: ほ乳類のショー	月: 休園日	12	木: ちびっこプログラム
13	水: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	月: 休園日	13	水: ちびっこプログラム	土: ほ乳類のショー	火: ちびっこプログラム	13	木: ちびっこプログラム	日: うらがわ探検ツアー	火: ちびっこプログラム	13	金: ちびっこプログラム
14	木: ちびっこプログラム	土: ほ乳類のショー	火: ちびっこプログラム	14	木: ちびっこプログラム	日: うらがわ探検ツアー 標本づくり	水: ちびっこプログラム	14	金: ちびっこプログラム	月: 埼玉県民の日 休園日	水: ちびっこプログラム	14	土: ほ乳類のショー
15	金: ちびっこプログラム	日: チョウの飼育体験 生きものガイド	水: ちびっこプログラム	15	金: ちびっこプログラム	月: ちびっこプログラム	火: ちびっこプログラム	15	土: 無料開園日	火: ちびっこプログラム	木: ちびっこプログラム	15	日: チョウの飼育体験 生きものガイド・ポニー
16	土: 無料開園日	月: 休園日	木: ちびっこプログラム	16	土: 無料開園日	火: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	16	日: チョウの飼育体験 生きものガイド 家族で釣り教室	水: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	16	月: 休園日
17	日: チョウの飼育体験 生きものガイド	火: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	17	日: チョウの飼育体験 生きものガイド	土: 無料開園日	月: 無料開園日	17	月: 休園日	木: 無料開園日 クリスマスプレゼント	土: 無料開園日	17	火: ちびっこプログラム
18	月: 休園日	水: ちびっこプログラム	土: 無料開園日	18	月: 休園日	月: 海の日 カブトムシを飼おう	火: ちびっこプログラム	18	火: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	日: チョウの飼育体験 生きものガイド	18	水: ちびっこプログラム
19	火: ちびっこプログラム	木: ちびっこプログラム	日: チョウの飼育体験 生きものガイド	19	火: 休園日	月: 春の園遊会 発展型フラクトン	水: ちびっこプログラム	19	水: ちびっこプログラム	土: 無料開園日	月: 休園日	19	木: ちびっこプログラム
20	水: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	月: 休園日	20	水: ちびっこプログラム	土: 無料開園日 夜のカエル観察会	火: 休園日	20	木: ちびっこプログラム	日: チョウの飼育体験 生きものガイド	火: ちびっこプログラム	20	金: ちびっこプログラム
21	木: ちびっこプログラム	土: 無料開園日	火: ちびっこプログラム	21	木: ちびっこプログラム	月: チョウの飼育体験 生きものガイド	水: ちびっこプログラム	21	金: ちびっこプログラム	月: 休園日	水: ちびっこプログラム	21	土: 無料開園日
22	金: ちびっこプログラム	日: うらがわ探検ツアー 季節のみどころ (BG)	水: ちびっこプログラム	22	金: ちびっこプログラム	火: ちびっこプログラム	木: ちびっこプログラム	22	土: ほ乳類のショー	火: ちびっこプログラム	木: ちびっこプログラム	22	日: うらがわ探検ツアー 季節のみどころ (昼)
23	土: ほ乳類のショー	月: 休園日	木: ちびっこプログラム	23	土: ほ乳類のショー	火: ちびっこプログラム	金: 秋分の日	23	日: うらがわ探検ツアー 季節のみどころ (昼)	水: 動物感謝の日 こども飼育員	金: ちびっこプログラム	23	月: 休園日
24	日: うらがわ探検ツアー 季節のみどころ	火: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	24	日: うらがわ探検ツアー 季節のみどころ (昼) カブトムシを飼おう	土: ほ乳類のショー	月: ちびっこプログラム	24	月: 休園日	木: ちびっこプログラム	土: ほ乳類のショー	24	火: ちびっこプログラム
25	月: 休園日	水: ちびっこプログラム	土: ほ乳類のショー	25	月: ちびっこプログラム	日: うらがわ探検ツアー 季節のみどころ (BG)	火: ちびっこプログラム	25	火: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	日: うらがわ探検ツアー 季節のみどころ (BG)	25	水: ちびっこプログラム
26	火: ちびっこプログラム	木: ちびっこプログラム	日: うらがわ探検ツアー 季節のみどころ (ドーム) パードショー	26	火: ちびっこプログラム	月: 休園日	水: ちびっこプログラム	26	水: ちびっこプログラム	土: ほ乳類のショー	月: ちびっこプログラム	26	木: ちびっこプログラム
27	水: ちびっこプログラム	金: ちびっこプログラム	月: 休園日	27	水: ちびっこプログラム	土: ほ乳類のショー	火: ちびっこプログラム	27	木: ちびっこプログラム	日: うらがわ探検ツアー 季節のみどころ (ドーム)	火: ちびっこプログラム	27	金: ちびっこプログラム
28	木: ちびっこプログラム	土: ほ乳類のショー	火: ちびっこプログラム	28	木: ちびっこプログラム	日: うらがわ探検ツアー 季節のみどころ (ドーム)	水: ちびっこプログラム	28	金: ちびっこプログラム	月: 休園日	水: ちびっこプログラム	28	土: ほ乳類のショー
29	金: 昭和の日 導入フラクトン	日: 春の園遊会	水: ちびっこプログラム	29	金: セミ羽化	月: ちびっこプログラム	火: ちびっこプログラム	29	土: ほ乳類のショー	火: ちびっこプログラム	木: 年末年始休暇	29	日: サカナの解剖
30	土: ほ乳類のショー ヒツジの毛	月: 休園日	木: ちびっこプログラム	30	土: ほ乳類のショー セミ羽化	火: ちびっこプログラム	水: ちびっこプログラム	30	日: ちびっこプログラム	金: 年末年始休暇	30	月: 休園日	火: ちびっこプログラム
31	日: チョウの翅を見てみよう	火: ちびっこプログラム	月: ちびっこプログラム	31	日: チョウの翅を見てみよう	水: ちびっこプログラム	木: ちびっこプログラム	31	月: 休園日	土: 年末年始休暇	31	火: ちびっこプログラム	水: ちびっこプログラム



## 第二章 利用促進・教育普及業務

### I 利用促進・サービス向上

#### 1. 受付窓口

##### (1) 年間入園者数の月別推移とその傾向

令和4年度の年間目標来園者数は218,000人としていましたが、実績は210,173人で、目標値比-7,827人(96.4%)となりました。

目標に届かなかった大きな要因は、6月に開催した「ホテルの夕べ」の実施方法によるものと考えます。コロナ禍以前は、開催時間中にお並びいただいた全ての観賞希望者にご入園いただきましたが、昨年度および今年度の開催については感染症対策として密を避けるため定員を定めた事前募集形式にしたことで、入園者数が4,000~5,000人減となりました。また、3月は例年花見客で賑わい、それに伴い生物園の利用者も多くなります。しかし、今年度は桜の開花時期に雨天日が多く、例年に比べ2000人程の入園者減になりました。

ただし、新型コロナウイルスの感染者数が過去最多となった第7波、第8波を受けつつも、月別で見ると1月の入園者数は過去最高値を記録するなど、コロナ禍前の状況に戻りつつあることも実感できました。今後は、安全・安心を優先しつつも、社会動向を把握ながら生物園の活性化を積極的に図っていきたいと考えています。

令和4年度 生物園入園状況一覧表

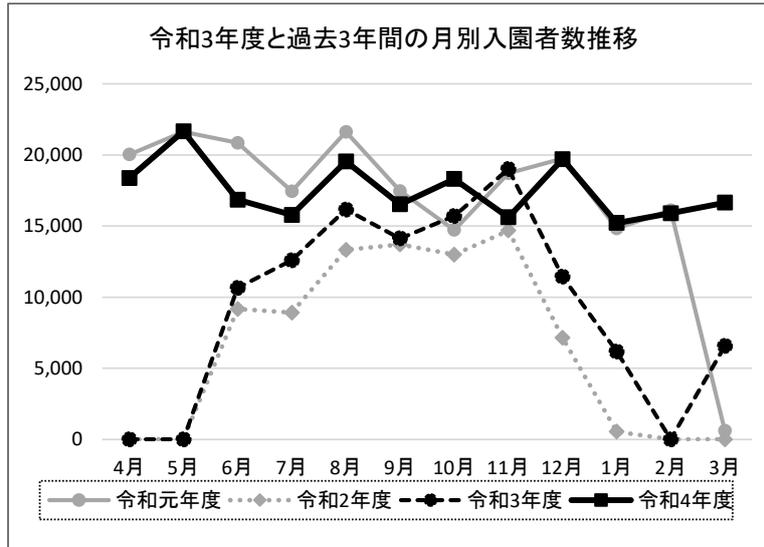
(単位：人)

月	有料入園									無料入園										総入園者数 (A+B)					
	一般料金				団体料金		人数合計 (A)			入園料免除				パスポート入園		人数合計 (B)									
	一日券		パスポート購入		大人	小人	大人	小人	合計	申請書		幼児	高齢	身障		大人	小人	大人	小人	大人	小人	合計	大人	小人	合計
	大人	小人	大人	小人						大人	小人			大人	小人										
4	7,421	2,199	198	78	0	0	7,619	2,277	9,896	552	190	5,576	291	408	131	1,130	206	2,381	6,103	8,484	10,000	8,380	18,380		
5	9,499	2,593	194	56	33	36	9,726	2,685	12,411	449	275	6,239	361	417	102	1,197	213	2,424	6,829	9,253	12,150	9,514	21,664		
6	6,062	1,492	144	30	12	11	6,218	1,533	7,751	1,417	749	5,134	290	338	75	961	139	3,006	6,097	9,103	9,224	7,630	16,854		
7	6,376	2,030	150	45	0	0	6,526	2,075	8,601	394	378	4,536	266	313	76	1,056	169	2,029	5,159	7,188	8,555	7,234	15,789		
8	7,859	2,866	124	25	0	0	7,983	2,891	10,874	772	423	5,399	310	344	117	1,107	199	2,533	6,138	8,671	10,516	9,029	19,545		
9	6,283	1,519	171	32	17	16	6,471	1,567	8,038	521	1,085	4,896	288	315	83	1,092	209	2,216	6,273	8,489	8,687	7,840	16,527		
10	6,996	1,856	177	41	0	0	7,173	1,897	9,070	880	765	5,337	371	441	87	1,169	191	2,861	6,380	9,241	10,034	8,277	18,311		
11	5,749	1,402	163	29	16	10	5,928	1,441	7,369	530	1,289	4,533	306	319	78	1,048	149	2,203	6,049	8,252	8,131	7,490	15,621		
12	7,510	2,469	144	32	0	0	7,654	2,501	10,155	1,138	899	5,013	425	473	92	1,331	183	3,367	6,187	9,554	11,021	8,688	19,709		
1	5,878	1,481	179	36	0	0	6,057	1,517	7,574	442	458	4,709	320	326	70	1,122	199	2,210	5,436	7,646	8,267	6,953	15,220		
2	6,001	1,306	169	26	0	0	6,170	1,332	7,502	619	515	5,089	275	350	114	1,254	186	2,498	5,904	8,402	8,668	7,236	15,904		
3	6,085	1,730	172	38	0	0	6,257	1,768	8,025	521	263	5,542	360	363	86	1,299	190	2,543	6,081	8,624	8,800	7,849	16,649		
計	81,719	22,943	1,985	468	78	73	83,782	23,484	107,266	8,235	7,289	62,003	3,863	4,407	1,111	13,766	2,233	30,271	72,636	102,907	114,053	96,120	210,173		

令和4年度と過去3年間の月別入園者数推移の比較

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度	20,037	21,628	20,859	17,451	21,631	17,467	14,730	18,715	19,751	14,834	16,127	612	203,842
(元年度累計)	20,037	41,665	62,524	79,975	101,606	119,073	133,803	152,518	172,269	187,103	203,230	203,842	
令和2年度	0	0	9,172	8,914	13,328	13,708	12,992	14,683	7,144	550	0	0	80,491
(2年度累計)	0	0	9,172	18,086	31,414	45,122	58,114	72,797	79,941	80,491	80,491	80,491	
令和3年度	0	0	10,660	12,597	16,166	14,131	15,711	19,009	11,437	6,179	0	6,569	112,459
(3年度累計)	0	0	10,660	23,257	39,423	53,554	69,265	88,274	99,711	105,890	105,890	112,459	
令和4年度	18,380	21,664	16,854	15,789	19,545	16,527	18,311	15,621	19,709	15,220	15,904	16,649	210,173
(4年度累計)	18,380	40,044	56,898	72,687	92,232	108,759	127,070	142,691	162,400	177,620	193,524	210,173	
前年同月比%	#DIV/0!	#DIV/0!	158.1	125.3	120.9	116.9	116.5	82.1	172.3	246.3	#DIV/0!	253.4	
前年同月累計比%	#DIV/0!	#DIV/0!	533.7	312.5	233.9	203.0	183.4	161.6	162.8	167.7	182.7	186.8	



(2) 入園料収入

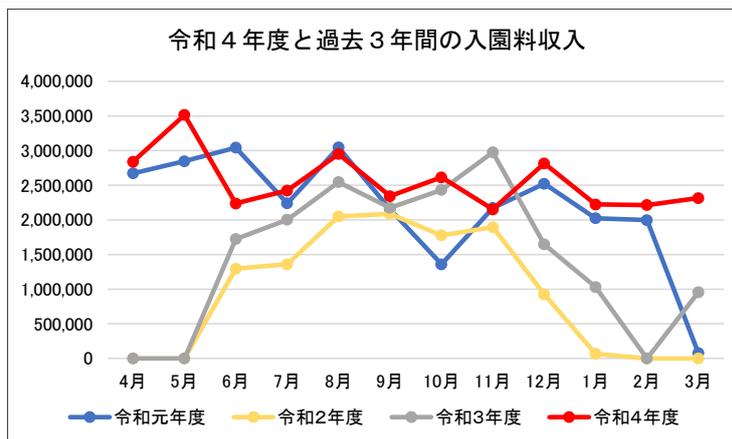
今年度の生物園の入園料収入は 30,642,850 円でした。

予算書上の目標額と比較すると+4,542,850 円、前年度比では+13,158,400 円 (175.3%) となりました。

令和4年度と過去3年間の入園料収入の比較

(単位：円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度	2,671,600	2,847,000	3,043,100	2,238,450	3,046,500	2,154,350	1,358,450	2,171,650	2,522,150	2,024,350	1,997,050	78,150	26,152,800
令和2年度	0	0	1,296,150	1,359,450	2,049,600	2,087,700	1,776,750	1,894,200	924,300	65,850	0	0	11,454,000
令和3年度	0	0	1,723,200	2,001,600	2,545,650	2,174,700	2,432,100	2,975,250	1,645,950	1,031,550	0	954,450	17,484,450
令和4年度	2,840,550	3,515,250	2,236,700	2,424,300	2,951,400	2,342,150	2,614,200	2,152,200	2,815,350	2,221,950	2,214,600	2,314,200	30,642,850



(3) インフォメーションの対応実績

受付では入園券の受け取りや年間パスポート作成の他に、来園者に対して、利用やイベント、展示情報などニーズに合わせた適切な情報提供も行っています。今年度受付で対応したインフォメーションの実績は、年間 141,455 回、141,496 人になりました。

生物園の入り口に位置する受付は、来園者にとって最も生物園の印象を受けやすい場のひとつとなります。そのため「元気に笑顔で…」をモットーに積極的な接客対応を心がけました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、園内における感染対策についての説明、中止プログラムのご案内なども行いました

令和4年度インフォメーション対応実績

(単位:回・人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
回数	12,386	14,824	11,129	10,634	12,662	11,119	13,265	10,695	13,106	10,089	10,696	10,850	141,455
大人	7,934	9,560	7,483	6,868	8,084	7,335	8,657	6,984	9,091	7,527	7,744	6,785	94,052
小人	4,452	5,264	3,646	3,766	4,568	3,835	4,608	3,711	4,015	2,562	2,952	4,065	47,444
対応人数	12,386	14,824	11,129	10,634	12,652	11,170	13,265	10,695	13,106	10,089	10,696	10,850	141,496

(4) 来園者の声

ご来園下さるみなさまが満足していただけるように、寄せられた要望は真摯に受け止め、よりよいサービスを提供できるように心がけた対応を行なっています。

月例会議にてこれらの声を、区へ報告・提案し、改善へつなげることで、来園者へのサービス向上に努めました。会議で取り上げた1年間のお客様の声を以下の表にまとめました。

① ポジティブなご意見

	来園者の声	年齢	性別	対応	結果
4月	対馬出身です。ツシマウラボシシジミとてもありがとうございます。	45歳	男性		済
	見応えと情報量がすごく、とても満喫できました！とても素晴らしい施設だと思います。ミュージアムショップも沢山品ぞろえがあって良かったです！また来ます！！アズマヒキガエルを見に！！	22歳	女性		済
	ほねのこうぞうがよくわかった。ちょうの方からとまりにくるんだなと思った。	8歳	男性		済
	アロワナのえさをあげるところがすごかったです。ばいてんがみりよくてきでした。またきます！！	13歳	女性		済
	東京、千葉の動物園に色々行きましたが、とてもクオリティの高い展示でおどろきました。また来ます！	35歳	女性		済
5月	YouTubeたのしくみえます。ピラルクのエサやり見れてよかったです。	6歳	男性		済
	楽しかったです！館内がキレイで気分がいいです。	32歳	女性		済
	チンチラがかわいかったです。職員さんが気軽に質問に答えて下さってうれしかったです！	23歳	女性		済

6月	息子の質問に丁寧に答えて下さりありがとうございました。大満足でした！	40歳	女性		済
	10年以上ぶりに来ましたが、生物が沢山いて、大規模になっていて、楽しかったです。	21歳	女性		済
	パンがおいしかった、かわいかった。プログラムが良かった。	31歳	女性		済
7月	チョウがみ近に見ることができてとてもかんげきしました。	8歳	女性		済
	動物に対する愛情や思いを感じれる飼育方法でした。とてもたのしむことができました。また来たいと思います。	27歳	男性		済
	とても楽しく過ごせました！展示もキレイで近くで見られて嬉しかったです！ありがとうございます！また来ます！	40歳	女性		済
8月	なんで今まで来なかったんだろう…損した気分です！もっと早く来たかった！！ すごくすごく学びがありました。 またヒメハリとワライカワセミ、ピラルクーに会いにきます	24歳	女性		済
	すっかりハマってしまい、リピーターになってしまいました。 ワライカワセミの羽を購入できて大満足です。 またあそびにきます！！				済
	ものすごくたのしかったです！また来たいと思います！コロナで中止になっている所が、使えるようになることを願います	不明	不明		済
9月	とてもおもしろいところでした。 とくにニホンリスのいどうをましたからみれたのでうれしかった。	8歳	女性		済
	蝶をよく見ることができて良かった。他にも色々ないきものを見られて楽しかった。エサやりや放蝶など時間差でイベントがあってあきさせない工夫がなされていると思った。ミュージアムグッズのオリジナリティが光っていた。	55歳	女性		済
10月	生きものが大切に飼育されているのがわかります。これからも頑張ってください。	50歳	女性		済
	展示がとても清潔で感心しました。 生きものが大切にされているのを感じました。 友人・知人にも宣伝します。これからもガンバッテ下さい。	50歳	女性		済
11月	昆虫の森に今ではまったく見なくなった、ジュズの実、オサモミ？があり感動しました。いつまでも残して欲しいです。年間パス買いました。	58歳	女性		済
12月	えんちょうさんのお話がおもしろくてもっといっしょに話したかったからまた来ます	7歳	女性		済
	素敵な園でよかったです。体験コーナー等の解説ありがとうございました。オリジナルグッズとてもいいですね。	26歳	女性		済
	初めてみる虫・生物がたくさんいて楽しかった。 虫・魚・動物・植物について知ることができてよかったです。	7歳	男性		済
1月	充実の内容で、とてもおどろきました。 すばらしいと思います。	40歳	女性		済
	いろいろなどうぶつがいろいろなせいたいがかっていいと思いました。	7歳	男性		済
2月	これからもちょうちょうがみたいです。 高校生になっても来るのでたのしみにしています。	15歳	男性		済
	わかりやすくポップに生きものの説明がされていて見やすかったです。生物たちの幅も、動物（哺乳類など）、昆虫、植物と広くて「生き物」全体的話をするのによかったです。	19歳	男性		済

2月	ゴキブリがかわいい。 カブト虫・クワガタをもっと好きになった。もっといろいろなせいがすきになった。 ありがとうございます。	7歳	女性		済
3月	モルモットのおにぎりに会いに来たのですが、モルモット以外にも多くの生物たちがのびのびと暮らしていて、見ていて楽しく来てよかったと思いました。また来たいと思います！（大阪からのご来園）	22	女性		済
	また来たいです！セルフガイドがあつて助かります。	8	女性		済
	素晴らしい施設でした。スタッフの日々の成果だと思えます。横浜から来ましたが、とても良かったです		女性		済
	楽しくしかったです！質問にも色々答えてくれて充実した時間を過ごせました！（女性2人組）		女性		済
	30年振りに、子供たちを連れてきた、とても懐かしいです（三世代のご家族）				済

## ② 要望・課題

	来園者の声	年齢	性別	対応	結果
4月	発達が遅いため、カタカナ読めません。ぜひ、ひらがなもおねがいます。	不明	不明	貴重なご意見ありがとうございます。園内の表示物に関しては、スペースの都合上これ以上情報を増やすことは困難と考えています。開園時は園内を解説員が頻繁に巡回していますので、表記物でお困りな点がございましたら是非解説員にお声がけください。	済
5月	昆虫のドーム付近で「カエルを踏んでしまった！」と言っている人がいました。たしかに小さなカエルが何匹か歩いていました。ドアの所に注意書きがあるのを後から見ましたが、出沒する場所にもあるといいのでは。	57歳	女性	貴重なご意見ありがとうございます。上陸直後の小さなカエルが出沒する場所は、庭園の全ての場所です。そのため、庭園への出入口に注意書きを掲示しています。庭園に出る際に気付きやすいようにデザイン等を検討いたします。	済
	年パス買いました。安くうれしいですが、毎回用紙を記入するのがめんどです。年パスの人は、データを登録するなどすればよいのでは？	不明	女性	年間パスポートのご購入ありがとうございます。ご購入時にご記載いただく内容については、個人情報に当たりますので作成後最低限の情報以外は破棄しています。恐れ入りますが、作成毎の必要事項記載にご協力をお願い致します。	済
	ホテルのタペをWEBでの受付も出来るようにしてほしい。	30代	女性	貴重なご意見ありがとうございます。現在、事前申し込みのプログラムについてはWEBでの募集を検討し初めております。具体的な内容が決まりましたら、ご案内いたします。	済
6月	ダンゴムシプログラムの人数が少ないのでは？	60代	女性	申し訳ございません。感染症対策で3密を避けるために会議室の利用人数を制限しています。ご理解のほど、宜しくお願い致します。	済
	イモムシのウンチが欲しくて来たが、ガチャガチャで出なかった。交換も不可ならうんちを売ってください。お願いします。		女性	ガチャガチャの商品に関しては、商品の性質上不良品以外の交換は承れません。また、うんちストラップの個別販売の予定は今のところございません。ご理解いただければ幸いです。	済
7月	もっとすずしく	11歳	男性	ご不便をおかけして申し訳ありません。新型コロナウイルスの感染拡大防止措置として、園内の換気を徹底していますので通常よりエアコンの効きが悪くなっています。生きもの研究室やむしむしコーナーの辺りはエアコンの排出口に近いので多少涼くなっています。ご理解の程よろしく願い致します。	済
	暑すぎて死ぬ	不明	不明		
	東京都八丈島に移住しました。固有種のユウゼンやウミウシにびっくりしました。同じ東京。父島にも行って子どももビックリしました。ぜひ、ポスターなども展示してほしいです。	不明	女性	貴重なご意見ありがとうございます。過去には特別展で実施したことはあるのですが、残念ながら現状では東京都の生きものという枠で焦点を当てている展示はありません。今後、常設展や特別展を企画する際の参考にさせていただきます。	済

8月	なつでどうぶつがあつそうでした。	9歳	男性	生きものの心配をしてくれてありがとうございます。 生物園では、生きもの本来の生息地に飼育環境を近づけるようにしています。そのため、もともと足立区に近い環境に生息している生きものは、夏でも冷房等を使用せずに飼育しています。 生きものそれぞれ、暑い中での過ごし方が違いますので観察してみてください。	済
9月	きてよかった じはんきのラインアップがすくない…ひえてない… またきたいです。つぎはあたらしいべんとができてほしい	6歳	女性	自動販売機の飲料が冷えていなかったということで、申し訳ありませんでした。ラインアップの件と合わせてメーカーに伝えておきます。	済
10月	チンアナゴがナマコをつき上げるところが見れました。ヘビの脱皮が見てみたいです。	55歳	女性	ヘビの脱皮は、タイミングが合えばご覧いただけます。脱皮前の兆候もありますのでスタッフに確認してみてください。 また、今後Youtubeでヘビの脱皮の様子をお届けする予定がありますのでチェックしてみてください。	済
	初心者には案内版・地図が不明 回覧ルートとか分かれば迷わず見れると思います	80歳	女性	貴重なご意見ありがとうございます。 園内マップについては受付でリーフレットを配布していますので、ご活用ください。 また、常時園内を巡回している職員がいますので、ご不明な点がございましたら遠慮なくお声がけください。 なお、園内をご覧いただくのに特定の順路は特に設定していませんので、順番はお気になさらずご覧いただければ幸いです。	済
12月	高齢者用にベンチとか設置してほしいと思います	80歳	女性	ご不便をおかけして申し訳ございません。 園内各所にベンチは設置してあるのですが、高齢の方専用のベンチは設けていません。 また、感染症対策で一つのベンチの利用者数を制限していることもありますので、ベンチに空きがない状況ができていたのかと思われます。 感染症の状況等により対応をしていきたいと思ひます。	済
12月	ちよのしいく体けんてイモムシをさわられるようにしてください。イモムシが買えたらうれしいです。次きたときも生ぶつ園を楽しみたいです。	9歳	女性	生物園のプログラムに参加してくれてありがとうございます。チョウの飼育体験ではイモムシの健康を優先しているため、さわることができません。また、イモムシはチョウになって温室に飛ばすことを目的に飼育しているので、販売もしていません。 公園や学校の身近なところにもイモムシはいるので、探して観察してみてください。	済
1月	チョウなどがケースに入ってせまそうでかわいそうだったので、もう少し広くしたほうが良いと思います。	11歳	男性	ご意見ありがとうございます。チョウの幼虫は、感染症や餌の偏りを避けるため、また個別に状態を確認しやすいように一頭一頭ケースを分けて飼育しています。幼虫が成長するため十分な大きさを確保していますのでご安心ください。	済
	ナナフシをさわりたいです。またきたいです。	4歳	男性	申し訳ありません、現在常設のプログラムでナナフシをさわれるものは実施していません。タイミングが合えば対応できますので、次回以降の来園時にスタッフに声をかけてみてください。	済
	ウサギをもっとふやしてほしい。 ネコの生態についての展示してほしい。	30歳	男性	ご意見ありがとうございます。まず、ウサギについては、現在の飼育計画では増やす予定は今のところありません。飼育種数・頭数のキャパシティがありますのでご理解ください。また、ネコの生態展示については、コロナ禍で密を避けるためにパネル類を減らしている事情もありましたので、今後の展示計画で検討していきたいと思ひます。	済
2月	グッズがもっとオシャレなのがあったら買ったかった… デザインとかグッズのアイデアコンテストみたいなのをやってくれたら楽しそう！！	24歳	女性	ご意見いただきありがとうございます。 現在多くの雑貨商品が欠品中で、魅力的な商品が少なく感じられたかと思ひます。 商品のご要望やアイデアにつきまして、生物園オンラインショップをはじめ、いつでも受け付けております。生物園オンラインショップでのご購入者アンケートにてご要望の多かった商品に関しては、実際に商品化しているものも複数ございます。ご要望がありましたらぜひご記入いただければ幸いです。	済

2月	グッズとかガチャガチャをもっと増やしてほしい。種類とかデザインとか少し残念な気がしてます。かわいいガチャガチャとかリアリティーにあるれるものにしてほしいです。(ゴキブリばかりはイヤです。)	25歳	女性	ご意見いただきありがとうございます。現在コロナ禍による生産停止や戦時の資材不足により多くの商品が欠品中であり、グッズの種類や幅が少なく感じられたかと思います。生物園のミュージアムショップでは、毎月新商品を入荷するとともに、年に10種以上のオリジナル新商品を開発しております。また来年度にはガチャガチャの筐体も増設予定ですので、ガチャガチャに関しましてはより充実したものにしていく所存でございます。今後より多くの人に魅力的に感じて頂けるような商品を増やしていきたいと思っておりますので、ご覧いただければ幸いです。また、ゴキブリグッズに関しましては、現在開催中のゴキブリ展に合わせて多くの関連商品をご用意しております。企画展ごとに商品が変わりますので、またお越しいただければ幸いです。	済
3月	微生物とか見てみたいです！	15	女性	ご意見ありがとうございます。不定期ではありますが、生物園では顕微鏡で微生物を観察するプログラムを実施しています。また、YouTube動画にはミジンコの動きをマクロレンズで撮影した動画も公開しています。是非、ご興味ありましたらご参加、ご観賞ください！	済
	モルモットが毎日さわれるようになってほしいです	7	男性	ご意見ありがとうございます。モルモットのふれあいはゴールデンウィーク明けの、5/9より「コロナ以前」と同様の、土日祝日もモルモットとのふれあいを体験できることとなります。ただし、週末には大変込み合うことが予想され、お待ちいただく時間も出てきてしまうと思っておりますので予めご了承くださいませ。※感染症の拡大状況により、予定が変更となる場合もございます。	済
	未就学児用のパスポートがあったらうれしい。両親のパスポートを息子が羨ましがっている。	28	女性	年間パスポートについては、ご希望があれば入園料がかららない未就学のお子様向けにも発行することは可能です。ただし、発行手数料として、小人料金600円をお支払いいただく必要がございます。予めご了承くださいませ。	済
	チンチラ、リス、アメリカカブトガニなどのセルフガイドがほしい。	48	男性	ご意見ありがとうございます。毎年3種類のセルフガイドを新規に発行(更新も含む)しています。既に令和5年度の発行内容についても計画が進んでおりますので、いただいたご意見については今後の内容の参考にさせていただきます。	済

### ③ ネガティブなご意見

	来園者の声	年齢	性別	対応	結果
4月	生物園のすぐ近くに住んでいるものです。ワライカワセミの鳴き声がうるさくて夜はとても迷惑です。殺処分しろとか他の園に移せとは言いませんが、どうにか対応して欲しいです。本当に困っています。			いつも大変お世話になっております。足立区生物園の園長 関根と申します。この度は、当園のワライカワセミの鳴き声におきまして日常生活に大変なご迷惑をおかけしておりますことを、謹んでお詫び申し上げます。ご不快な思いをさせてしまい、申し訳ございません。鳴き声の対策として、以下のような対策を取ることで、ある程度の防音が見込めると考えております。 ●展示場を区切り、防音素材の壁で四方を囲った収容部屋を整備します。 ●飼育員の馴致トレーニングにより、夜間は上記収容部屋に入れるようにします。 早急な対応を心掛けたいと考えておりますが、訓練により少しずつ新しい環境に馴らしていく必要がありますので、上記対応が完了するまでに今しばらくお時間を頂戴することをご理解いただけましたら幸いです。可能な限り努力をして参る所存でございます。至らぬ点が多々あるかと存じますが、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。メールにて恐縮ですが、取り急ぎお詫び申し上げます 足立区生物園 園長 関根 雅史	済

5月	<p>5/22に初めて伺いました。とても幅広く展示がなされ、またいろいろ工夫がされており、ぜひまた伺いたいと思いました。ただ、とても残念なことに、屋外の池にオタマジャクシがいるのですが子供、大人20人ぐらい群がって皆手ですくい、持参したビニール袋や、ガチャガチャのカプセルなどに入れ、持ち帰るようでした。私は4歳、6歳の子供と一緒にいたのですが、子供も疑問に思ったのか、「取っちゃだめだよ」と大きな声で叫んでいましたが、誰も何も反応せず。大人も一緒になって取っている姿を見て、とても日本とも思えず、モラルの低さに愕然としました。また、園内にイモリ？やザリガニ？がいたのか、子供の「イモリ捕まえたー」という声に、親らしき大人は「一緒に入れておけ」という指示や、子供の「ザリガニに入ったぞ」と棒で突っくなど、これが田舎の田んぼならよくある光景ですが、金銭を払って入った施設の中で行う行為ではないでしょう。最早、窃盗であり、犯罪であることに気づかない人たち。いったいどういう感覚をしているのだろうと思いました。私の子供にもなんと説明すればいいかわからず、教育上もとても好ましくない場になってしまっていたことがとても残念です。こういうモラルの低い人たちがいる、子供は仕方ないとしても、大人が常識がない人たちが多いのであれば、池に網を張るとか入場時に、園内の生き物は採ってはダメと声をかけるとか、何等か対策が必要かと思えます。とても低レベルで残念ですが、それが今の現実でしょう。</p>	男性	<p>平素より足立区生物園をご愛顧くださり誠にありがとうございます。足立区生物園の園長 関根と申します。この度は、庭園における他の利用者様によるルール違反につきましてとても不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ございませんでした。また、貴重なご意見くださりありがとうございます。生物園の庭園のコンセプトは、現在失われつつある日本の里山の風景を再現し、実際に子どもたちが生きものを探し、場合によっては実際に触れたりすることができる環境を目指しています。そのため、ご指摘のあったような少数のインモラルな行為によって、多くの子どもたちの体験を奪うような対策(柵や網を設置)をすることは避けたいと考えています。私どもも可能な人員で巡回を行い、利用ルール違反を見つけた場合にはお声がけをしておりますが、コロナ禍において施設を維持するために消毒などの人員に割かれてしまい、手薄になっていた部分がありました。今回、お客様のご指摘を受けまして、 ① 庭園トンボ池の生きものとの接し方についてのサインの更新 ② 生きものへの不正な行為に対する巡回の強化 上記2点を対策として、今後も生物園のコンセプトである生きものとの「ふれあい いのち 共生」を来園者の皆さまに伝えていきたいと思えます。最後になりますが、お子様が「取っちゃだめだよ」と勇気のある指摘をしてくださりましたこと、とても嬉しく思います。生物園のスタッフ一同がとても感謝しておりましたこと、お伝えいただけましたら幸いです。今後とも、足立区生物園をご愛顧頂いたら幸いです。何卒宜しくお願いします。</p>	済
8月	<p>5歳の息子と伺いました。餌やりと、スタッフの方の対応が以前と比べて様変わりされて、思わず問い合わせさせていただきました。14:00からの餌やりでは、羊、山羊ですが、今ならモルモットも出来るかと案内され、餌を買うと、杓子をひっくり返すと、ほら、モルモットがくるでしょ。という対応。子供は、餌を自身であげたくて、餌を買っているのに、馬鹿にしています。親子共に悲しくなりました。他にもいくつか、餌やり体験しましたが、100円で買うコップの葉について、カスですか？毎日同じ量ですか？あまりにも少ななくて、目を疑います。以前と比べ量の違いに、納得できません。今一度、子供が、動物に餌をあげたい理由。学び。等を理解いただいた経営をお願いしたいです。コロナにより、葉の100円の価値をそこまで変化したか伺いたいです。また、伺います。また、餌やりさせていただきます。また、子供と、動物についてスタッフの方にコミュニケーションとっていただきたい。悲しい思いをせず、更にまた通いとなる生物園であって欲しいと思い、伺いたいと思い、お問合せさせていただきました。</p>		<p>この度は、ふれあいコーナーのエサやり体験において残念な思いをさせてしまい、大変申し訳ございませんでした。心よりお詫び申し上げます。コロナ禍におけるふれあいコーナーの在り方という点については、私どもも非常に頭を悩ませている部分です。コロナ前においては、子ども達ひとりひとりが、動物に触れながら飼育員とコミュニケーションを取ることができていたが、現在は感染症対策のためそれを自粛しており、その上で提供できる「体験」を検討してまいりました。エサやり体験については、子ども達の情操教育や人と動物の信頼関係を築く上でもとても大切な事であると飼育員たちも考えています。そのような体験の機会を可能な限り多くの来園者様に提供したいという想いから、飼育員は日々動物の健康チェックを行いながら、提供できるエサの量や内容を定めています。また、現在行っているエサやり体験は、多くの来園者がいらつやる夏休み期間中の特別な方式を取らせていただいております。平時と異なる理由は以下ようになります。 ・暑さによりヤギとヒツジの食いつきが悪くなると共に、日照に長く出る事で、動物たちも熱中症となる危険があります。ヤギ・ヒツジたちの体力温存のためにも、室内飼育のモルモットの時間を設けています。 ・モルモットのエサやりは、室内での密を避けるため、柄杓をひっくり返す方式を取ることで室内に多くの方が滞留しないようにお願いをしています。また、現在販売している牧草(モルモットの主食)については、基本的に大きく量を変更することはございません。しかし、前述した通り、飼育員は動物たちの体調管理を最優先と考えており、その上で給餌量を調整しています。「カス」のように見えるものも、飼育員たちが動物たちに食べやすいよう固い牧草を細かく切ったり、崩したのになります。モルモットのエサやりにご参加いただいた際は、投入した後の行動や反応を観察していただき、動物たちについての疑問などが出てきた際はその場にいる飼育員に何でも聞いていただけたらと思います。今回は、このような飼育員からのお声がけや説明が不足していたのだと反省しております。改めまして、飼育員への指導を徹底してまいりたいと思えます。何卒ご理解のほどよろしくお願ひいたします。今後、感染症の状況を注視しながらではございますが、少しずつでも以前のように生きものとの距離、そして飼育員との距離が近いことが魅力であった「ふれあい体験」を取り戻していきたいと、スタッフ一同その方法について現在検討を続けています。ふれあいが以前のような形に戻るのには、今しばらくお時間をいただいてもかと思いますが、利用者の皆様にも少しでも多くの発見や興味を持っていただけるよう努力してまいります。また「ふれあいコーナー」に足を運んでいただけの際は、飼育員とのコミュニケーションを楽しんでいただけたら幸いです。今後とも、足立区生物園をご愛顧いただけますようお願い申し上げます。</p>	済

9月	本日、ヤギの餌やりを訪れました。当日3度目の餌を購入しようとした所、女性職員から1人一回の為だめだと威圧的な態度で断られました。家族3人で訪れてます、よく確認もせず子供を悲しませるような女性職員の態度はおかしいと思います。子供に大して、柔軟に対応できませんか？断るにしても子供のやりたい気持ちを尊重した言葉や接し方を考えてください。			この度は生きものたちへのエサやりというお客様の温かい心遣いに対し、残念な想いをさせてしまい大変申し訳ございませんでした。  エサやり体験については、子どもたちの情操教育や人と動物の信頼関係を築く上でとても大切な事であり、多くのお客様にご参加いただきそこから沢山のことを感じ取ってもらいたいと考えています。しかし、ご存知のとおり当園においてエサを与える事ができる生体は少数です。その動物たちの体調を管理しつつ、できるだけ多くの方に体験していただくためにエサの販売は、「お1人様に対して1つ」とさせて頂いております。ご家族皆さんの分ということでしたら、その旨伝えていただければ販売は行っています。 ふれあいコーナーの職員には、今一度こちらが設定した運用ルールについて、ご来園者様に誤解を与えないよう伝えることを指導いたします。  重ね重ね、この度は残念な想いをさせてしまい申し訳ございませんでした。 今後とも、足立区生物園をご愛顧頂けたら幸いです。何卒宜しくお願いします。	済
3月	鳥の展示が無くて残念でした	8	女性	生物園の鳥たちを鳥たちを展示することができなく、私共も大変心苦しく思っています。3月現在も首都圏で鳥インフルエンザウィルスの発生が確認されており、生物園では飼育鳥たちを守るために隔離をしています。もう少し気候が温かくなれば、日本各地での発症件数も減少し、展示が再開ができるようになると思います。再開の際は、HPなどでも告知しますので、また当園の鳥たちに会いにきてください。	済
3月	本日伺いました。 10時過ぎに来ていた小学生数名が大温室の蝶をつかんだりついたりしていました。 夫と触つちやいけなと書いてあるよと注意しましたが止めてくれませんでした。 その子供の母親も後ろにいましたがお互いに話して、見ていないし注意もしていませんでした。 私達もその場ですぐ飼育員さんなりに伝えればよかったのですが、1歳の娘も居たためバタバタしてすぐ伝えられませんでした。申し訳ありません。 蝶の餌場の注意書きを全く見ていないような子どもたちだったので難しいかもしれませんが、蝶に触らないで！ということをもっと大々的にした注意書きにするのはどうでしょうか。 触っては行けない理由も漢字が多いと低学年は読めないですし、文章が長いとそもそも最後まで読まない子もいると思います。 うちの子は今日初めて本物の蝶を見ることができて、ひらひら！と興奮していましたので、大温室のような蝶が飛んでいる中を見学できてとてもありがたかったです。 大温室には貴重な蝶もいますし、どうか蝶が弱ったりすることがないように願っています。 いつも素敵な展示をありがとうございます。 また子どもも連れて伺います。			ご連絡、ありがとうございます。 また、ルールを守らない利用者に対し、注意までしていただいたとのこと、心より感謝申し上げます。  一部の利用者による大温室でのチョウの扱いについては、私どもも把握しており、職員の巡回やカメラによる監視も行っています。しかしながら、完全には目が行き届かず、このような行為を見逃してしまうこともございます。ご指摘の通り、もっと目立つ注意看板の設置も検討したのですが、多くのチョウや亜熱帯植物に囲まれて非日常的な空間を満喫していただきたいという思いと逆行してしまうため、これ以上の看板設置を断念した次第です。 一方で、毎日15時半に開催している「チョウを放そう」というショートプログラムにおいては、チョウの生態や行動についての解説に加え、大温室でのチョウの観察のルールについてもお話させて頂いております。 一人一人の方に生きものを慈しむ心がより深く育つよう、スタッフ一同、努力していきたいと考えています。  重ね重ね、この度は残念な想いをさせてしまい申し訳ございませんでした。 今後とも、足立区生物園をご愛顧頂けたら幸いです。何卒宜しくお願いいたします。	済

区との定例会議の中でお客様から頂いた、褒詞を35点、改善すべき意見・要望・課題を24点、ネガティブな意見・課題を6点取り上げました。区との協議を経て、それぞれの意見に真摯に向き合い、全てのご意見に対して当園の取り組みや方針を示させて頂きました。

ネガティブな意見に対しても、その場に居合わせたスタッフにヒアリングを行い、どんな対応が望まれたかをしっかりと話し、全体へ共有することで接客のホスピタリティ向上に努めました。

また、ご意見やご要望などの他に、受付にて随時募集しているアンケートの結果が以下になります。

④ アンケート結果

● アンケート集計（属性）

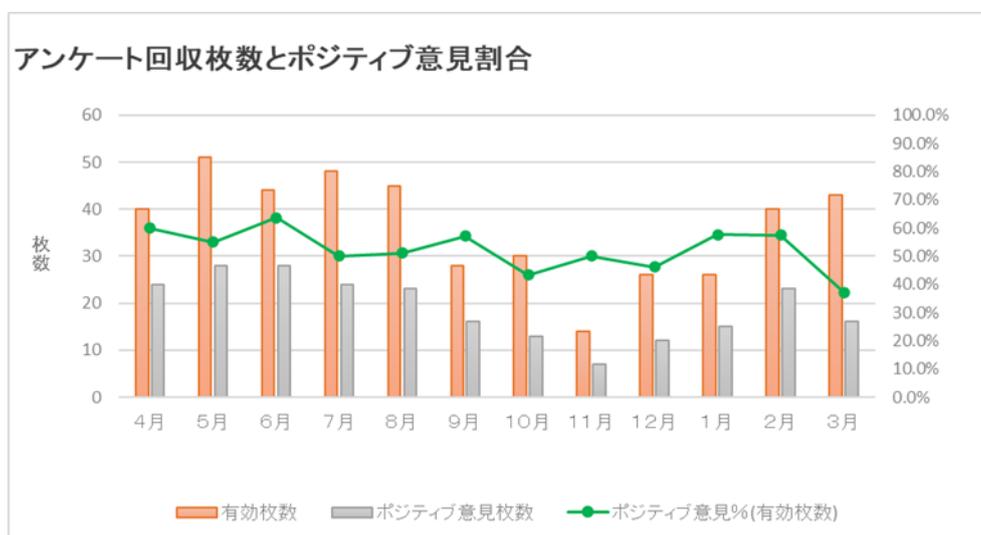
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
性別	女性	22	27	22	21	23	15	10	7	18	9	22	24	220
	男性	11	20	20	22	21	12	17	6	8	16	14	19	186
年齢	4歳	1	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	6
	5歳	0	1	2	1	3	1	0	0	0	0	0	1	9
	6歳	1	2	7	6	2	5	1	1	2	4	2	1	34
	7歳	5	6	3	8	7	2	5	2	4	5	6	6	59
	8歳	3	3	5	5	6	3	3	1	6	2	4	8	49
	9歳	4	10	7	5	7	0	1	0	2	3	6	3	48
	10歳	3	2	2	5	6	3	0	0	1	2	5	7	36
	11歳	1	2	0	1	2	1	0	0	0	1	0	1	9
	12歳	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	2	1	7
	13歳	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
	14歳	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	2	6
	15歳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4
	16歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	18歳	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	20代	1	5	5	4	4	1	4	2	3	0	4	4	37
	30代	3	6	2	1	1	3	1	2	1	2	2	1	25
	40代	2	1	1	1	2	1	2	1	0	2	1	1	15
50代	1	1	1	1	1	4	5	2	0	0	1	1	18	
60代	1	1	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	6	
70代	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	6	
80代	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	
住まい	区内	12	16	15	16	16	9	8	7	10	9	12	15	145
	区外	26	29	27	30	29	19	17	7	15	16	25	27	267
来園回数	はじめて	11	24	18	22	13	12	11	2	9	10	10	7	149
	2～4回	12	11	13	11	18	5	8	7	9	4	8	7	113
	5回以上	15	16	12	14	13	11	11	5	6	11	19	29	162
	以前から	12	13	15	16	18	13	15	8	9	9	17	20	165
知ったきっかけ	あだち広報	2	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	9
	ニュースレター	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
	生物園HP	8	9	5	6	5	4	4	0	3	4	3	5	56
	SNS	4	3	4	3	4	1	2	0	0	0	4	2	27
	テレビ	1	3	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	8
	友人・知人	7	11	12	13	11	4	5	4	4	9	7	6	93
	その他	3	8	6	5	7	4	3	1	7	3	4	6	57
交通手段	自転車	9	12	10	11	8	6	6	4	4	5	12	14	101
	自動車	15	27	20	22	26	14	15	4	13	11	17	17	201
	電車	6	2	3	3	2	2	2	2	3	2	6	1	34
	路線バス	0	2	1	3	1	0	0	1	1	2	2	0	13
	徒歩	3	2	1	2	2	2	3	1	1	1	2	5	25
	その他	0	1	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	5
	電車とバス	4	3	7	3	6	2	2	2	2	2	0	4	37
	電車と徒歩	1	1	1	3	0	1	1	0	1	0	0	1	10
	バスと徒歩	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
どなたと	家族	30	35	32	32	35	20	26	10	17	19	22	30	308
	友人	6	8	6	10	8	4	0	2	5	4	13	9	75
	ひとり	2	5	4	3	2	3	3	1	3	2	1	3	32
	その他	0	3	1	2	0	1	0	1	0	0	3	0	11
来園目的	生きもの	32	43	28	37	36	22	23	12	14	14	28	32	321
	イベント	0	2	8	0	1	0	2	0	6	2	2	3	26
	その他	3	2	0	4	4	0	2	1	1	2	2	3	24
	生きものとイベント	2	3	5	2	3	5	1	1	4	5	5	4	40
気付きや学びはありましたか	はい	38	48	40	42	45	25	28	14	23	20	36	36	395
	いいえ	1	3	3	4	0	3	2	0	2	5	2	2	27
自然を大切にしようと思いましたか	はい	39	51	43	43	45	28	30	14	25	24	38	38	418
	いいえ	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	4
生物多様性について理解が深まりましたか	はい	37	46	38	44	43	24	28	13	25	21	34	34	387
	いいえ	2	5	5	2	2	3	2	1	0	4	4	4	34

● ポジティブな意見・感想

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
楽しかった	8	11	8	16	8	8	5	3	5	3	13	10	98
素晴らしい	4	2	2	3	3	1	4	2	1	1	3	1	27
動物がかわかった	3	4	4	2	2	1	2	1	0	2	2	2	25
説明が良かった	0	0	2	0	0	1	0	0	2	0	2	0	7
子供が喜んでた	1	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	6
勉強になった	3	1	0	2	4	1	0	0	3	1	1	0	16
蝶々がきれい	0	1	2	1	3	0	0	0	0	2	2	1	12
展示方法が良い	2	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	6
久しぶりに来て嬉しい	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
年間パスポートの延長嬉しい	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
プログラムの再開が嬉しい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プログラム・展示が良かった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
色々な動物が見れて良かった	2	5	4	0	2	2	2	1	0	2	0	2	22
パンが美味しかった	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
金魚がすごい	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
ホタルがすごい	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
花壇が綺麗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
お土産がかわいい	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	24	28	28	24	23	16	13	7	12	15	23	16	229

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
○回収枚数	41	52	44	49	45	28	30	14	26	27	42	43	441
○有効枚数	40	51	44	48	45	28	30	14	26	26	40	43	435
○割合(回収枚数)	58.5%	53.8%	63.6%	49.0%	51.1%	57.1%	43.3%	50.0%	46.2%	55.6%	54.8%	37.2%	51.9%
○割合(有効枚数)	60.0%	54.9%	63.6%	50.0%	51.1%	57.1%	43.3%	50.0%	46.2%	57.7%	57.5%	37.2%	52.6%

(＊有効枚数：アンケート回収枚数から明らかなイタズラ書きなどを除いたもの。)



## ● 考察

一年間を通じてのアンケート回収枚数は 441 枚（有効枚数 435 枚）でした。コロナ禍前の平均から比較すると、半分程度に減っています。また、アンケートにご協力いただいた方の中で、「ポジティブな意見」を記入して下さった方の割合を比較すると今年度は 51.9%で、過去の実績が 35%程度だったことを考えると、大きく数字を伸ばしています。感染症の流行の影響で休園などの措置が取られていた中で、「応援」のような気持ちのこもったアンケート回答者が増えたのではないかと推察できます。実際、アンケートには反映されませんが、園内で労いや感謝のお声がけをいただく機会が増えている実感があります。

また、特徴的な傾向として、「知ったきっかけ」の部分で、ホームページと SNS の WEB 媒体と答えた方が、友人・知人からのいわゆる「口コミ」と答えた方に肉薄しています。過去のデータを見ると、WEB 媒体は口コミに対して半分以下でしたので、コロナ禍において WEB での情報発信に注力した成果が出ているのではないかと推測します。

一方で、感染症対策としてプログラムの変更や人数制限などを行った結果、ネガティブな意見・クレームなどにつながってしまった反省点もあります。アフターコロナの日常に戻していくフェーズとなる来年度以降は、対応の変更による混乱の無いような工夫や情報発信に努めて参ります。

## 2. ミュージアムショップ

### (1) 利用状況

令和4年度（2022年度）のミュージアムショップ（以下ショップ）商品購入者数は31,889人で、昨年度の約2倍と過去最高の多さとなりました。月ごとの購入者数をみると、11月を除く全期間で過去最多であり、8月は最高の3,243人となりました（図1）。これは、コロナ禍の制限の多くが解除された2年ぶりの長期休暇であったことが影響しており、同様にコロナ禍の制限が解除されていたゴールデンウィークを含む5月も購入者数が多くなりました。

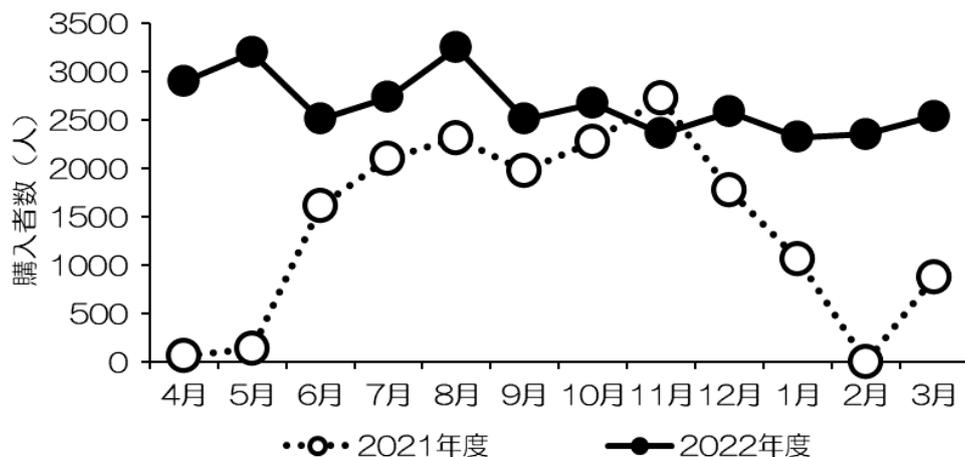


図1. 月別ショップ購入者数の推移

また、コロナ禍前の入園者数と購入者数を比較すると、入園者数はコロナ禍前 2019年度と同等である一方で、購入者数は2倍以上に増加しました（図2）。

SNSでの商品の広報強化や、ショップの設備改善、園内掲示物の強化、魅力的な新商品の継続的な開発により、購買目的での来園者数増加や入園者の購入意欲向上及びミュージアムショップへの導線強化が成功したのだと考えられます。

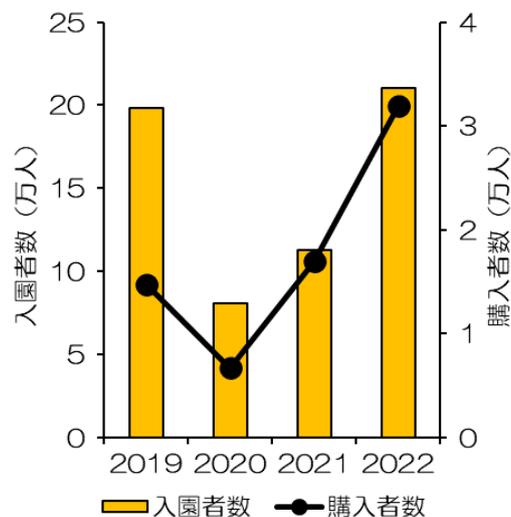


図2. 入園者数および購入者数の推移

## (2) 売り上げ状況

本年度の売り上げは、27,376,070円で、前年度の約2倍にも上り、2年連続で過去最高額を更新しました(図3)。本年度は2年ぶりに全期間開園できたことも影響していますが、開園月の月平均売上額を比較しても、前年度が1か月あたり約180万円であったのに対し、本年度は223万円と増加しており、開園期間が元通りになった以上に売り上げが伸びていることが分かります。

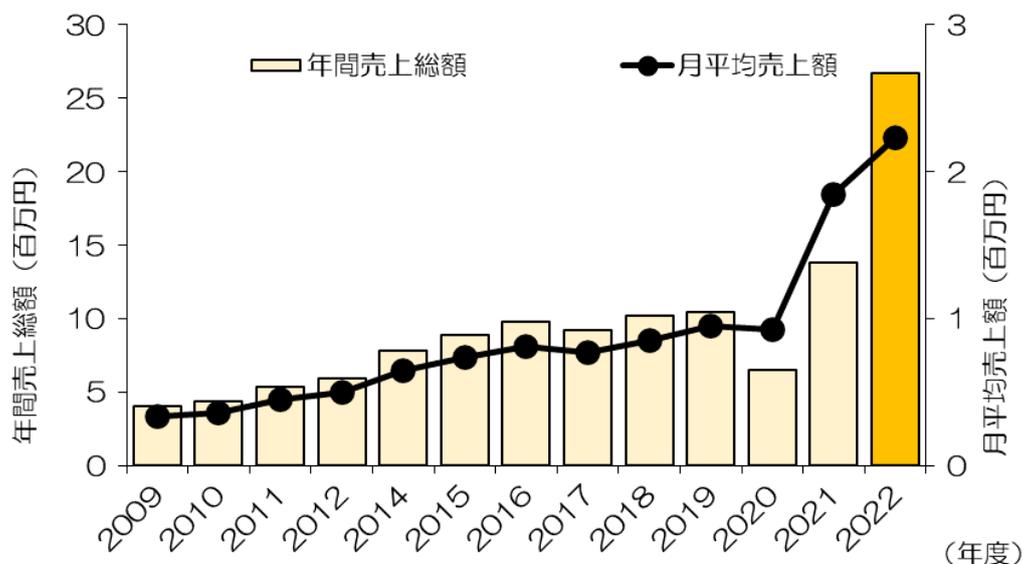


図3. 各年度における年間売上総額と開園月の月平均売上額の推移

月別売上をみると、11月を除く全期間で過去最大の売り上げとなりました(図4)。前年度11月はコロナ感染症拡大が一時収束し、外出・観光意欲の高まりがあった時期だった影響により、本年度の売り上げは超えるに至りませんでした。本年度はゴールデンウィークおよび夏季の長期休暇期間に売り上げが高く、8月は300万円を超える売り上げがありました。社会的な購買意欲の高まりも影響していると考えられます。

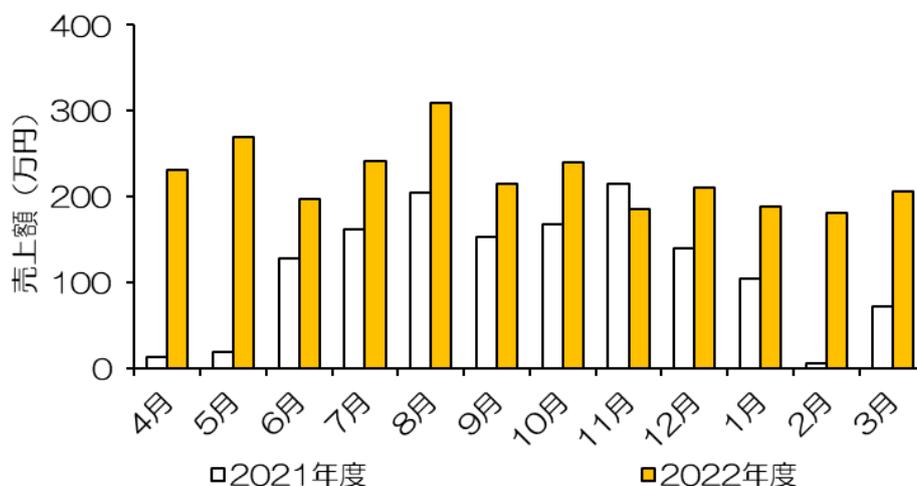


図4. 月別売上額の推移

本年度の一購入者あたりの平均購入額（客単価）は 838 円であり、前年度より約 20 円高く、コロナ禍以降増加傾向にあります。（図 5）。また、1 購入者当たりの平均購入数は 2.6 個で昨年と同等でした。

客単価が前年度より増加したのは、物価高による商品の値上げの影響のほか、高価格帯のオリジナル商品や新商品の売れ筋が良いことが要因の一つだと考えられます。

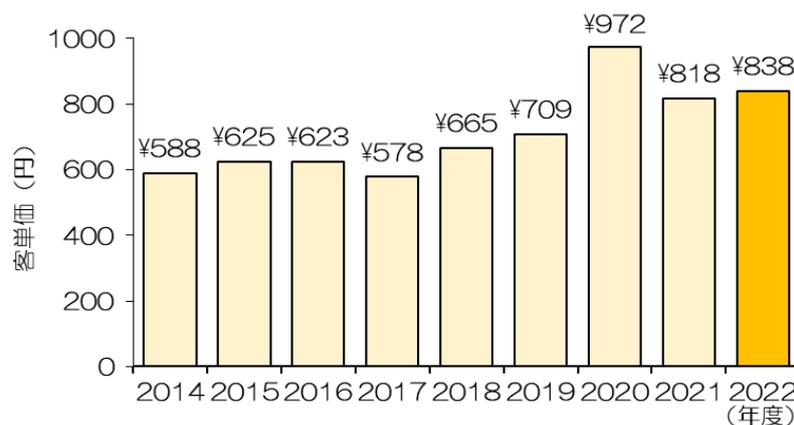


図 5. 各年度における客単価の推移

### (3) 売上の内訳

本年度のオリジナル商品の売上は約 639 万円であり、昨年度の 1.8 倍と増加しました（図 6）。本年度は 24 種のオリジナル商品を新発売しており、継続的にオリジナルアイテムのある商品を販売できていること、ヒット商品を生み出せていることが売り上げ増加につながったと考えられます。

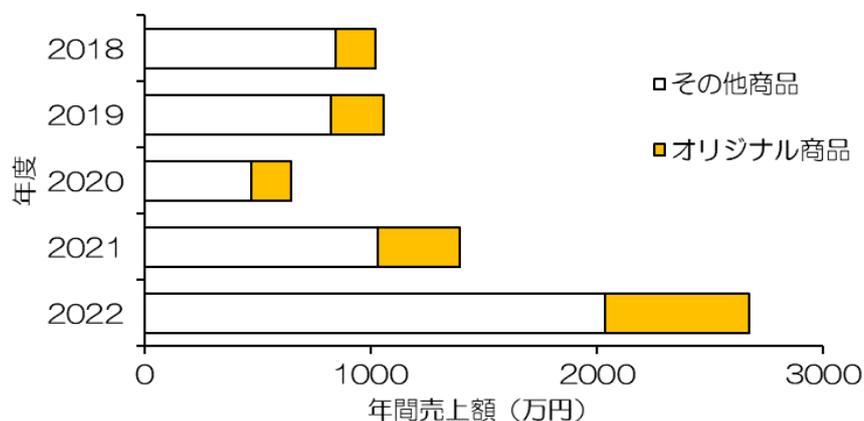


図 6. オリジナル商品の売上額の推移

各商品カテゴリにおける売り上げの内訳をみると、ぬいぐるみの売上額が 585 万円と最も多く、次にガチャガチャ商品が 545 万円と高くなっています（図 7）。食品の売り上げは 438 万円と、昨年度の 3.2 倍と増加しており、コロナ禍による飲食の規制が緩やかになったことで需要が高まっていると考えられます。一方、マスク関連商品の売上額は前年度の約 2 分の 1 と減少傾向にあり、人気商品の転換期が訪れています。

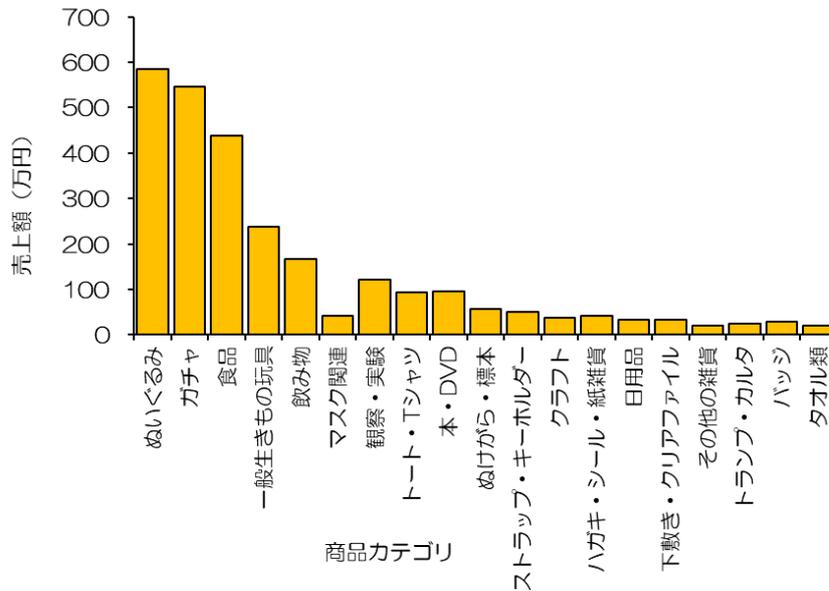


図7. 2022年度の商品カテゴリ別売上

(4) キャッシュレス導入状況

昨年度より POS システムを Air レジに変更し、Air ペイを導入することでミュージアムショップでのキャッシュレス決済が可能となりました。本年度からは PayPay などの QR 決済を導入し、これまでよりも幅広い決済が可能となりました。

キャッシュレス決済の使用状況は全体的に昨年度よりも高く、特に、「あだちのお店を応援しよう！祝キャッシュレス還元祭 de90 周年」のキャンペーン期間（11/14～12/31）ではキャッシュレス決済の利用率が大幅に高まり、12月の利用額は全体の売り上げの43%に上りました（図8）。キャンペーンの影響もあり、本年度はキャッシュレス決済の中で PayPay が最も売り上げに占める利用額が高く、クレジットカードによる決済額を超えました（図9）。QR 決済の導入によって、より多くの方に利用しやすいショップになったと考えております。

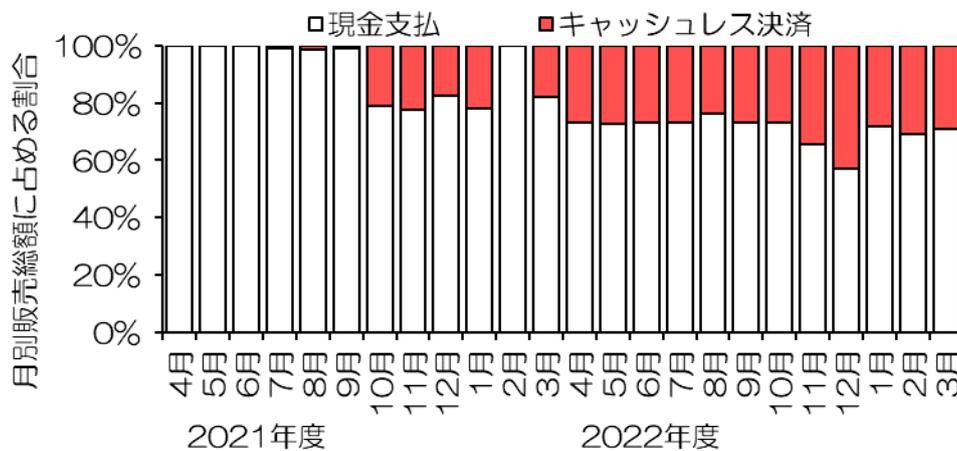


図8. 2021～2022年度の月別販売総額における決済方法の割合

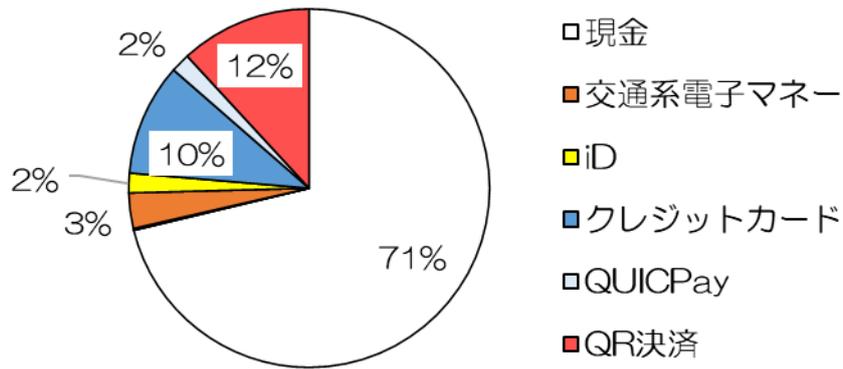


図 9. 2022 年度販売合計額における決済方法の割合

## (5) オンラインショップ

### ① 利用状況・売上実績

生物園オンラインショップは、昨年度 2021 年 4 月 9 日に開設しました。

今年度の購入者数は 207 人、商品売上合計額は 63,5120 円でした。店舗に比べ、売上は約 40 分の 1 以下と低めですが、客単価は 3,068 円と店舗の 3.7 倍と高いです。

販売商品は主に、生物園のオリジナル商品や、生物園で見ることができる生きもののグッズ、また店舗で販売している区内企業の商品等を取り扱っています。加えて生物園応援グッズとしてオンライン限定の T シャツとマスクを販売しており、今年度は昆虫トートバッグを新規に販売しました。

また、オンライン限定の受注商品として「押しモルを選べる！モルモットートバッグ」を販売し、自分でカスタマイズできる仕様に反響がありました。

月別の売り上げをみると、10-11 月が高くなっています（図 10）。これは「もっともっとモルモルキャンペーン」に合わせて販売したオンライン限定「モルモットートバッグ」やオリジナルのモルモットの写真集など、キャンペーンタイアップの新商品の販売開始時期と重なっています。モルモットキャンペーンは東武電鉄の中吊り広告や SNS を通じて多くの反響があり、足立区生物園を知らなかった、訪れたことがなかった方々からも注文が相次ぎました。

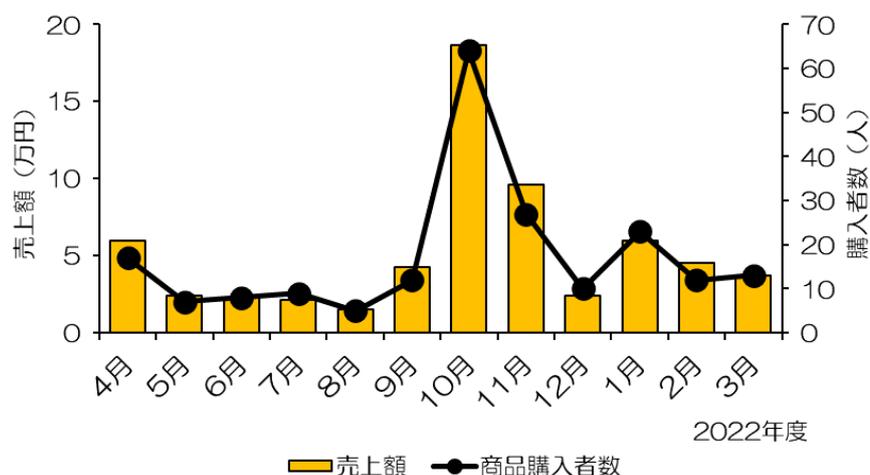


図 10. オンラインショップにおける月ごとの売上と購入者数

② 購入者アンケート結果

よりよい運営や商品開発のため、オンラインショップでの商品購入時に任意でアンケートに答えて頂きました。

購入者の性別は7割以上が女性で、年齢層は多くが20代～50代で、中でも30～40代の利用が最も多く、昨年度よりも約9%増加しました。(図11, 12)。

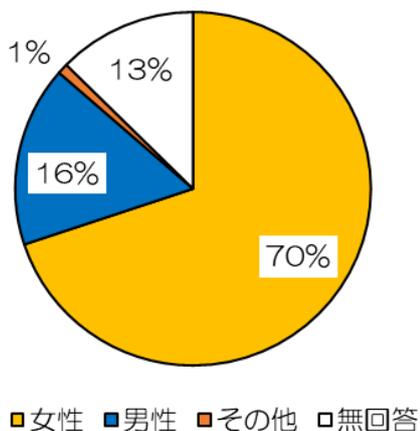


図 11. 購入者の性別

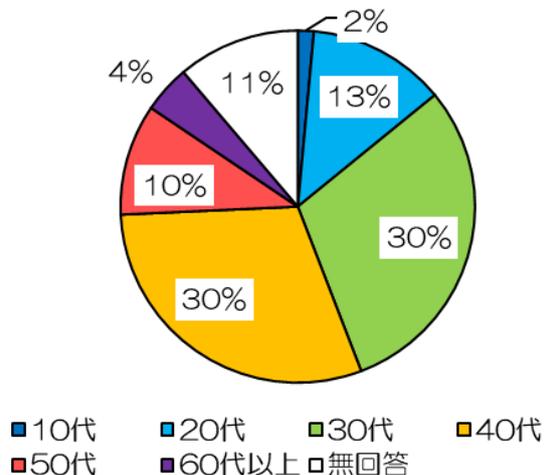


図 12. 購入者の年齢層

購入者の来園経歴をみると、5回以上来園したことがある、来園したことがあると答えた人は合わせて35%、一方来園したことがない、存在を知らなかったと答えた人は合わせて55%と、生物園に来園したことがない層が半数以上を占めていました(図13)。昨年度と比較すると5回以上来園したことがある人の利用が減少しており、これは再開園によりオンラインでの利用の必要がなくなったことが一つの要因だと考えられます。

生物園オンラインショップを知ったきっかけ(複数回答可)は、昨年度はホームページ(HP)が最も多かったのに対し、本年度はSNS(Twitter、YouTube、Instagramなど)からが最も多く、次いでHPが多い結果となりました(図14)。

これらのことから、生物園に来園したことがない層の購買に対して、SNS上の商品の広報が大きく影響していることが分かりました。

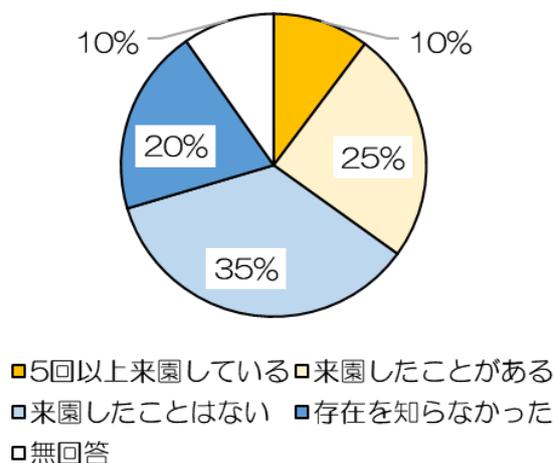


図 13. 来園の有無

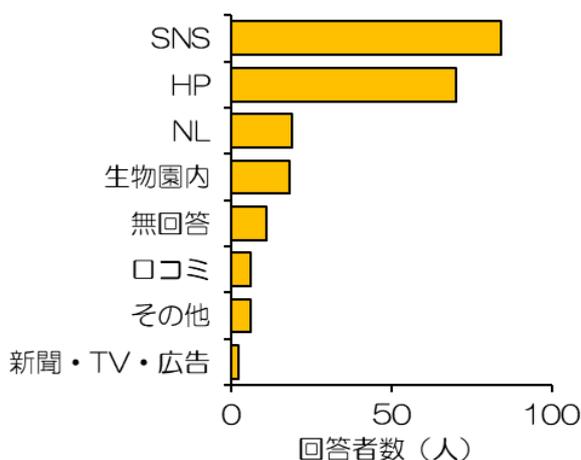


図 14. 知ったきっかけ

今後開発してほしい商品については、バッグや衣類の他、文房具等の要望が多くありました。また、哺乳類（特にモルモット）や、昆虫グッズの開発を望む声が多く寄せられました。

アンケート結果を活かして、より多くの人に利用いただけるようなオンラインショップの運営に努めたいと思います。

## （6）商品展開

ミュージアムショップは単なる「お土産屋さん」ではなく、生物園での体験や感動をアフターフォローできるようなグッズを提供することを目指しています。

### ① 新規取引先

令和4年度に取り扱った商品は67企業791種で、3業者が新たに取引先として加わりました（表1）。

表1. 令和4年度 新規取引先一覧

取引先名	取扱商品
ベビープラスマイル	虫柄の布グッズ（ポーチなど）
株式会社地球工作所	ともだちかるた むしへん
株式会社タジマヤ	おととと

ベビープラスマイルからは昆虫柄の布で制作された商品を卸しています。移動ポーチやランチョンマット、巾着といった子供向けの商品が中心です。株式会社地球工作所からは、学びながら遊べる昆虫を題材にしたカルタを仕入れました。また、本年度足立区生物園の生きものとのコラボした「40周年記念おととと」を株式会社タジマヤから卸しました。足立区生物園のパンケーキリクガメが大きく掲載されている東日本版は園内でもすぐに売り切れ、お土産として人気でした（図15）。



図15. おととと東日本版

### ② オリジナル新商品

本年度は企業との連携商品を8種、スタッフ製作の商品を16種の計**24種の新商品**を販売しました（表2）。

表2. 令和4年度 オリジナル新商品

・企業との連携新商品

企業名	商品名
有限会社クラ工業	-GOHAN-巾着
ニットキュア株式会社	NEW 足立区生物園の羊さんサシェ
合同会社 3.14	チンチラステッカー
K-Dash Design & ONION PRINT	昆虫トートバッグ ナナフシ
	昆虫トートバッグ ケラ
	モルモル総選挙 1 位に輝いた「へぎ」Tシャツ
K-Dash Design & ONION PRINT、SK プランニング	押しモルが選べる！モルモットートバッグ
社会福祉法人あいのわ福祉会 足立あかしあ園	いきものタオル 新柄 カエル/カブトムシ

・スタッフ制作の新商品

販売月	商品名
2022年5月	うんちストラップ
2022年5月	NEW うんちはがき
2022年5月	ヘビの皮 胴体部
2022年7月	生物園のビルマニシキヘビ本革おまもり
2022年7月	カブトムシクワガタムシ展限定シールガチャ
2022年8月	生物園のハチさんハチミツ
2022年9月	沖縄の虫たち展限定シールガチャ
2022年10月	もっともっとモルモット Photo Album 写真集
2022年10月	モルもるステッカーvol.3
2022年11月	モルモル総選挙缶バッジ
2022年11月	NEW ハンターな虫たち展限定シールガチャ
2022年12月	食べる食べられる展限定シールガチャ
2022年12月	食べる食べられる展限定下敷き
2023年1月	ゴキブリ展限定シールガチャ
2023年1月	オリジナルごきりんマグネット
2023年1月	G のぬけがら～マダガスカルゴキブリ

本年度は商品のリメイクやリニューアルを多く行いました。K- Design & ONION PRINT とのコラボ商品「昆虫トートバッグ ケラ/ナナフシ」は、昨年度販売した T シャツのデザインをリメイクして、オンライン限定のトートバッグとして販売しました。また、「チンチラステッカー」は昨年度販売のチンチラマスクのデザインを合同会社 3.14 にリメイクいただき、新たに 2 種のデザインとして屋外でも貼れる丈夫なステッカーを製作しました（図 16）。「NEW 足立区生物園の羊さんサシェ」は一昨年販売の生物園の羊の毛をラベンダーで香りづけしたサシェ（香袋）を一新し、よりヒツジらしいパッカー

ジのお手頃なオリジナル商品として販売しました。また社会福祉法人あいのわ福祉会足立あかしあ園と昨年度連携商品として販売した「いきものタオル」に新たにカエルとカブトムシの 2 種を追加し、より豊富なラインナップとなりました。

図 16. チンチラステッカー



完全新規商品として「-GOHAN-巾着」を販売しました（図 17）。これは、生物園のプログラム「ごはんの時間」を題材にした巾着で、モルモットのごはん、ピラルクのごはん、チョウのごはんの 3 種を発売しました。

デザインは生物園スタッフが作成し、生物園でごはんの時間を見ればその光景や体験を思い起こせるようなものとなっています。またこれらのごはんの時間は生物園の YouTube でも配信しており、遠方の方でも動画と合わせて本グッズを楽しむことができます。

また、本商品はオーガニックコットン製で、**SDGs を意識した商品**でもあります。オーガニックコットンは有機栽培でつくられた綿であり、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献しています。有限会社クラ工業との連携商品となっています。



図 17. -GOHAN-巾着

秋に行われた「もっともっとモルモットキャンペーン」では、キャンペーンに合わせたオリジナル新商品を 5 つ製作しました。

「推しモルを選べる！モルモットトートバッグ」は、生物園のオリジナルグッズで初めて、**足立区内の 3 つの企業でコラボした商品**となっております（図 18）。ボタンのつけ外しで容量が 3 段階変わるトートバッグのアイデア発明を SK プランニングが、生物園のモルモットデザインを生物園スタッフが、デザインのプリントを K-Dash design & ONION PRINT が行っています。

SNS で販売予告をした際は、商品紹介の中では過去最大の反響がありました。最も注目を集めたポイントは、生物園のモルモットデザイン 20 種から好きなモルモットを 8 頭、**自分で選んでカスタマイズ**することができる点です。中央のモルモットのエサも 4 種から選ぶことができ、そのデザインの総組み合わせ数は **102,400,000,000 通り**（1024 億）もあり、世界に一つだけのモルモットトートバッグを作ることができます。

生物園オンラインショップ限定の受注生産品として販売し、SNS を通じて生物園に来園したことがない多くの人たちからもご購入が相次ぎました。実際に購入した方が、自分が選んだモルモットに会いにご来園する様子も多数見受けられました。



図 19. モルモット写真集

また、総選挙後は 1 位～5 位に入賞したモルモット 5 匹の缶バッジ (図 20) や、1 位となったモルモット「へぎ」の T シャツを販売し、キャンペーンを最後まで盛り上げることができました。

図 20. モルモット総選挙 缶バッジ



今年度は企画展に合わせた商品を昨年度以上に販売することができました。

「うんち展」では、昆虫のフンをレジンで瓶詰めしたアクセサリー「うんちストラップ」(図 21)、パッケージをリニューアルして再生産した「NEW うんちハガキ(ケツメリクガメ、カンガルー)」を販売しました。

「カブトムシクワガタムシ展」「ハンターな虫たち展」「沖縄の虫たち展」「きらめくゴキブリ展」では、それぞれ展示されている生きものの鮮明な写真(飼育スタッフ撮影)を使用したオリジナルシールを、期間限定のカプセル商品として販売しました。



図 21. うんちストラップ



図 22. ゴキブリ展シール

特にゴキブリ展のオリジナルシールは毎日飼育しているスタッフならではの解説がキャッチーに書かれており、他にないオリジナリティから人気を集めました(図 22)。きらめくゴキブリ展ではその他に、生物園の飼育スタッフが作成したゴキブリのオリジナルイラストを使用したマグネットと、マダガスカルゴキブリのぬげがらを販売しました。

「食べる食べられる展」では特別展に用いた当社デザイナーのイラストを使用したシールガチャの他、展示パネルを印刷した学べる下敷きも販売しました(図 23)。



図 23. 食べる食べられる展限定シール

—昨年死亡した生物園のビルマニシキヘビの皮を廃棄でなく少しでも多くの人への学びや興味に繋がられるものにしようという試みで、生物園スタッフが皮を革に鞣して製作した「ビルマニシキヘビの本革おまもり」も販売しました（図 24）。皮の鞣しは国内唯一、爬虫類革の原皮直輸入から、なめし・染色・仕上げを行っている足立ブランド認定企業の東洋皮革株式会社にご指導いただきました。



図 24. ビルマニシキヘビの本革

大蛇の鱗 1 つ 1 つの大きさや質感、人とのつながりを多くの人に感じてもらうため、お守りサイズにカット販売し、足立朝日新聞の一面にも取り上げていただきました。

他にも、本年度は飼育しているセイヨウミツバチの養蜂が順調に進んだため、パッケージを一新した「生物園のハチさんハチミツ」を 8 月 3 日：はちみつの日に販売し、約 2 週間で 92 個すべてが完売しました（図 25）。



図 25. 生物園のハチさんハチミツ

いずれもオリジナリティのあるグッズの売上が好調であり、今後も定期的な新商品開発に力をいれていきたいと思えます。

### ③ 足立区内施設との連携販売

足立区内施設での連携を深め、より多くの人たちにオリジナリティあふれる商品を届けられるよう、他施設の商品の連携販売を昨年度より始めました。

今年度は都市農業公園のオリジナルカリンピネガーの販売と共に梅まつりの広報物の設置を行いました（図 26）。

離れた施設同士の連携販売を充実させることで、お互いの施設の認知を広めていきたいと思えます。



図 26. 都市農業公園産カリンピネガー

### (7) 年間売上ランキング

令和4年度に販売した商品のうち、総売上額の高い50品目をリスト化しました(表3)。50品目中16品目が生物園オリジナルグッズ、また7品目は本年度の新商品でした。これは、ショップスタッフが利用者のニーズをしっかりと把握し、商品の開発につながっている成果であると考えます。

表3. 令和4年度 年間売上ランキング ベスト50

順位	令和4年度	販売金額(円)	販売数(個)	総売上額(万円)	オリジナル商品	お土産研究会	食品	新商品
1	ガチャ商品	200~500	10,107	319				
2	生きものパン	240	8,519	189	○	○	○	
3	紙パックジュース	90~120	16,708	166			○	
4	フチボトル(詰め放題)	350	2,122	74				
5	化石ガチャ	300	2,096	63				
6	花畑クッキー	200~240	3,232	61			○	
7	生物園100円ガチャ	100	4,892	49	○			○
8	立体昆虫図鑑	880	496	43				
9	海の仲間たちアクセサリー	150	2,870	43				
10	クレープアイス	250	1,662	42			○	
11	飼育観察シリーズ	1300	310	40				
12	モフモフTシャツ	2580~	153	40	○	○		
13	モルモット GUINEA PIG	1210	299	36				
14	Little Beans ぬいぐるみ	695	610	34				
15	モルモットシフォンケーキ	240~260	1,387	34	○	○	○	
16	オリジナル草加せんべい	150~	1,166	31	○		○	
17	いきものマスク キッズ	540	546	29	○	○		
18	アニマニアぬいぐるみ	1320	180	26				
19	ムニユムSTぬいぐるみ	530	560	26				
20	生物園200円	200	1,210	24	○			○
21	mini beansぬいぐるみ	530	563	24				
22	あだちのお菓子	220	1,053	23			○	
23	ムニユムお手玉ぬいぐるみ	385	619	21				
24	ニシキヘビぬいぐるみ	2420	84	20				
25	ステソスコープ	1100	197	20				
26	ハンドブック(虫)	1320~	126	20				
27	森のむしぬいぐるみ	1100	181	20				
28	リフレクター	350	531	19	○	○		
29	SD モルモットぬいぐるみ	660	269	18				
30	昆虫キーホルダー	590	297	17				
31	STぬいぐるみ	530~	287	16				
32	カンガルーぬいぐるみ	1650	97	16				
33	ニシキヘビ(アルピノ)ぬいぐるみ	2420	67	16				
34	パズルフィギア昆虫編	495	322	16				○
35	シールブック	550~	264	15				
36	KCぬいぐるみ	530~	208	15				
37	ケツメリクガメのたまご	240	627	15	○	○	○	
38	ヤドクガエルT	1980~	72	15	○	○		
39	アクアフレンズソックス	440	333	15				
40	日本の生物図鑑シリーズ	1320	108	14				
41	いきものだるま	1320	107	14	○	○		
42	昆虫4Dパズル	600	234	14				
43	ネザールランドぬいぐるみ	1320	104	14				
44	ドライフルーツ	380	348	13			○	○
45	ワラビーのおとしもの	220	583	13	○	○	○	
46	絶滅危惧T 大人	2100	61	13	○	○		
47	生物園のはちみつ	1500	92	13	○		○	○
48	ヘビ革のお守り	400	318	13	○			○
49	SD ウサギぬいぐるみ	660	190	12				
50	生物園写真集2 もっともっとモルモット	1500	83	12	○			○

### 3. サービス向上の取り組み

#### (1) もっともっとモルモットキャンペーン

新型コロナウイルスの流行によって「ふれる体験」を中止せざるをえない状況となる一方で、世間で爆発的な注目を集めているモルモット。生物園の個性豊かなモルモットの魅力を伝えると共に、生きものとの共生（終生飼養など）を伝えるために「もっともっとモルモットキャンペーン」という形でモルモットに対する関心をより高めていただけるようなコンテンツの実施と情報発信を行いました。

実施内容としては、生物園で飼育しているモルモットの人気投票を行う「モルモット総選挙」、段階的にふれあいを再開することを目的とした「ふれあい記念撮影」をイベントの軸とし、関連企画としてミュージアムショップでは飼育員がデザインした写真集「もっともっとモルモットフォトブック」や、「モルモットートバッグ」の販売を行いました。広報については、東武線の中吊り広告や特設サイトの立ち上げ、SNSを活用して幅広い層に向けて生物園のモルモットを印象付け、大手新聞社やTVなどで大きく取り上げられました。



詳細は添付「もっともっとモルモットキャンペーン実施報告」参照

#### (2) モルモットのふれあい体験再開

コロナ禍で中止をしていたモルモットとのふれあい体験ですが、「もっともっとモルモットキャンペーン」の実施があり、再開を望む声が大きくなっていました。それを受けて、令和4年11月15日よりふれあい体験を「平日のみ」という形で再開し、多くの利用者から再開を喜ぶ声をいただきました。来年度以降の課題として、土日祝日の再開を検討していきます。

#### (3) ふるさと納税

足立区のふるさと納税返礼品として、新たに「夜の生物園でプチディナー&ナイトツアー」という体験を提供することとなりました。プチディナーについては、近隣のイタリアンレストラン「VIVO」から飲食物をケータリングし、金魚の大水槽前にて楽しんでいただきました。食後はホタルや庭園のアズマヒキガエル、ヘビとのふれあいなど、特別体験をご用意しておもてなしました。今年度は5組からのご寄付があり、1組（3名様）の対応をしました。残りの4組については、来年度日程を調整していきます。

#### (4) 子どもの貧困対策

国の調べによると、現在6人に1人の子どもが貧困状態にあるとされています。足立

区内の子どもたちが、貧困などの生まれ育った環境に左右されることなく、生物園を平等に利用する機会を持ってほしいと考え、貧困対策の一つとして年間パスポートの無償提供を検討しています。今年度は、各所管課と打ち合わせを行い、配布対象を「就学支援世帯」として調整を進めています。

(5) ひとり親家庭の親子への体験機会の提供事業（豆の木メール）

「豆の木メール」は、福祉部親子支援課ひとり親家庭支援担当が運用している様々な支援やイベント情報などをタイムリーにお伝えするメールマガジンです。「ぼうけんあそび」と毎月の「プログラム情報」について配信希望を提出しました。

(6) 生物園・東武動物公園「年パス所持者特典相互減免キャンペーン」

12月1日～2月12日の期間、生物園と東武動物公園の年間パスポート所持者を対象に、相互に入園料の減免を行いました。東武動物公園の年パス所持者が生物園に来園するケースは延べ143人で、生物園年パス所持者が東武動物公園に行くケースは期間中13人でした。これは、東武動物公園で高病原性鳥インフルエンザウィルスが発生し、臨時休園などもあったことが影響されていると考えられます。しかし、期間中は東武線前線で中吊り掲出を行いました。こういった形で、動物園同士の施設間連携をアピールすることは、とても意味のあることだと考えています。



(7) 無料招待券等の配布

今年度は、地域連携研究会の催しとして行った「新春ラジオ体操会」への参加者や、「あだち広報」の読者プレゼントなど、合計4種の無料招待券を発行しました。この取組を通じて、生物園の利用機会の拡大を図るとともに、足立区及び生物園のプロモーションとしての効果が期待できると考えています。

(8) ミュージアムショップでのキャンペーン実施

ショップ（店舗）および生物園オンラインショップでは、サービス向上のため主に3つの取り組みを行いました。

生物園オンラインショップでは開設1周年を記念し、1st- Anniversary クーポンを配布しました。このクーポンは生物園オンラインショップにて3,000円以上購入の際、配布コードを入力することで、全商品10%OFFでお買い求めいただけます。

配布期間は開設記念日の4月9日～4月18日の10日間で、この期間中に10件の注文が入っており、そのうち6件でクーポンの利用がありました。4月のオンラインショップ購入者数は令和4年度上半期で最も多く、利用者にご購入いただきやすい機会を提供できたと考えられます。



また生物園ミュージアムショップ（実店舗）では、足立区主催の「祝レシート de90周年事業」のキャンペーンに参加しました（実施期間：令和4年4月1日～5月31日）。900円以上のご購入者のレシートに押印をし、ご購入者がこのレシートを9枚集めると区内共通の商品券と交換できるシステムとなっています。お客様からは「レシート集めています」「押印をお願いします」との声掛けをいただくこともあり、このキャンペーン参加による区内の利用者へのサービスの向上があったと考えられます。

同じく90周年事業の1つである「あだちのお店を応援しよう！～祝キャッシュレス還元祭 de90周年事業～」のキャンペーンにも取り組みました。期間中（令和4年11月14日～12月28日※年末最終開園日）は、QR決済の1つであるPayPayを利用すると最大30%分のポイントが返ってくる、ご購入者にとってお得なキャンペーンとなっております。今年度、ショップではQR決済にも対応できるようになったことでこのキャンペーンに参加することができ、ショップでのQR決済可の周知にもつながりました。キャッシュレス決済の利用率は11月～12月が最も高く、ショップ利用者にこのサービスを十分に提供できたと考えられます。



## Ⅱ 展示解説業務

### 1. 展示解説実施および対応実績

生物園・元洲江公園を活用し、様々なプログラムを実施しました。自主事業では生物園のテーマ「ふれあい・いのち・共生」を踏まえた内容にすることを心掛けました。来園者がその場で気軽に参加できる「ふれあいプログラム」、生きものに関心や興味を持った方を対象に人数を制限して実施する「導入型プログラム」、導入型プログラムよりも踏み込んだ内容で少人数を対象にじっくり進める「発展型プログラム」を行いました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、一部プログラム、出張授業、職場体験、ボランティアなども順次再開しました。

#### 令和4年度イベント開催数など

番号	事業	回数	応募者数	参加者数	備考
1	当日募集	2,780	0	69,031	
2	事前募集	22	2,713	1,508	
3	団体対応	11	0	371	
4	出張授業	6	0	395	
5	総合学習	39	0	55	対応者数
6	施設連携	13	0	4,451	
7	ボランティア	369	0	815	
8	特別展	6	0	0	
9	企画展	15	0	0	
	合計	3,261	2,713	76,626	
	<b>事務事業評価の指標該当事業</b>	<b>3,192</b>	<b>2,713</b>	<b>71,354</b>	

令和4年度当日募集イベント開催数

	名 称	回 数	参加者数	備 考
番号	当日募集			
1	大温室スポットガイド	8	5,810	夜間特別開園
2	冬のホタル鑑賞会	8	3,679	夜間特別開園
3	虫の音鑑賞会	1	271	鳴く虫night
4	スズムシ飼育教室	1	20	鳴く虫night
5	わんフェス	1	2,882	
6	ちびっこプログラム	41	435	毎週水曜日
7	金魚すくい	2	883	
8	チョウを放そう	313	4,226	毎日
9	ヤギとヒツジの健康トレーニング	28	680	毎週土曜日(第三土曜を除く)
10	テッポウウオのごはん	311	4,171	毎日
11	サメのごはん	99	1,795	毎週火・木曜日
12	ピラルクのごはん	148	3,436	毎週火・木・土曜日
13	金魚のごはん	51	1,059	毎週日曜日
14	哺乳類ふれあいコーナー	64	4,016	平日
15	哺乳類・鳥類のごはん	312	5,852	毎日
16	チンチラのごはん	294	3,503	毎日
17	ネコのごはん	86	537	毎週水・金曜日
18	ヤギさんぽ	63	546	毎週火・木曜日
19	昆虫のごはん	264	2,943	毎日
20	ミツバチの飼育	28	605	毎週日曜日(雨天、冬季を除く)
21	ヘビのごはん	18	330	毎月第一・第三土曜日(3-11月)
22	リクガメのごはん	311	4,812	毎日
23	カエルのごはん	6	95	毎月第一・第三土曜日(12-2月)
24	ヒツジの毛でボール作り	1	90	
25	おりがみで生きものを作ろう!	1	116	
26	ハリスホークと愉快的仲間たち ～from東武動物公園～	1	670	
27	モルモット総選挙	13	1,598	
28	モルモットとふれあい記念撮影	15	3,303	
29	アルパカと愉快的仲間たち	1	659	
30	ポニー乗馬	3	367	
31	カブトムシ・クワガタムシにさわろう	15	520	「カブトムシクワガタムシ展期間」
32	スタッフと生きもの捕りに行こう	3	10	「捕りにいこう展期間」
33	海の生きものを触ってみよう	2	23	「捕りにいこう展期間」
34	うんちのにおいをかいでみよう	24	1,173	「うんち展期間」
35	かくれんぼ本を読んでみよう	22	56	「かくれんぼ展期間」
36	ゴキブリタッチ	45	1,034	「かくれんぼ展期間」
37	生きものガイド	23	262	
38	ま～し～園長のガイドツアー	12	138	
39	うらがわ探検ツアー	24	471	
40	チョウの飼育体験	12	106	

41	季節の見どころ	11	202	
42	はじめての飼育！ダンゴムシ	1	47	
43	昼のホタル観賞会	12	2,528	
44	顕微鏡で見てみよう！水の中の小さな生きもの	1	20	
45	チリメンジャコに混ざった生きものを探そう！	1	24	
46	新春！小学生クイズラリー	4	215	
47	冒険あそび	75	2,813	
	小 計	2,780	69,031	

令和4年度事前募集イベント開催

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	事前募集				
1	ホテルのタベ	4	1,714	1,096	
2	Dreamnight at the zoo 2022 生物園	1	214	186	
3	生きものにクリスマスプレゼント！	1	126	26	
4	カブトムシを育てよう！	2	57	15	
5	顕微鏡で見てみよう！ミクロの世界-池・海編-	1	14	6	
6	サイエンスカフェ「KATARU」	1	28	24	
7	骨格標本作り	1	27	9	
8	セミの羽化観察会	2	174	43	
9	チョウの翅を見てみよう～鱗粉転写～	1	19	10	
10	つくってかざろう！生きもの展示	1	6	6	
11	昆虫標本教室	1	38	12	
12	夜のカエル観察会	1	64	13	
13	家族でつり教室	1	121	17	
14	こども飼育員体験	1	52	17	
15	解剖！サカナの研究会	1	13	10	
16	大人の飼育員体験	1	34	7	
17	解剖！イカの研究会	1	12	11	
	小 計	22	2,713	1,508	

令和4年度団体対応開催数

	名 称	回 数	参加者数	備 考
番号	団体対応			
1	生物園ガイド	7	124	
2	えがおのひみつ(オンライン)	2	162	
3	虫と昆虫の違い(オンライン)	2	85	
	小 計	11	371	

令和4年度出張授業開催数

	名 称	回 数	参加者数	備 考
	出張授業			
1	ヤゴ	1	67	
2	チョウの飼育体験教室	2	111	
3	昆虫に関して	1	112	
4	モルモットと仲良くなろう	1	44	
5	季節を探そう	1	61	
	小 計	6	395	

令和4年度総合学習開催数

	名 称	回 数	参加者数	備 考
番号	総合学習			
1	職場体験	10	20	対応者数
2	職場訪問	9	2	対応者数
3	インターン	19	21	対応者数
4	学芸員実習	1	12	対応者数
	小 計	39	55	

令和4年度施設連携開催数

	名 称	回 数	参加者数	備 考
番号	施設連携			
1	川口市立科学館「生物園からみた命の誕生」	1	50	
2	東和親水公園 鳥とみどりの会「野鳥観察・講演会」	1	40	
3	西新井バサージュオ「出張生物園」	4	3,973	
	都市農業公園「出張生物園」	2	281	
4	保塚地域学習センター 「ロールオンコロロン&バスボム作り体験」	1	51	
5	区内図書館「昆虫館はすごい！トークショー」	2	32	
6	あだち放課後子ども教室 「中島根小学校 ～生きもの探し～」	1	10	
7	竹の塚地域学習センター「こどもおしごとらんど」	1	14	
	小 計	13	4,451	

令和4年度ボランティア登録人数

	名 称	回 数	参加者数	備 考
番号	ボランティア			
1	昆虫飼育ボランティア	344	732	
2	公園花壇ボランティア	12	69	
3	プレーリーダー	13	14	
	小 計	369	815	

令和4年度特別展・企画展開催数

	名 称	回 数	備 考
番号	特別展		
1	生きる骨(コツ)	1	生きもの研究室
2	うんち	1	生きもの研究室
3	生きもの捕りに行こう！	1	生きもの研究室
4	水辺の生きもの	1	生きもの研究室
5	食べる食べられる	1	生きもの研究室
6	かくれんぼ	1	生きもの研究室
	企画展		
1	絶滅危惧の昆虫	1	むしむしコーナー
2	迫りくるクビアカツヤカミキリの脅威	1	むしむしコーナー
3	カブトムシ・クワガタムシ	1	むしむしコーナー
4	沖縄の虫たち	1	むしむしコーナー
5	ハンターな虫たち	1	むしむしコーナー
6	ゴキブリ	1	むしむしコーナー
7	見つけて！育てて！チョウの幼虫	1	チョウの飼育室
8	ツシマウラボシシジミの保全活動	1	チョウの飼育室
9	チョウのファッションチェック～幼虫編～	1	チョウの飼育室
10	チョウのファッションチェック～成虫編～	1	チョウの飼育室
11	チョウを探しにでかけよう	1	チョウの飼育室
12	挑戦！チョウの標本！	1	チョウの飼育室
13	食欲の秋！チョウの大好物は何だ！？	1	チョウの飼育室
14	冬のチョウ	1	チョウの飼育室
15	虫と昆虫	1	休憩コーナー
	小計	21	

これらの展示解説業務の他にも、来園者からの生きものに関する質問や相談を受け、その場で柔軟に解説対応をするレンジャートークを行いました。解説員の常駐する生きもの研究室を中心に、園内巡回時の対応も継続し、本年度は 44,919 回、118,600 人に対応しました。

レンジャートークの年間対応数

(単位:回・人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
回数	3,430	4,516	3,626	3,393	4,276	3,729	3,956	3,556	4,049	3,274	3,417	3,697	44,919
大人	3,275	4,645	3,833	3,335	4,069	3,344	3,834	3,126	4,148	3,166	3,325	3,375	43,475
小人	5,715	7,525	6,046	5,657	7,133	6,209	6,549	5,931	6,745	5,457	5,697	6,461	75,125
対応人数	8,990	12,170	9,879	8,992	11,202	9,553	10,383	9,057	10,893	8,623	9,022	9,836	118,600

## 2. 夜間特別開園の実施

### (1) 光の祭典夜間特別開園

12月3日～12月25日まで元洲江公園で開催される「光の祭典」にあわせ、土・日に夜間特別開園を行いました。8日間で8,710人の来園がありました。「冬のホタル観賞会」と「大温室スポットガイド」も実施しました。

「光の祭典」に合わせて実施したプログラム実績

内容	実施日	実施回数	対応人数		
			大人	小人	合計
大温室スポットガイド	12月3日～25日	8回	3,446	2,364	5,810
冬のホタル鑑賞会	12月3日～25日	8回	2,274	1,405	3,679
	計	16回	5,720	3,769	9,489

## 3. 参加型プログラムの実施

### (1) 特別イベント

年に数回、大きなテーマを定めた特別イベントを行いました。テーマに合ったプログラムをまとめて行うことで、様々な年齢層、対象の方が生物園を楽しめるよう工夫しました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画していた「さくらフェスタ」は実施しませんでした。

内容	実施日	対応人数（人）		
		大人	小人	合計
ホタルの夕べ	6月2日～5日	689	407	1,096
Dreamnight at the zoo 2022 生物園	8月6日	100	86	186
鳴く虫night!	虫の音鑑賞会	140	131	271
	スズムシ飼育教室	4	16	20
わんフェス	11月3日	1,729	1,153	2,882
	計	2,662	1,793	4,455

「ホタルの夕べ」は事前申し込み制にて開催し、夜間特別開園は実施しませんでした。昆虫ドーム内ではスタッフの誘導により常時参加者同士の間隔を確保し、歩きながら飛び交うホタルを観賞していただきました。また、ホタルにちなんだ展示を併設し、ホタルの光を楽しむだけでなく、その生態や足立区の歴史との関係を学んでいただきました。

「Dreamnight at the zoo 2022」では、障がいをお持ちの方とご家族を夜の生物園に招待し、多種多様な生きものへのふれあい体験を実施しました。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い昨年度はオンラインでの実施でしたが、今年度は参加者の密を避けるため、実施時間を2回に分けての開催としました。また、生きものとのふれあいの前後に手のアルコール消毒を徹底し、巡回時の消毒、参加者の入れ替え前に園内の一斉消毒を行いました。

「鳴く虫 night!」では鳴く虫の音をテーマとし、鳴く虫の実際の鳴き声を聴くことが

できる鑑賞会やスズムシの飼育教室を開催しました。出会いの広場では鳴く虫の形態や生態について紹介し、庭園では鳴く虫を配置し来園者の方に実際の虫の音を体感していただきました。

3年ぶりの開催となった「わんフェス」では、ドッグランや犬グッズの販売、ディスクドッグのデモンストレーションなどを行いました。感染症対策のため一部出展規模の縮小や飲食物販売中止のほか、観覧スペースを設けることで密を避ける工夫をしました。

## (2) ふれあいプログラム

ふれあいプログラムは来園者が生きものに触れたり、餌やりを見たりすることができるプログラムです。このように直接的にさわる、見るなどの体験は、未就学児のような低い年齢層の来園者にも、効果的に興味や関心を引き出すことができます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、哺乳類のふれあいは一部中止、餌やりなども十分な距離を取って見られるように定員を設けました。

### ふれあいプログラム内容一覧

内容	実施日	実施回数 (回)	対応人数 (人)		
			大人	小人	合計
ちびっこプログラム	毎週水曜日	41	209	226	435
金魚すくい	10月29日、30日	2	441	442	883
チョウを放そう	毎日	313	2,340	1,886	4,226
ヤギとヒツジの健康トレーニング	毎週土曜日(第三土曜を除く)	28	390	290	680
テッポウウオのごはん	毎日	311	2,377	1,794	4,171
サメのごはん	毎週火・木曜日	99	976	819	1,795
ピラルクのごはん	毎週火・木・土曜日	148	1,781	1,655	3,436
金魚のごはん	毎週日曜日	51	596	463	1,059
哺乳類ふれあいコーナー	平日	64	2,203	1,813	4,016
哺乳類・鳥類のごはん	毎日	312	3,585	2,267	5,852
チンチラのごはん	毎日	294	2,007	1,496	3,503
ネコのごはん	毎週水・金曜日	86	286	251	537
ヤギさんぽ	毎週火・木曜日	63	317	229	546
昆虫のごはん	毎日	264	1,360	1,583	2,943
ミツバチの飼育	毎週日曜日(雨天、冬季を除く)	28	279	326	605
ヘビのごはん	毎月第一・第三土曜日(3-11月)	18	164	166	330
リクガメのごはん	毎日	311	2,627	2,185	4,812
カエルのごはん	毎月第一・第三土曜日(12-2月)	6	50	45	95
ヒツジの毛でボール作り	4月30日	1	40	50	90
おりがみで生きものを作ろう!	5月5日	1	51	65	116
ハリスホークと愉快な仲間たち ~from 東武動物公園~	6月26日	1	330	340	670
モルモット総選挙	10月18-30日	13	532	1,066	1,598
モルモットとふれあい記念撮影	10月18-11月3日	15	1,710	1,593	3,303
生きものにクリスマスプレゼント!	12月17日	1	10	16	26
アルパカと愉快な仲間たち	2月23日	1	346	313	659
ポニー乗馬	2月19日、3月5、19日	3	0	367	367
カブトムシ・クワガタムシにさわろう	「カブトムシクワガタムシ展期間」	15	112	408	520
スタッフと生きもの捕りに行こう	「捕りにいこう展期間」	3	2	8	10
海の生きものを触ってみよう	「捕りにいこう展期間」	2	3	20	23
うんちのにおいをかいでみよう	「うんち展期間」	24	487	686	1,173
かくれんぼ本を読んでみよう	「かくれんぼ展期間」	22	13	43	56
ゴキブリタッチ	「かくれんぼ展期間」	45	371	663	1,034
	計	2586	25995	23574	49569

本年度は 32 種類のふれあいプログラムを計 2,586 回 49,569 人に行いました。ちびっこプログラムでは親子で楽しく生きものに関わるきっかけの場となるよう、生きものとのふれあいや自然の素材を用いた体験など未就学児が参加しやすい工夫をしました。

### (3) 導入型プログラム

導入型プログラムは生きものに関心や興味を持った方を対象に実施しています。本年度は年間で計 105 回実施し 4,058 人に対応を行いました。

導入型プログラム対応数一覧

内容	実施日	実施回数 (回数)	対応人数 (人)		
			大人	小人	合計
生きものガイド	毎月第二・四土曜日	23	117	145	262
ま〜し〜園長のガイドツアー	毎月第一土曜日	12	76	62	138
うらがわ探検ツアー	毎月第二・四日曜日	24	234	237	471
チョウの飼育体験	毎月第三日曜日	12	0	106	106
季節の見どころ	毎月第四日曜日	11	101	101	202
はじめての飼育！ダンゴムシ	5月3日	1	23	24	47
昼のホタル観賞会	6月11日～7月3日、1月2日～5日	12	1,344	1,184	2,528
カブトムシを育てよう！	7月18日、24日	2	0	15	15
顕微鏡で見てみよう！水の中の小さな生きもの	4月29日	1	2	18	20
顕微鏡で見てみよう！ミクロの世界-池・海編-	9月19日	1	0	6	6
チリメンジャコに混ざった生きものを探そう！	10月10日	1	0	24	24
新春！小学生クイズラリー	1月6-9日	4	0	215	215
サイエンスカフェ「KATARU」	1月28日	1	24	0	24
	計	105	1,921	2,137	4,058

生きものガイドやうらがわ探検ツアーなどの定期的に行われるプログラムは毎回テーマを変えているため、参加するたびに新しい発見や楽しみがあります。

不定期に行われるものでは「チリメンジャコに混ざった生きものを探そう！」を実施しました。選別される前のチリメンジャコの中に混ざった小さな海の生きものを探し、見つけた生きものの形態的特徴を観察しました。その後、お気に入りの生きものを台紙に貼って持ち帰りました。「ちりめんじゃこにはいろいろな生物がいるんだなと思いました。とても楽しかったです。」や「いろいろな生き物がいて、見つからなかった（書けなかった）生き物もいたので、家でもやってみたいと思った。」といった感想がありました。チリメンジャコに混じった生きものに興味を持った様子が伺えました。

### (4) 発展型プログラム

発展型プログラムは導入型プログラムよりも深く生きものや自然について学び、自然との共生や自分以外の生きものとの関わり方について考えることができる内容です。そのため、少人数に対して時間をかけて行うことが多いです。

本年度は年間で計 12 回実施し 155 人に対応しました。年間の総応募率は目標であった 120%を上回る 357%でした。

### 発展型プログラム対応数一覧

内容	実施日	実施回数 (回)	対応人数(人)			定員(人)	参加率	応募人数(人)	応募率
			大人	小人	合計				
骨格標本作り	5月29日	1	0	9	9	9	100%	27	300%
セミの羽化観察会	7月29, 30日	2	22	21	43	40	108%	174	435%
チョウの翅を見てみよう～鱗粉転写～	7月31日	1	0	10	10	13	77%	19	146%
つくってかざろう！生きもの展示	8月11日	1	0	6	6	6	100%	6	100%
昆虫標本教室	8月14日	1	0	12	12	12	100%	38	317%
夜のカエル観察会	8月20日	1	6	7	13	14	93%	64	457%
家族でつり教室	10月16日	1	7	10	17	20	85%	121	605%
こども飼育員体験	11月23日	1	0	17	17	14	121%	52	371%
解剖！サカナの研究会	1月29日	1	2	8	10	10	100%	13	130%
大人の飼育員体験	1月9日	1	4	3	7	7	100%	34	486%
解剖！イカの研究会	3月21日	1	3	8	11	12	92%	12	100%
		計	44	111	155	157	99%	560	357%

「セミの羽化観察会」では、庭園で羽化をしているセミの観察を行いました。自分でセミの幼虫を見つけ、一匹をじっくり観察する参加者もいれば、いくつかのセミを見て回って羽化の各段階を観察する参加者もいました。「時間が足りないくらい熱中しました。沢山教えてもらったこともあり、この体験は夏休み一番です！！」「じっくり羽化を見たことがなかったので近くで観察できて、ふるえる様子まで感じられてうれしかった。」といった感想がありました。

「こども飼育員体験」は、魚・両生類爬虫類コース、哺乳類コース、昆虫コースに分かれて飼育体験を行いました。各コース、実際に業務を行いながら担当スタッフから生きものの飼育を学びました。「生き物が苦手だったけど、生活について知ることができて好きになれました。」「し育てることはとても大変だったので、いつも作業しているし育員さんたちがすごいなと思いました。ほにゅう類にとってもきょう味をもちました。」といった感想がありました。飼育員の生きものに対する思いや責任について実感した様子が伺えました。

「解剖！サカナの研究会」ではそれぞれ3種類の魚を観察、解剖し、魚の多様な形態を知り、胃の内容物から生活環境を比較し、観察シートを使用し、発見したことから分析を行いました。「新しく知った器官や、魚特ゆうの器官も知ることができてたのしかった。」や「魚の種類がちがうと体のつくりもちがうことがわかりました。」といった感想がありました。魚の多様な形態を解剖を通して実感していたことが伺えました。

#### 4. ボランティア活動

本年度も生物園の活動を助けるボランティア活動を行いました。生物飼育の補助を行う「昆虫飼育ボランティア」と公園の草花の管理を行う「公園花壇ボランティア」、ぼうけんあそび活動に携わる「プレーリーダー」の3つのボランティアを運営しました。

##### (1) 昆虫飼育ボランティア

昆虫飼育ボランティアは、展示昆虫、餌用昆虫の飼育や、餌用植物などの管理を行うボランティアです。活動はボランティア登録者が任意の日付と時間を選び活動を行う通常の活動と、昆虫ドームなどの展示施設の整備を行う定期的な活動があります。また参加者向けの講習会なども行いました。

昆虫飼育ボランティア活動一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
内容		講習会「チョウの飼育・飼育作業中の安全管理」					講座1「身近な生きものと法令」					講座2「ゴキブリについて」	まとめ・振り返り	
講座等	参加人数(人)	31	8				11					12	15	77
通常活動	日数(日)	27	32	27	30	29	27	27	24	31	28	27	30	339
	参加人数(人)	67	66	58	60	54	54	49	45	47	51	53	51	655
													年間総参加人数	732

本年度は37人の登録がありました。年間339回、のべ732人の参加がありました。活動により飼育や消耗品などの飼育補助や、植替えや害虫駆除など屋外での管理作業が充実しました。また、講習会ではオンラインでの開催を実施し、飼育補助の技術を高めるための飼育講座を行いました。通常活動に加えてこれらの講習会を行うことで、活動意欲の向上につなげることができました。

##### (2) 公園花壇ボランティア

公園花壇ボランティアは、元渚江公園内の花壇や草木管理を行うボランティアです。毎月第二木曜日を活動日としており、花壇の植え替えや除草など、草花の維持管理に貢献していただきました。本年度は8人の登録があり、年間12回の実施を予定していましたが、10月は荒天のため中止となり、年間11回の実施・延べ人数69人の参加となりました。

公園花壇ボランティア活動一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
通常活動								荒天中止						11回
	参加人数		8人	4人	7人	5人	7人	—	7人	5人	6人	6人	6人	61人
講座など	内容	説明会												1回
	参加人数	8人												8人
													計	69人

今年度は、公園の“顔”となる、公園入口の大花壇の植替えやメンテナンス、昨年度より運用を開始したボランティア花壇の播種（ヒマワリ・コスモス・菜の花）を実施しました。また、交通事故防止の願いを乗せて各地に広がっている「けんちゃんのアサガ

オ」の播種や灌水にも協力していただき、今年採取した種はボランティアの皆さんにもお譲りし、さらに本取組が区内に浸透していくよう努めました。また、ヒマワリの種や菜の花の間引き菜などを生物園の飼育動物の飼糧にすることで、モットーと掲げる「生きものとの共生を目指す花壇作り」を達成しております。

### (3) プレーリーダー

プレーリーダーは、子どもたちにとって、親とも先生とも違う、親しい距離感で話せる大人です。一緒に遊ぶこともあれば、おしゃべりをしたり、遊びの安全性を一緒に考えたりするなど、頼もしい存在です。

活動はプレーリーダー登録者が任意の日付を選んで行います。本年度は 2 人の方が活動を行い、年間 13 回の実施・延べ人数 14 人の参加となりました（説明会と講習会は 2021 年度中に実施済み）。来年度は講習の機会を増やすことで、プレーリーダーが子どもたちとの関わり方に自信をもって活動できるようにしていきます。

#### プレーリーダー活動一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
通常活動	回数	2回	1回	2回	0回	1回	1回	1回	1回	1回	活動の様子		1回	13回
	参加人数	2人	2人	2人	0人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	14人
													計	14人

## 5. 団体対応

生物園には幼稚園、小・中学校などの教育施設はもちろん、デイサービスなどの介護施設、一般団体など年間を通してたくさんの団体利用がありますが本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時間や団体数に制限を設けての受け入れとなりました。プログラムもリモート対応を中心に実施しました。また、それ以外の団体対応として、園外へ出張して行う出張授業や、中学校・専門学校、大学への実習対応も行いました。

### (1) 団体プログラム

園内でのプログラム対応を行った団体は、のべ 6 団体、計 212 人でした。感染症対策のため、小学校の対応はリモートが中心となり、生きものの質問や生物園の紹介などオンライン授業で回答しました。オンライン上では写真や生体をモニター越しに見せながら解説を行いました。

また、高校や大学の学生を対象に、生物園内やバックヤードを紹介する「生物園ガイド」を行いました。学芸員課程の学生には教育活動について、動物看護師課程の学生には飼育動物の健康管理についてなど、生きものや自然に関する質問にも対応しました。

団体プログラム活動一覧

プログラム内容	回数 (回)	対応人数 (人)		
		大人	小人	合計
生物園ガイド	7	124	0	124
えがおのひみつ(オンライン)	2	7	155	162
虫と昆虫の違い(オンライン)	2	5	80	85
計	11	136	235	371

(2) 出張授業

本年度も小学校を対象とした出張授業を行いました。結果、小学校6校に実施し対応人数は計395人でした。実施したプログラムは「季節を探そう」や「チョウの飼育体験教室」など、1年生は生活科、3年生は理科の授業に合わせたものでした。

出張授業活動一覧

実施日	団体名	プログラム内容	対応人数 (人)		
			大人	小人	合計
6月7日	淵江小学校	ヤゴ	2	65	67
6月24日	舎人小学校	チョウの飼育体験教室	3	85	88
9月6日	入谷小学校	チョウの飼育体験教室	1	22	23
10月20日	加平小学校	昆虫に関して	11	101	112
10月18日	長門小学校	モルモットと仲良くなろう	3	41	44
11月22日	本木小学校	季節を探そう	0	61	61
合計 6団体			20	375	395

(3) 教職員向け講座

小学校の教員を対象とした講座を用意しました。本年度は「足立区小学校教育研究会」の教員を対象とし、生物園で小学校向けに行っている団体プログラム「クイズラリー」「チョウの一生」を実施しました。また、「ぼうけんあそび」の見学もしていただきました。今後の授業や生物園利用につながればと思います。

教員向け講座活動一覧

プログラム内容	回数 (回)	対応人数 (人)		
		大人	小人	合計
クイズラリー・チョウの一生	1	54	0	54
計	1	54	0	54

#### (4) 実習対応

本年度は職場体験・訪問、インターン、学芸員実習と4種類の対応を行いました。

##### ① 職場体験

本年度は昨年度に比べ申込みの件数が増え、10校20人に対応を行いました。感染症対策のため受け入れ人数を縮小しながらの実施となりましたが、解説業務や飼育業務の体験を通して、働くことの意義に気づき、職業選択の参考になる機会となったように思います。

職場体験対応一覧

実施対象	体験開始日	期間 (日)	対応人数(人)	
			対応人数	のべ対応人数
第九中学校	7月14日	2	2	4
日出学園中学校	7月11日	1	2	2
第十一中学校	9月7日	2	2	4
第六中学校	9月28日	3	2	6
花畑北中学校	10月12日	3	2	6
東島根中学校	10月19日	3	2	6
足立西高等学校	11月9日	3	2	6
第一中学校	2月1日	3	2	6
青井中学校	2月7日	3	2	6
江北桜中学校	2月10日	1	2	2
計		4	20	48

##### ② 職場訪問

職場訪問は9校71人に対応を行いました。飼育に関わる仕事に興味を持っている生徒も多く、生物園での仕事内容や取組み、やりがいなど様々な質問に回答しました。要望のある学校にはバックヤードツアーを実施し、学校に出向いて質疑応答する形式をとった学校もありました。

職場訪問対応一覧

実施対象	実施日	対応人数 (人)
花畑北中学校	5月20日	4
兵庫県立西宮香風高等学校	7月6日	13
桃山学院中学校	7月29日	9
仙台第二高校	8月5日	5
市川市立第二中学校	11月4日	3
足立区立花畑中学校	11月17日	5
足立区立第十四中学校	11月17日	3
第十三中学校	11月29日	12
愛媛県立野村高校	12月8日	17
計		71

### ③ インターン

インターンは専門学校や大学など 19 回 21 人に対応を行いました。生物学や飼育を専門にする学生に対し、キャリアアップのため実践的な飼育や解説体験を行いました。

インターン対応一覧

実施対象	体験開始日	期間 (日)	対応人数 (人)	
			対応人数	のべ対応人数
大阪ECO動物海洋専門学校	6月12日	14	1	14
東京環境工科専門学校	6月16日	5	1	5
東京環境工科専門学校	6月27日	5	1	5
名古屋ECO動物海洋専門学校	6月29日	14	1	14
TCA 東京ECO動物海洋専門学校	7月10日	14	1	14
東京環境工科専門学校	7月20日	5	1	5
日本獣医生命科学大学	8月1日	14	1	14
東京都立大島海洋国際高等学校	8月7日	7	1	7
東邦大学	8月14日	5	3	15
TCA東京ECO動物海洋専門学校	9月1日	14	1	14
酪農学園大学	9月7日	11	1	11
国際動物専門学校	10月10日	11	1	11
TCA東京ECO動物海洋専門学校	10月23日	14	1	14
琉球大学大学院	1月4日	5	1	5
TCA 東京ECO 動物海洋専門学校	2月18日	14	1	14
TCA 東京ECO 動物海洋専門学校	3月1日	14	1	14
東京農業大学	3月2日	7	1	7
帝京科学大学	3月1日	10	1	10
日本獣医生命科学大学	3月27日	12	1	12
計			21	205

### ④ 学芸員実習

学芸員実習は大学での学芸員資格を取得するために必要な実習で、1 回 12 人に対応を行いました。実習では博物館に必要な展示やプログラム作成に対する講習や、生物飼育など複合的な講習や体験実習を行いました。

学芸員実習対応一覧

実施対象	体験開始日	期間 (日)	対応人数 (人)	
			対応人数	のべ対応人数
帝京科学大学	8月21日	10	6	60
文教大学	8月21日	10	1	10
北里大学	8月21日	10	1	10
工学院大学	8月21日	10	1	10
東京農業大学	8月21日	10	2	20
日本大学	8月21日	10	1	10
計			12	120

## 6. 展示による解説

### (1) 園内表示

昨年度に更新された園内看板の経過観察と修正を行いました。屋外ではプラスチックボードをベースとしておりましたが、湾曲する状況が見受けられたため、アルミ製のボードに変更しました。今後も園内での利用状況や「お客様の声」を元に改善を進めていきます。



屋外 案内看板

### (2) 常設展

観察展示室「サンゴの世界」の水槽補修に伴い、展示生体が一部追加されたため、種名板の配置を変更しました。今までは分類ごとに配列していたものから、展示の配置に合わせるように更新しています。サンゴの移動が少ないことから、展示と種名板が照らし合わせやすくなる配置になっています。



観察展示室「サンゴの世界」

### (3) 特別展・企画展

来園者にいつ来ても新鮮な内容で楽しめるように定期的に入れ替える展示を園内各所で行いました。

#### ① 特別展

特別展は特別イベントや特別な生体展示と合わせて開催される展示で、本年度は6回開催しました。全ての特別展が生きもの研究室全体を使った比較的大規模な展示です。

本年度は、新規展示として「食べる食べられる展」を開催しました。就学前の来園者でも楽しめるよう、柔らかなイラストを採用し、家族で考える展示を心掛けました。

またリニューアルした「水辺の生きもの展」では、新たに作成した標本を展示することでより多様な水辺の環境を紹介しました。



「食べる食べられる展」



「水辺のいきもの展」

### 令和4年度特別展開催実績一覧

タイトル	開始	終了	展示場所
生きる骨	4月1日	5月15日	1階 生きもの研究室
うんち	5月18日	7月3日	
生きもの捕りに行こう！	7月6日	9月11日	
水辺の生きもの	9月14日	11月20日	
食べる食べられる	11月23日	1月22日	
かくれんぼ	1月25日	4月9日	

### ② 企画展

企画展は比較的小規模な展示です。本年度は15回の企画展を園内各所で行いました。

むしむしコーナーでは、例年実施して人気だった「ゴキブリ展」をリニューアルし、「きらめくゴキブリ展」を開催しました。より種類ごとの魅力に注目した内容に更新し、ポップな印象にしたい思いからイメージカラーを変更しました。

休憩コーナーでは、来園者からの要望が多かったタランチュラやサソリなどの生きものを紹介する「虫と昆虫」を開催しました。



「きらめくゴキブリ展」

### 令和4年度企画展開催実績一覧

タイトル	開始	終了	展示場所
絶滅危惧の昆虫	4月1日	5月8日	2F むしむしコーナー
迫りくるクビアカツヤカミキリの脅威	5月11日	7月10日	
カブトムシ・クワガタムシ	7月13日	9月4日	
沖縄の虫たち	9月7日	11月6日	
ハンターな虫たち	11月9日	1月9日	
きらめくゴキブリ	1月12日	4月16日	
見つけて！育てて！チョウの幼虫	4月1日	4月24日	1F チョウの飼育室前
ツシマウラボシシジミの保全活動	4月26日	10月2日	
チョウのファッションチェック～幼虫編～	10月4日	12月28日	
チョウのファッションチェック～成虫編～	11月29日	3月31日	
チョウを探しにでかけよう	4月1日	7月3日	
挑戦！チョウの標本！	6月1日	8月31日	
食欲の秋！チョウの大好物は何だ！？	9月1日	11月27日	
冬のチョウ	1月2日	3月31日	
虫と昆虫	5月11日	7月10日	

## 7. 印刷物による解説

### (1) セルフガイド

セルフガイドは生物園の展示をより楽しめるような生きものなどに関する情報や家庭でできるプログラムや生きもの飼育についてまとめた配付物です。A4 白黒三つ折で、手軽に持ち帰ることができるようになっています。

本年度はセルフガイドを 27,114 部配布しました。月ごとに季節感や展示内容に合わせたものを選定して設置し、来園者の興味に沿えるよう工夫しました。



新規作成は数を減らしている生きものたちと私たち人間の関係を身近なところから意識してもらうきっかけ作りとして、「共に生きていく。ヒトと生きもの～わたしとカエルの場合～」を発行しました。リニューアルを行った、「ハッとおどろく歯のはなし」は登場する生きものを変更し、食性ごとの歯の違いがわかりやすくなりました。また、「のぞいてみようミクロの世界」は「どうやって見る?とっても小さいミクロな生きもの!」へタイトルを変更し、身近にある水辺環境の小さな生きものをより具体的に観察できる内容になりました。

No	セルフガイドタイトル	配布数												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
02	しいくシリーズ① カトムシ	0	0	0	410	638	52	0	0	0	0	0	0	1100
05	流水の天使クリオネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
06	標本をつくらう!カトムシ編	0	0	73	64	352	65	71	33	64	59	68	72	921
08	標本をつくらう!チョウ編	0	0	29	304	434	73	66	53	44	68	72	72	1215
10	ハチミツとミツバチ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	干潟の生き物	0	0	0	0	0	7	122	91	0	0	0	0	220
12	ミクロの世界	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
13	ホテルのふしぎ	184	246	386	190	182	60	0	70	130	116	152	12	1728
14	うんちのひみつ	0	64	213	23	0	0	0	0	0	0	0	0	300
15	アリの世界	0	0	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0	40
16	水生昆虫大研究	238	82	0	197	447	182	240	264	8	123	220	195	2196
17	チョウのうんち染めに挑戦	0	0	143	17	0	0	0	0	0	66	0	0	226
18	鳴く虫のはなし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	カエルがわかる	0	204	116	50	0	0	0	0	0	0	0	277	647
20	虫の冬ごし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	176	202	307	685
21	東京の生物多様性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	糖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
23	生きもの伝説ウソ?ホント?!	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	セミの見わけ	0	0	0	100	377	43	0	0	0	0	0	0	520
25	ダンゴムシ	0	20	0	8	2	0	0	0	0	0	0	0	30
26	生きものっていい漢字!	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	イモムシのエサさがし	0	16	355	96	0	251	348	277	311	66	7	0	1727
28	むしとりしよう!	0	0	0	220	285	75	0	0	0	0	0	0	580
29	金魚を飼う	240	244	204	225	330	186	248	158	239	215	208	232	2729
30	とぶ生きもの	65	140	0	19	1	0	0	0	0	0	0	0	225
31	カマキリ	0	0	0	10	32	0	0	0	0	0	0	0	42
32	ナミアゲハを飼う	300	354	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	654
33	虫たちの巣	0	0	0	0	0	0	20	0	0	60	200	258	538
34	池で釣りしよう	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	11
35	夜	0	0	0	0	0	0	0	0	140	0	0	0	140
36	ゴキブリいろいろ★	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	228	292	548
37	うたのなかの生きもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38	カタツムリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39	熱帯と亜熱帯	0	0	0	0	0	0	0	0	120	135	132	201	588
40	バッタを飼う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41	公園の野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42	知らう遊ぼう荒川	0	0	0	0	380	189	70	101	0	0	0	0	740
43	ザリガニ	0	0	0	0	0	84	90	96	0	0	0	140	410
44	群れの生きもの	0	0	0	0	0	50	110	59	43	18	0	0	280
45	ヘビ	0	0	280	340	913	526	655	588	670	694	543	689	5898
46	海のはらっぱ～アマモ～	145	199	140	187	248	139	166	136	165	187	136	183	2031
47	生きもの探検し	94	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	114
48	生きものだってお隣さん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	13
	合計	1266	1569	1939	2500	4641	1982	2217	1926	1934	2011	2168	2961	27114

(2) ニュースレター

ニュースレターは A4 両面フルカラーの印刷物で、表面は生物園の展示やプログラムなどのイベント案内を中心とした広報媒体ですが、裏面には解説的な内容を掲載しています。広報媒体に解説的な内容を織り込むことにより、ニュースレターをより読みたくなるようにしました。

裏面の内容にはそのときに見ごろの生きものについて紹介した「生きものみどころ情報」、スタッフの目線で生きものや自然の楽しみ方を紹介する「解説員のひとりごと」、クイズやゲームなどのお楽しみ要素を生物園風に作成した「ちょっとひといき」の計 3 コラムを掲載しました。

ニュースレター裏面のコラム一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生きものみどころ情報	ツマベニチョウ	カルガモ	ミンダナオミズオトガケ	コイ	カブトムシ	クエ
解説員のひとりごと	知らないなんてもったいない!	働くのはアリ、働かないのもアリ	琉球列島に魅せられて	野菜クズがインテリアに!?	海からの贈り物(ビーチコーミング)	おひさまと動物の赤ちゃん
ちょっとひといき	生きもの名前あるなしクイズ	ナミアゲハの幼虫はどれだ?	魚のまちがいがし	ヒメウラナミジャノメの迷路	あるなしクイズ(チョウ編)	鳴く虫ぞなぞ

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生きものみどころ情報	ヒメフチドリゲンゴロウ	アマノガワテンジクダイ	ケヅメリクガメ	ヒフキアイゴ	ミナミトビハゼ	アメリカカブトガニ
解説員のひとりごと	梅雨と白い泡の塊(カエルの卵)	通勤時間の楽しみ	Youtubeで学べたこと	ミルワームで標本づくり	山で見つけるほ乳類の痕跡	トウキョウサンショウウオとの出会い
ちょっとひといき	かくれんぼ	生きものさがし(クロスワード)	この植物の名前は?(クイズ)	似ているけどちょっと違う?(間違いがし)	何て読むかな?(漢字クイズ)	カエルの調査をしたら(クイズ)

**生きものみどころ情報**

**アマノガワテンジクダイ**  
学名: *Baetis cordatus* Felt  
英名: *Azumaes Kabanai*

**解説員のひとりごと**

**通勤時間の楽しみ**  
みんさん、通勤や通学が楽になるように考えている人が多くなっています。通勤や通学が楽になるように考えている人が多くなっています。通勤や通学が楽になるように考えている人が多くなっています。

**解説員のひとりごと**

**通勤時間の楽しみ**  
みんさん、通勤や通学が楽になるように考えている人が多くなっています。通勤や通学が楽になるように考えている人が多くなっています。通勤や通学が楽になるように考えている人が多くなっています。

**ちょっとひといき**

**生きものさがし!**  
みんな! 自然の生きものがかくれているかな?  
みんな! 自然の生きものがかくれているかな?  
みんな! 自然の生きものがかくれているかな?

**生きものさがし!**  
みんな! 自然の生きものがかくれているかな?  
みんな! 自然の生きものがかくれているかな?  
みんな! 自然の生きものがかくれているかな?

**ご利用案内**

月曜日 休園日  
9:30-17:00 9:30-16:30  
休園日 休園日  
9:30-17:00 9:30-16:30

料金  
小人 150円 100円 600円  
大人 300円 200円 1200円

足立区生物園  
Adachi Park of Living Things

**生きものみどころ情報**

**ミナミトビハゼ**  
学名: *Pteropthalma argenteiventris*  
英名: *1 斑刺鰩*

**解説員のひとりごと**

**山で見つけるほ乳類の痕跡**  
山が好きは1年を通して様々な動物が山を渡っています。山が好きは1年を通して様々な動物が山を渡っています。山が好きは1年を通して様々な動物が山を渡っています。

**解説員のひとりごと**

**山で見つけるほ乳類の痕跡**  
山が好きは1年を通して様々な動物が山を渡っています。山が好きは1年を通して様々な動物が山を渡っています。山が好きは1年を通して様々な動物が山を渡っています。

**ちょっとひといき**

**第1問**  
モロコシヨリ 紋白蝶

**第2問**  
キ00チヨリ 北黄蝶

**第3問**  
コ00チヨリ 木葉蝶

**ご利用案内**

月曜日 休園日  
9:30-17:00 9:30-16:30  
休園日 休園日  
9:30-17:00 9:30-16:30

料金  
小人 150円 100円 600円  
大人 300円 200円 1200円

足立区生物園  
Adachi Park of Living Things

ニュースレター裏面レイアウト(左:11月号 右:2月号)

## 8. 元渚江公園における「ぼうけんあそび」事業

本事業は2019年4月より、子どもの居場所作り推進を目的に開始しました。その日に公園に集まった子どもたちの意見を取り入れながら、元気に走って遊ぶこともあれば、静かに絵描きを楽しむこともある自由な遊び場です。学年も学校も違う子どもが集まるため、時には意見が衝突することもあります。それも成長につながる1つの要因と考え、大きなケガなどに繋がらない場合は、スタッフは近くで見守っています。

今年度は感染症対策を緩和し、ぼうけんあそびが本来の姿に戻れるよう、取り組んできました。感染症が猛威をふるった春から秋にかけては、接触せずに多くの子どもたちが遊べるよう、定員5人で20分ごとに交代しながら遊ぶという方法をとりました。しかしながら、子どもたちの居場所である以上、長時間遊べないことは本来の姿ではないと考え、区の感染症対策の緩和に合わせ、秋からは定員と時間の制限を解除しての運営に取り組みました。

飽きたら別の遊びに移動したり、長時間ぼうけんあそび場にいることで初対面の子同士が仲良くなるなど、時間、定員制限時にはなかったのびのびと遊ぶ様子を見ることができました。参加者数が増えたことにより、あそびの安全性や快適性が問われていくと考えられます。スタッフ間で日々話し合い、運営方法を検討していき、よりよいあそび場を構築していきます。

平行して、環境整備にも力を入れ、子どもたちが自由に楽しく遊べるよう、道具の充実に努めました。受付付近に水道を設置したため、夏場に水遊びをしたり、擦り傷などのケガがあった際にすぐに泥汚れを落とすことができるようになりました。また、ハンモックを自分たちで設置したり、昆虫図鑑で見つけた虫の名前を調べるなど、昨年度までできなかった遊び方ができるようになりました。



ぼうけん倉庫

### ぼうけんあそび実施一覧

	水曜		第二・第四土曜	
	実施回数(日)	のべ参加者数*	実施回数(日)	のべ参加者数*
4月	4回	115人	2回	112人
5月	4回	111人	2回	57人
6月	5回	89人	2回	57人
7月	4回	82人	2回	35人
8月	5回	84人	1回	30人
9月	4回	102人	2回	29人
10月	4回	94人	2回	84人
11月	5回	90人	2回	184人
12月	4回	174人	2回	120人
1月	4回	158人	2回	109人
2月	4回	268人	2回	143人
3月	5回	374人	2回	112人
計	実施回数		参加人数	
	75回		2813人	

※対象が中学生以下のため、  
付き添いの保護者はカウントせず  
※11月9日までは1回  
(あそび時間20分+交代10分)  
につき5人の制限付き  
※11月12日以降は制限をなくし、  
連続参加も30分ごとに再度カウント

今年度のリピート率とリピーター率を算出するとリピート率は82.3%、リピーター率は61.6%で、共に昨年度の実績を大きく上回る結果となりました。これは、元湊江公園における「ぼうけんあそび」が子どもたちの居場所として定着している一つの指標と考えられます。常連の子がクラスの子にぼうけんあそびを紹介するなど、近隣では子どもたち同士の口コミで広まっている様子もうかがえます。子どもたちの中で楽しい場所として認識され始めているようです。

#### ぼうけんあそび リピート率およびリピーター率の実績

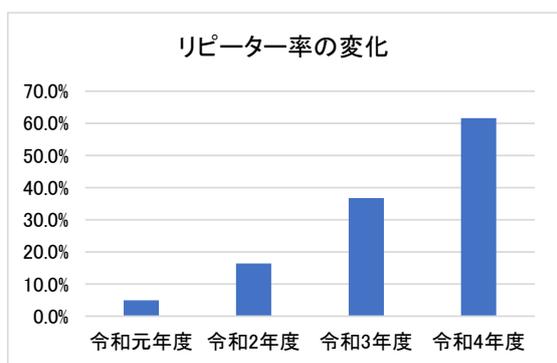
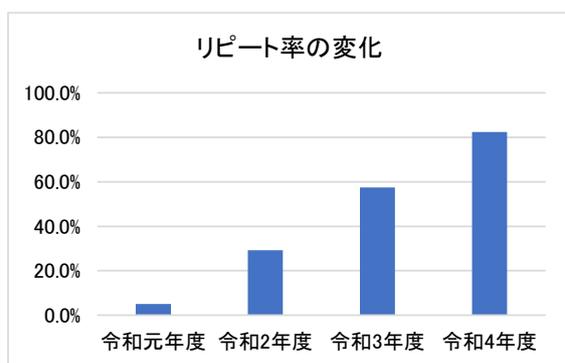
全参加回数 (のべ参加者数)	リピート回数	実参加者数	リピーター数
2813	2317	496	306
リピート率 (リピート回数/全参加回数)		リピーター率 (リピーター数/参加者数)	
82.3%		61.6%	

※リピート回数：参加回数－初回

※リピーター数：複数回参加した人

#### ぼうけんあそび リピート率およびリピーター率の変化

リピート率 (リピート回数/全参加回数)				リピーター率 (リピーター数/実参加者数)			
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
5.1%	29.2%	57.4%	82.3%	5.0%	16.4%	36.8%	61.6%



### Ⅲ 広報活動

#### 1. メディア対応と掲載・放映の実績

##### (1) メディアへの情報配信

コロナ禍において情報発信は規模を縮小していましたが、今年度からコロナ前と同様に積極的な発信を行ってまいりました。定期配信である「プログラム情報」は地元新聞社や地域学習センターなどへ毎月自主発信としてお送りするとともに、プレスリリースについては、不定期ですが報道広報課と連携して大手新聞社や TV 局宛に、大型イベントやショップの新商品発売について発信を行いました。令和4年度の発信内容は以下の通りです。

#### 令和4年度 情報発信記録

	配信予定	リリース内容
定期配信 (プログラム情報)	4月1日	5月のプログラム情報
	5月1日	6月のプログラム情報
	6月1日	7月のプログラム情報
	7月1日	8月のプログラム情報
	8月1日	9月のプログラム情報
	9月1日	10月のプログラム情報
	10月1日	11月のプログラム情報
	11月1日	12月のプログラム情報
	12月1日	1月のプログラム情報
	1月1日	2月のプログラム情報
	2月1日	3月のプログラム情報
	3月1日	4月のプログラム情報
報道広報課 発信 (プレスリリース)	4月26日	GWにおすすめ。子どもと行ける、東京都足立区の3スポットをご紹介します。
	5月9日	ポテトスナック「おとっと」40周年記念 足立区生物園のどうぶつ親子が包装袋と菓子型に！
	6月9日	絶滅危惧種「フサヒゲルリカミキリ」の「羽化」を初確認
	7月13日	カトムシ・クワガタムシ展
	7月22日	足立区生物園で「生きものパン」を販売中
	8月2日	ハチミツの日(8月3日)に販売開始
	9月5日	国内希少野生動植物種 ツシマウラボシシジミ特別公開
	10月13日	足立区生物園の生きものが、再び菓子型に！
	10月14日	もっともっと モルモットキャンペーン
	12月8日	蝶の蛹で飾られた Xmas ツリー
12月8日	「ムカシツチガエル」展示中	
1月5日	サイエンスカフェ「KATARU」開催	
2月10日	第3回 ツシマウラボシシジミ保全シンポジウム	

**足立区生物園**  
Adachi Park of Living Things

### 3月のプログラム情報

**元洲公園 夜桜ライトアップ**  
3月24日(水)～4月2日(日) 18:00～21:00

**ホニー乗馬**  
3月24日(日) 3月19日(日) 9:00～16:00

**春の解剖！イカの研究会**  
3月25日(月) 13:30～15:30

**足立区生物園**  
Adachi Park of Living Things

### 3月の展示情報

**企画展示 さらめくコキリ展**  
1月12日(水)～4月上旬

**企画展示 冬のゾウ**  
1月2日(日)～3月31日(金)

**特別展示 かくれんぼ展**  
1月25日(水)～4月9日(日)

**モフモフで超カワイイ**  
10/15(水)～11/3(木) 足立区生物園で  
もっともっと モルモットキャンペーン

10/15(水)～11/3(木) 足立区生物園で  
もっともっと モルモットキャンペーン

10/15(水)～11/3(木) 足立区生物園で  
もっともっと モルモットキャンペーン

各月のプログラム情報

プレスリリース

(2) 掲載・放映実績

本年度は、140件のメディア掲載・放映があり、昨年度と比較して37件増加しました。今年度は、上述の通り積極的な情報発信を行ったため生物園の取組を紹介していただく機会が増えたと考えられます。媒体については、以下の表にてご報告させていただきます。

令和4年度 区分掲載・放映実績

	R1	R2	R3	R4	R5
情報誌	91	56	56	62	
新聞	25	18	18	29	
WEB	29	12	16	26	
TV	20	18	13	18	
その他	6	2	0	5	
	171	106	103	140	

令和4年度 情報誌実績

メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
あだち広報	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	25
保塚地域学習センター「コミュニケーション」	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
竹ノ塚地域学習センター「たけのこ」	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
中央本町地域学習センター「オアシス」	・	・	1	1	1	1	1	・	・	1	1	1	8
リクルート発行 suumo新築マンション(フリーペーパー)	・	・	1	1	1	・	・	・	・	・	・	・	2
早稲田アカデミー提携「サクセス」9・10月号	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	1
東京書籍「ニューサポート高校理科vol.38」	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	1
AS yell!地元発見旅第4号	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	1
合計	4	4	5	6	7	7	5	5	4	5	5	5	62

令和4年度 新聞実績

メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
足立朝日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
毎日新聞都内版	・	1	・	・	1	・	1	・	・	・	・	・	3
足立よみうり	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	1	1	3
東京新聞	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	1
東京新聞したまち版	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	1
産経新聞	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	1
読売新聞港北版	・	・	・	・	1	・	1	1	・	・	・	・	3
産経新聞都内版	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	1
朝日新聞都内版	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	1
読売新聞ワークシート	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	1
読売こども新聞	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	1
東京新聞	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	1
合計	1	2	2	2	5	2	4	2	3	2	2	2	29

令和4年度 WEB実績

メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
さんたつ(散歩の達人WEB版)	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
足立経済新聞	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
竹ノ塚エリアガイド	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
PR TIMES	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
kodomoe	・	2	2	1	・	・	・	・	・	・	・	・	5
じゃらんニュース	・	1	・	・	・	・	・	・	1	・	・	1	3
毎日新聞WEB版	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
TBS「NEWS DIG」	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
朝日新聞デジタル	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	1
コロコロオンライン	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	1
おっとっと特設サイト	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	1
東武鉄道公式HP	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	1
つくばエクスプレス「おでかけ情報」	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	1	1	3
あだち観光ネットHP	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	2	1	4
Good Luck Trip	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	1
合計	4	4	3	2	1	0	1	0	3	2	3	3	26

令和4年度 TV実績

メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
テレビ朝日「お願いランキング」	1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1
J:COM「つながるニュース」	2	.	1	.	1	.	.	.	.	.	.	.	4
TokyoMX「ぐるり東京江戸散歩」	.	1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1
日本テレビ「ヒルナンデス」	.	1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1
NHK首都圏ネットワーク「ちかさとコレクション」	.	.	1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1
TBS「JNNニュース」	.	.	1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1
NHK「おはよう日本」	.	.	1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1
TBSテレビ「Nスタ」	.	.	.	.	.	1	.	.	.	.	.	.	1
TBS「ひるおび」	.	.	.	.	.	.	1	1	.	.	.	.	2
テレビ東京「内村のツボる動画」	.	.	.	.	.	.	.	.	1	.	.	.	1
NHK「ミニクリーズ」	.	.	.	.	.	.	.	.	1	1	.	.	1
J:COM「荻野目洋子の虫は友達」	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1	.	.	1
フジテレビ「潜在能力テスト」	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1	.	.	1
NHK「チコちゃんに叱られる」	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1	.	.	1
合計	3	2	4	0	1	1	1	2	2	0	0	0	18



産経新聞 (8/28 掲載)



産経新聞 (10/23)

2. インターネットによる情報発信

(1) ホームページのアクセス数

今年度のホームページアクセス総数は、366,026件と去年に比べ65,469件増加しました(昨年アクセス総数：300,557件)。今年度は平成26年からの指定管理業務の中で最大数のアクセス数となりました。特に10月は令和3年度と比較すると2倍近い60,530件のアクセス数がありました。10月は『もっともっとモルモットキャンペーン』によりアクセス数が伸びたと考えられます。



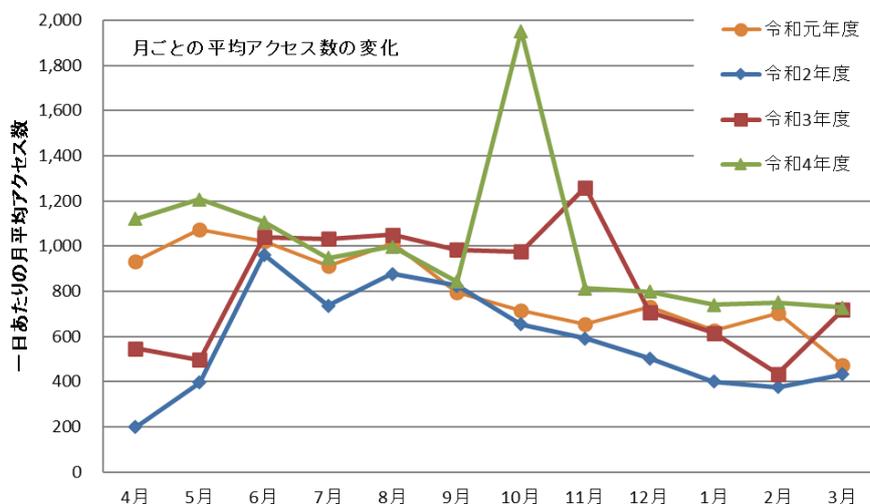
令和4年度 HP 更新実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
1-1 アイキャッチ画像	3	1	1	2	2	0	4	2	3	1	2	0	21	月1回
1-2 開園情報	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	13	Twitterで告知
1-3 生物園からのお知らせ	6	1	3	0	0	1	3	4	1	5	6	4	34	随時
1-4 Facebook	2	4	3	3	3	2	3	5	3	3	3	4	38	週2回
1-5 Twitter	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	毎日
2-1 施設案内	0	0	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	4	年1回内容確認
3-1 プライバシーポリシー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	年1回内容確認
3-2 年間報告書	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	年1回
2-2 園内マップ	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	年1回内容確認
2-3 プログラム情報	2	1	2	1	0	0	2	3	4	1	1	2	19	月1回
2-4 生物園の生きもの	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	2	15	月1回
2-5 よみもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3-3 ニュースレター	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	13	月1回
3-4 解説員のひとりごと	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	月1回
3-5 調査・研究・受賞	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	随時
2-6 交通案内	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	年1回内容確認
2-7 団体のお客様へ	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	年1回内容確認
2-8 元洲江公園の情報	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	年1回内容確認
2-9 お問い合わせ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	年1回内容確認
3-6 よくある質問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	年1回内容確認
3-7 電話での問い合わせ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	年1回内容確認
3-8 メールでの問い合わせ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	年1回内容確認
2-10 プレスリリース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	随時
2-11 リンク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	年1回内容確認
2-12 指定管理業者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	年1回内容確認
1-6 特設サイト	1	0	0	0	2	0	3	2	0	0	1	0	9	随時
月ごとの合計	18	11	16	11	11	9	22	23	20	17	17	16	191	

※セル内数字は更新回数

月ごとのアクセス数推移

	月の日数	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		月の累計	1日当たり	月の累計	1日当たり	月の累計	1日当たり	月の累計	1日当たり
4月	30	28,011	934	5,948	198	16,429	548	33,605	1,120
5月	31	33,279	1,074	12,249	395	15,370	496	37,429	1,207
6月	30	30,575	1,019	28,858	962	31,222	1,041	33,200	1,107
7月	31	28,263	912	22,796	735	31,975	1,031	29,367	947
8月	31	31,341	1,011	27,214	878	32,581	1,051	30,912	997
9月	30	23,920	797	24,724	824	29,531	984	25,290	843
10月	31	22,119	714	20,252	653	30,224	975	60,530	1,953
11月	30	19,651	655	17,749	592	37,767	1,259	24,375	813
12月	31	22,605	729	15,556	502	21,946	708	24,784	799
1月	31	19,419	626	12,407	400	19,089	616	22,972	741
2月	28	19,631	701	10,491	375	12,146	434	20,993	750
3月	31	14,641	472	13,365	431	22,277	719	22,569	728



## (2) SNS の運用

生物園の取組みと生きものの魅力を広域に伝えるために、Instagram、YouTube、Twitter、Facebook の 4 種類の SNS を各種活用して情報発信を行いました。

### ① Instagram アカウントの実績

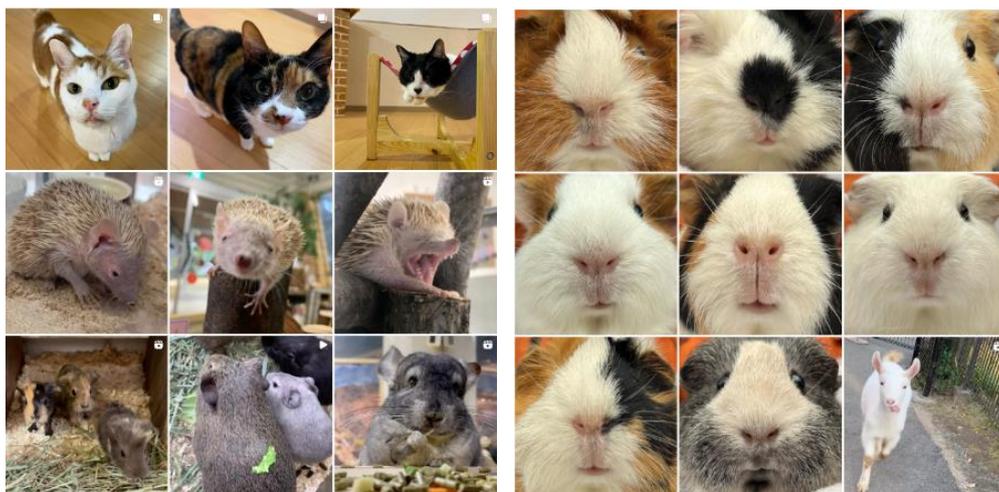
コロナ禍の新しい取組みとして、SNS コンテンツの充実を図るために、Instagram アカウントの運用を令和 3 年 7 月 29 日から開始しました。今年度は「フォロワー数 1,000 人」を目標に掲げ投稿を行ったところ、新規に「749人」のフォロワーを獲得したことで、合計フォロワー数は「1,312 人」となりました。投稿数は昨年を遥かに上回る「422 回」となっています。これは、昨年度はあまり活用をしていなかった、写真のみを投稿する「ストーリー」や「リール」機能を用いたため、大きく上回る数字となりました。投稿内容はモルモットやヤギなど哺乳類をメインに扱うことで、アカウントの統一感を出しています。

### 令和 4 年度 Instagram の運用状況

Instagram	令和3年度	令和4年度	令和5年度
投稿数	53	422	
リーチ数	36794	58348	
プロフィールへのアクセス数	5,342	9,384	
新規フォロワー数	563	749	
合計フォロワー数	563	1,312	

※アカウント開設は令和3年7月29日

※投稿数は、投稿・リール・ストーリー・ライブを合算



哺乳類の個性にスポットを当てた投稿

## ② YouTube チャンネルの実績

「足立区生物園 YouTube チャンネル」は、コロナ禍においてもご自宅で生物園をお楽しみいただくために、令和2年度より開設しています。今年度は、「チャンネル登録者数 3,000 人」を目標に掲げました。幸いなことに今年はコロナ休園などもなく、予定どおりの開園をすることができましたが、その反面動画作成に注力する時間が減少したため、動画投稿数は 23 本（昨年 49 本）となりました。しかし、作成する動画の内容をしっかりと吟味し、生物園の重点的な取組みである希少種保全などについても動画で紹介をすることにより、深みを増した動画を配信することができました。結果として投稿数は減りましたが、目標としていた登録者数を超える「3,172 人」の方にチャンネル登録をしていただけました。

### 令和4年度 YouTube の運用状況

YouTube	令和3年度	令和4年度	令和5年度
動画投稿数	49	23	
視聴回数	166,944	132,500	
総再生時間	11,989	5,925	
インプレッション	1,955,717	1,380,171	
チャンネル登録者数	2,178	3,172	

※チャンネル開設は令和2年5月17日

※動画投稿数は、動画投稿・ショート動画・ライブ配信・プレミアム配信を合算



生息域外保全の取り組みなども動画で紹介

③ Twitter アカウントの実績

H29年9月6日にアカウント作成し、同年11月から本格運用を開始したTwitterですが、「瞬間的な生物園の魅力を伝える」ツールとして活用しています。昨年度との比較で投稿数が減少しているのは、コロナ禍において入場制限などの状況を伝えるツールとしての役割が今年はなかったことに起因します。毎日1回以上の投稿を原則として運用しており、結果投稿数は529回と目標を大きく上回り、フォロワー数は年間で1,634人増加し、合計で7,878人となりました。

令和4年度 Twitter の運用状況

Twitter	令和3年度	令和4年度	令和5年度
投稿数	727	529	
インプレッション数	5,101,485	4,134,048	
新規フォロワー数	1,965	1,634	
合計フォロワー数	6,244	7,878	

※アカウント開設は平成29年5月6日

④ Facebook アカウントの実績

H28年5月から運用を開始したFacebookですが、読者の「知的好奇心をくすぐるコラム」をテーマに運用を続けました。今年度は38の記事を投稿し、中でも8月に投稿した【リュウキュウオオイチモンジシマゲンゴロウの繁殖】についての記事は1,221リーチとなり人気の記事でした。令和3年3月31日現在、フォロワー数は1,376人です。



アマミトゲネズミの生息域外保全の取組も紹介

令和4年度 Facebook の運用状況

Facebook	令和3年度	令和4年度	令和5年度
投稿数	53	38	
リーチ数	15,935	11,185	
プロフィールへのアクセス数	2,744	4,066	
新規フォロワー数	35	23	
合計フォロワー数	1,376	1,399	

※アカウント開設は平成28年5月6日

3. ポスター・チラシ等による情報発信

(1) ポスター

ポスター掲示についても昨年度は、コロナ関連の掲示物がメインとなっていましたが、今年度より事業をPRするポスター類（期間展示情報/プログラム情報/イベント情報）の掲示を、生物園入口・元渚江公園入口掲示板（各2枚）/園内（基本1枚、必要に応じ2枚）/生物園建物壁面（2枚）/竹ノ塚駅前看板（2枚）にて再開しました。

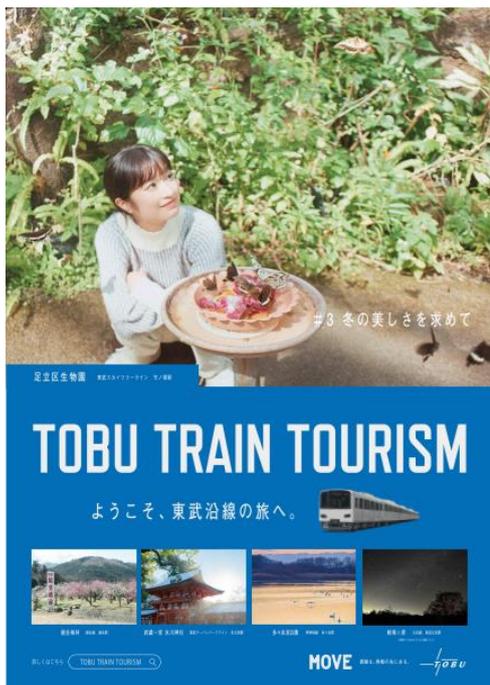
また、東武鉄道の冬のキャンペーンで生物園が大きく取り上げられたため、東武線各駅などの掲示に留めず、生物園園内にも掲出させていただきました。大型イベント（「ホテルのタベ」など）は、竹ノ塚駅や六町駅にもポスター掲出を依頼し、PRにつとめました。



各月のプログラムポスター



展示ポスター（食べる食べられる展）



東武鉄道冬のキャンペーンポスター



生物園サイエンスカフェ KATARU

## (2) ニュースレター/チラシ

今年度もイベントや展示など生物園のPRに関する情報を載せたニュースレターを毎月毎月制作している、イベントや展示など生物園のPRに関する情報を載せたニュースレターを毎月1回発行・印刷を行いました。印刷したニュースレターは区内の施設や生物園の受付などで配布する他、近隣の小学校10校（湊江第一小、湊江小、保木間小、東栗原小、加平小、中島根小、平野小、花保小、花畑小、竹の塚小）で自主配布を行う他、東保木間町会と南保木間町会の回覧板で各家庭に毎月配布をして頂きました（東保木間町会77部、南保木間町会35部）。

また、昨年12月号より、つくばエクスプレス沿線の全20駅に、ニュースレターを各40部（秋葉原は100部）配架していただく運びとなり今年度もこの取組は継続となりました。これは、六町～桑袋団地間を走り、元湊江公園前にバス停が新たに設置された社会実験バス（ブンブン号）の運行を共に盛り上げることを目的としています。

チラシについては、主に大型イベントである「わんフェス」や、今年初めての取組みとなる「サイエンスカフェ」、刈馬市と足立区共催となった「第3回ツシマウラボシシジミ保全シンポジウム」をニュースレターとは別途発行しました。区内外の公共施設やイベント時に配布し、生物園の取組みを伝えるきっかけづくりになったと考えています。

令和4年度ニュースレター/チラシ発行実績

発行日	種類	サイズ/仕様	部数	配布状況
3月8日	ニュースレター4月号	A4/両面カラー	8,000	
4月3日	ニュースレター5月号	A4/両面カラー	9,000	
5月2日	ニュースレター6月号	A4/両面カラー	9,000	
6月6日	ニュースレター7月号	A4/両面カラー	9,000	
7月1日	ニュースレター8月号	A4/両面カラー	10,000	
8月4日	ニュースレター9月号	A4/両面カラー	10,000	
8月31日	ニュースレター10月号	A4/両面カラー	9,000	
10月2日	ニュースレター11月号	A4/両面カラー	9,000	
10月27日	わんフェスチラシ	A4/両面カラー	500	イベント時に配布
10月27日	ニュースレター12月号	A4/両面カラー	9,000	
11月29日	ニュースレター1月号	A4/両面カラー	9,000	
12月16日	サイエンスカフェチラシ	A4/白黒	600	区内学校や公共施設に配布
12月18日	サイエンスカフェチラシ	A4/白黒	40	
12月25日	サイエンスカフェチラシ	A4/白黒	100	
12月28日	ニュースレター2月号	A4/両面カラー	9,000	
1月26日	ツシマシボジウムチラシ	A4/両面カラー	5,000	区内外施設に配布
2月7日	ニュースレター3月号	A4/両面カラー	9,000	
3月6日	ニュースレター4月号	A4/両面カラー	9,000	



ニュースレター2022年8月号

ニュースレター2023年2月号



第3回ツシマウラボシジミ保全シンポジウム



わんフェス

### (3) 中吊り広告

東武線における中吊り広告については、指定管理者の提案にもある通り広域に渡り PR をする重要なツールです。今年度は計画通り年間4回の中吊りポスターの掲出を行いました。掲出内容と期間は以下の通りです。

開始日	終了日	種類	サイズ	部数	配布状況
8月24日	9月23日	ツシマウラボシジミ特別公開	B2	3,510	東武スカイツリーライン、東武アーバンパークライン
10月14日	11月3日	もっともっとモルモットキャンペーン	B2	3,510	東武スカイツリーライン、東武アーバンパークライン
12月1日	12月31日	東武動物公園年パスキャンペーン	B2	3,510	東武線全線
2月22日	3月21日	第3回ツシマウラボシジミ保全シンポジウム	B2	3,510	東武スカイツリーライン、東武アーバンパークライン



ツシマウラボシジミ特別公開



もっともっとモルモットキャンペーン



足立区生物園×東武動物公園  
年パスコラボキャンペーン



第3回ツシマウラボシジミ  
保全シンポジウム

### 4. その他の情報発信

#### (1) 幼稚園・保育園・その他児童施設や介護施設への FAX 配信

平成30年度から実施していた、毎月幼稚園や保育園、介護施設などに FAX にて送信していた「生物園みどころ情報 FAX」ですが、制限設けた団体の受け入れとなっていたため積極的な活用はしませんでした。しかし、令和5年度から団体利用に関して変更があるため、1月12日に以下の通りお知らせを送信しました。

## ■令和5年度団体利用に関するお知らせ



### 令和5年度 団体利用に関するお知らせ

教育団体（幼稚園保育園・小中高校・大学・支援学校等）の利用

【令和4年度からの変更点】  
①1つの予約枠に対し、2団体まで受け入れ可能となります。  
（他団体と接触の可能性がございます。合計300人以内）  
②毎週金曜日は足立区の教育団体以外でもご予約が可能となります。

完全予約制。予約は前日の17時までとなります。  
1日の団体枠は3組限定です。  
同一団体が2つ以上の時間帯を予約することはできません。  
① 9:30 ~ 11:00    ② 11:10 ~ 12:40    ③ 13:00 ~ 14:30

【ご注意】  
※予約状況はHPでご覧いただけます。（11月1日（水）～）  
※教育団体予約は平日のみ。土日祝日・足立区が定めた小学校の長期休業期間にご利用できません。  
※緊急事態宣言が発令された場合は、予約・ご利用ともに中止となります。

【受付開始日時】

### ご予約受付開始しました！

【お申込、お問い合わせ】  
TEL：03-2884-6677    FAX：03-3884-8996  
Eメール：info@seibutuen.jp    HP：https://seibutuen.jp

## (2) 足立区デジタルサイネージの活用

今年度より、足立区本庁舎アトリウムに設置されていたポスター掲示板が撤去され、デジタルサイネージ（所管：報道広報課 デジタル情報・広告係）が導入されました。それにより、これまで当園が行っていたポスターの貼替業務はなくなり、データの送付で広報が可能となりました。また、デジタルサイネージはポスターだけではなく、動画の放送も可能なため、9月26日から3月31日まで、「生物園のYouTubeチャンネルCM動画」を放送していただきました。イベント告知の活用としては、「鳴く虫 night」（8月）、「第3回 ツシマウラボシシジミ保全シンポジウム」（2月）のポスターを放映していただきました。

## ■生物園 YouTube チャンネル CM 動画



### 第三章 生物飼育業務

#### I 生物飼育業務

##### 1. 令和4年度の飼育状況

###### (1) 昆虫類

今年度、足立区生物園の昆虫類の飼育は、チョウ類、水生昆虫類、陸生昆虫類の3つの区分で管理を行いました。また、チョウ類の管理は分類学上ではチョウ目のみとなるため、科（および亜科）による区分で飼育管理を行いました。なお、分類学上は昆虫ではありませんが、餌用生体としてカタツムリなどについても飼育管理を行いました。

年間飼育種数は206種 76,583匹(チョウ類 72種 8,563匹、水生ホタル 2種 2,550匹、ホタルを除く水生昆虫類 22種 2,739匹、水生昆虫餌用生物類 7種 約 22,300匹、バッタ目 27種 24,385匹、陸生コウチュウ目 26種 12,617匹、その他の陸生昆虫・節足動物 50種約 3,429匹)でした。また、希少種の保全活動として、環境省や対馬市、長崎バイオパーク、箕面公園昆虫館、伊丹市昆虫館の連携の下、ツシマウラボシシジミおよび、フサヒゲルリカミキリの生息域外保全について取り組みました。

###### (2) 両生・爬虫類

今年度、足立区生物園の両生爬虫類の飼育では、年間 58種 170匹（両生類：21種 72匹、爬虫類：37種 98匹）の飼育管理を行いました。

###### (3) 水族

水族班が飼育管理を行う種は分類学上において多岐に渡るため、綱レベルでの区分とし飼育管理を行いました。水族の年間飼育種数は 196種 2517匹（うち魚類は軟骨魚類綱：2種 2匹、条鰭綱：93種 1,693匹）でした。また飼育生物から得られた知見をまとめ、JAZA 第67回水族館技術者研究会において2題の発表を行いました。

	綱	目数	種数	個体数
1	鉢虫綱	2	2	79
2	花虫綱	5	23	100
3	腹足綱	2	10	151
4	多毛綱	2	2	3
5	カブトガニ綱	1	1	2
6	軟甲綱	3	43	216
7	ヒトデ綱	2	6	121
8	クモヒトデ綱	1	4	120
9	ウニ綱	1	1	1
10	ナマコ綱	1	9	29
11	軟骨魚類綱	2	2	2
12	条鰭綱	11	93	1,693
	合計	33	196	2517

###### (4) 鳥類・哺乳類

今年度、足立区生物園の鳥類哺乳類の飼育では、年間 19種 135匹（鳥類：7種 40羽、哺乳類：12種 95頭）の飼育管理を行いました。

飼育種のうち、パルマワラビー日本の動物園で絶やさないために計画的な繁殖が必要な種として、Jaza Collection Plan (JCP) の踏力種にカテゴライズされています。本年度は、智光山公園動物園が雄個体 1頭の導入を検討しており、種別管理担当を通じて譲り渡しを行いました。また、日本動物園水族館協会 (JAZA) と環境省と協力しアマミトグネズミの生息域外保全に取り組みました。

## 2. 各飼育区分の飼育種および活用実績リスト

### (1) チョウ類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
アゲハチョウ科	ナミアゲハ	175	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
	クロアゲハ	120	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	シロオビアゲハ	437	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	ナガサキアゲハ	573	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
	キアゲハ	7	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	カラサアゲハ	39	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	アオスジアゲハ	14	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
	ジャコウアゲハ	227	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
	ベニモンアゲハ	25	有	大温室	屋外採集個体を含む	
タテハチョウ科	マダラチョウ亜科	オオコマダラ	331	有	大温室	屋外採集個体を含む
		リュウキュウアサギマダラ	426	有	大温室	屋外採集個体を含む
		スジグロカバマダラ	115	有	大温室	屋外採集個体を含む
		ヒメアサギマダラ	362	有	大温室	屋外採集個体を含む
		マルバネリリマダラ	2	有	大温室	屋外採集個体のみ
		アサギマダラ	434	有	大温室	屋外採集個体を含む
		ツマムラサキマダラ	252	有	大温室	屋外採集個体を含む
		ツマグロヒョウモン	108	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
		コムシジ	283	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	タテハチョウ亜科	ルリタテハ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ
		キタテハ	2	有	大温室	屋外採集個体のみ
		アカタテハ	2	有	大温室	飼育個体のみ
		ヒメアカタテハ	121	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
		イシガケチョウ	791	有	大温室	飼育個体のみ
		タテハモドキ	99	有	大温室	屋外採集個体を含む
		オオムラサキ	9	有	大温室	屋外採集個体のみ
		アサマイチモンジ	2	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
		イチモンジチョウ	1	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
		リュウキュウムラサキ	73	有	大温室	屋外採集個体を含む
		コノハチョウ	46	有	大温室	飼育個体のみ
		サカハチチョウ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ
		ゴマダラチョウ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ
		カバタテハ	461	有	大温室	飼育個体のみ
	ジャノメチョウ亜科	リュウキュウヒメジャノメ	425	有	大温室	屋外採集個体を含む
		サトキマダラヒカゲ	2	有	大温室	飼育個体のみ
		クロコノマチョウ	124	有	大温室	飼育個体のみ
		クロヒカゲ	23	有	大温室	屋外採集個体を含む
		ヒメウラナミジャノメ	310	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
		マサキウラナミジャノメ	51	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	シロチョウ科	モンシロチョウ	283	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
		ツマキチョウ	4	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
		モンキチョウ	34	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
		キタキチョウ	469	有	大温室	屋外採集個体を含む
クロテンシロチョウ		353	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
ウスキシロチョウ		3	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
ツマベニチョウ		77	有	大温室	飼育個体のみ	
ムラサキシジミ		1	有	大温室	屋外採集個体のみ	
シジミチョウ科	ムラサキツバメ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ	
	ツバメシジミ	10	有	大温室	屋外採集個体のみ	
	ベニシジミ	74	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	ウラナミシジミ	2	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
	ヤマトシジミ	3	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
	ルリシジミ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
	ウラギンシジミ	2	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
	ツシムウラボシシジミ	591	有	大温室・昆虫ドーム	飼育個体のみ	
セセリチョウ科	チャバネセセリ	1	有	大温室・昆虫ドーム	飼育個体のみ	
	コチャバネセセリ	15	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	ダイミョウセセリ	11	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	キマダラセセリ	2	有	大温室	屋外採集個体のみ	
	タイワンアオバセセリ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ	
	イチモンジセセリ	38	有	大温室	屋外採集個体を含む	
スズメガ科	ウンモンズメ	3	有	昆虫ドーム	飼育個体のみ	
	ホシホウジャク	69	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	コスズメ	2	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
	ホシヒメホウジャク	2	有	大温室	飼育個体のみ	
	モモズメ	1	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
	ベニスズメ	1	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
	オオスカシバ	6	有	大温室	飼育個体のみ	
ヤガ科	シモフリスズメ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
	アケビコノハ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
	アカエグリバ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
ヤママユガ科	タマナギンウワバ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
	ヤママユガ	24	有	昆虫ドーム	飼育個体のみ	
総種数	72					
総個体数	8,563					

(2) 水生昆虫類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
コウチュウ目	ゲンジボタル	953	有	ホタルの夕べ		
	ヘイケボタル	1,597	有	昼のホタル観賞会	羽化成虫(夏:309頭、冬:1288頭)	
	オキナワオオミズスマシ	50	有	常設展、沖縄の虫たち展		
	クロゲンゴロウ	50	有	常設展		
	ヨガタノゲンゴロウ	4				
	ゲンゴロウ	50	有	常設展		
	ヒメフチリゲンゴロウ	50	有	常設展		
	シマゲンゴロウ	50	有	常設展		
	オキナワスジゲンゴロウ	40	有	沖縄の虫たち展		
	リュウキュウオオイチモンジシマゲンゴロウ	40	有	沖縄の虫たち展		
	ヒメゲンゴロウ	25	有	常設展		
	ハイイロゲンゴロウ	40	有	常設展		
	ガムシ	5	有			
カメムシ目	タガメ	50	有	常設展		
	ヨオイムシ	60	有	常設展		
	ミズカマキリ	10	有	常設展、かくれんぼ展		
	アメンボ	5	有	生きもの捕りに行こう展		
	マツモムシ	100	有	常設展、昆虫ドーム		
トンボ目	クロイトトンボ	20	有	昆虫ドーム		
	ギンヤンマ	10	有	常設展	幼虫	
	クロスジギンヤンマ	30	有	常設展ハンター展	幼虫	
	シオカラトンボ	50			幼虫、水生昆虫餌用	
双翅目	セジユスリカ	1000			水生昆虫の餌(数は概算)	
	アカイエカ	1000			水生昆虫の餌(数は概算)	
双殻目	ミジンコ	10000			水生昆虫の餌(数は概算)	
吸殻目	カワニナ科	カワニナ	10000	有	ホタルの夕べ	水生ホタル類幼虫の餌(数は概算)
原始紐舌目	タニシ科	タニシ	1000	有	ホタルの夕べ	水生ホタル類幼虫の餌(数は概算)
	ヒラマキガイ科	インドヒラマキガイ	1000	有	ホタルの夕べ	水生ホタル類幼虫の餌(数は概算)
有肺目	サカマキガイ科	モノアラガイ	100			水生ホタル類幼虫の餌(数は概算)
		ヒメモノアラガイ	100			水生ホタル類幼虫の餌(数は概算)
		サカマキガイ	100			水生ホタル類幼虫の餌(数は概算)
総種数		31				
総個体数		27,589				

(3) 陸生昆虫類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
ゴキブリ目	コワモンゴキブリ	135	有	沖縄の虫たち展	
	クロゴキブリ	120	有	きらめくゴキブリ展、虫と昆虫	
	ウルシゴキブリ	80	有		
	ヤマトゴキブリ	55	有		
	チュウトウゴキブリ	480			エサ用として飼育
	チャバネゴキブリ	270	有	きらめくゴキブリ展	
	ヒメマルゴキブリ	170	有	きらめくゴキブリ展、など	
	ヤエヤマオオゴキブリ	25	有	きらめくゴキブリ展、など	
	サツマゴキブリ	220	有	きらめくゴキブリ展	
	ヤエヤマダラゴキブリ	16	有	ゴキブリ展	採集
	ルリゴキブリ	16	有	きらめくゴキブリ展、など	
	ギガンテウスメンガタゴキブリ	120	有	きらめくゴキブリ展	
	アルゼンチンモリゴキブリ	170			エサ用として飼育
	グロウスボットゴキブリ	60	有		
	ポーセリンゴキブリ	45	有		
	インシグニスマダガスカルゴキブリ	72	有		
	ヤヴァニカマダガスカルゴキブリ	290	有	きらめくゴキブリ展	
	オブロンゴノータマダガスカルゴキブリ	180	有	きらめくゴキブリ展、など	
	ヴァンウエレベキマダガスカルゴキブリ	77	有		
	グリーンバナナゴキブリ	28	有	きらめくゴキブリ展	
	ヨロイモグラゴキブリ	2	有		
	ドミノゴキブリ	70	有		
	ハテナゴキブリ	50	有	きらめくゴキブリ展	
カマキリ目	オオカマキリ	21	有	ハンターな虫たち展、など	
	カマキリ(チョウセンカマキリ)	1	有	昆虫ドーム	採集
	ハラビロカマキリ	5	有	昆虫のごはん、昆虫ドーム	累代ではなく採集中心
	メダマカレハカマキリ	22	有	ハンターな虫たち展、など	
	ハナカマキリ	7	有	ハンターな虫たち展、など	
ハサミムシ目	ハマベハサミムシ	1	有		採集
	オオハサミムシ	6	有	ハンターな虫たち展	採集
ナナフシ目	コブナナフシ	60	有	かくれんぼ展、沖縄の虫たち	
	ツダナナフシ	22	有	熱帯・亜熱帯の昆虫、など	
	ヤエヤマトガリナナフシ	85	有	熱帯・亜熱帯の昆虫、大温室など	

バッタ目	クビキリギス	8	有	昆虫ドーム		
	ヤブキリ	2			採集	
	クサキリ	3	有	鳴く虫night昆虫ドーム	採集	
	ケラ	5	有	鳴く虫night生きもの捕りに行こう！展		
	ハタケノウマオイ	3	有	鳴く虫night昆虫ドーム	採集	
	ホシササキリ	2	有	鳴く虫night昆虫ドーム	採集	
	クツムシ	4	有	鳴く虫night昆虫ドーム	採集	
	セスジユムシ	3	有	鳴く虫night昆虫ドーム	採集	
	エンマコオロギ	27	有	鳴く虫night昆虫ドーム	採集	
	ハラオカメコオロギ	2	有	鳴く虫night昆虫ドーム	採集	
	ツツレサセコオロギ	1	有	鳴く虫night昆虫ドーム	採集	
	ウスイロササキリ	4	有	鳴く虫night昆虫ドーム	採集	
	マツムシ	8	有	鳴く虫night	採集	
	スズムシ	200	有	鳴く虫night		
	ハヤシノウマオイ	1	有	鳴く虫night	採集	
	カンタン	3	有	鳴く虫night昆虫ドーム	採集	
	コバネササキリ	1	有	鳴く虫night	採集	
	ツユムシ	1	有	鳴く虫night昆虫ドーム	採集	
	ヒロバネカンタン	4			採集	
	フタホシコオロギ	12000	有	鳴く虫night	エサ用として飼育	
	ヨーロッパイエコオロギ	12000			エサ用として飼育毎週購入	
	ヤエヤマクチキコオロギ	40	有			
	オンブバッタ	15	有	昆虫ドーム	採集昆虫ドームのみ	
	ショウリョウバッタ	3	有	生きもの捕りに行こう！展昆虫ドーム	採集	
	イリオモテモリバッタ	30	有	沖縄の虫たち展、虫と昆虫など		
	ツチイナゴ	10	有	昆虫ドーム	昆虫ドームのみ	
	トノサマバッタ	5	有	生きもの捕りに行こう！展昆虫ドーム	採集	
	カメシ目	シロモンオオサシガメ	100	有	ハンターな虫たち展熱帯・亜熱帯の昆虫	
		ナナホシキンカメシ	2	有	熱帯・亜熱帯の昆虫	採集
	コウチュウ目	ハンミョウ	40	有	ハンターな虫たち展生きもの捕りに行こう！展	
		ヒメマイマイカブリ	3	有		
		クロオサムシ	5	有	生きもの捕りに行こう！展	採集
シズオカオサムシ		1			採集	
ノコギリクワガタ		2	有	カブトムシ・クワガタムシ展生きもの捕りに行こう！展		
コクワガタ		1	有	昆虫ドーム生きもの捕りに行こう！展		
アマミノコギリクワガタ		1	有	カブトムシ・クワガタムシ展熱帯・亜熱帯の昆虫	購入	
オオクワガタ		6	有	カブトムシ・クワガタムシ展		
チビクワガタ		100	有			
ニジイロクワガタ		2	有	カブトムシ・クワガタムシ展熱帯・亜熱帯の昆虫	購入	
ギラファノコギリクワガタ		2	有	カブトムシ・クワガタムシ展	購入	
ラオダーラツヤクワガタ		1	有	カブトムシ・クワガタムシ展	購入	
スマトラオオヒラタクワガタ		1	有	カブトムシ・クワガタムシ展	購入	
ファブリースノコギリクワガタ		1	有	カブトムシ・クワガタムシ展	購入	
メタリフェルソアカクワガタ		1			購入	
ツシマヒラタクワガタ		1	有	カブトムシ・クワガタムシ展	購入	
サキシマヒラタクワガタ		2	有	沖縄の虫たち展	購入	
カブトムシ		34	有	カブトムシ・クワガタムシ展、生きもの捕りに行こう！展など		
ヘラクレスオオカブト		3	有	カブトムシ・クワガタムシ展熱帯・亜熱帯の昆虫	購入	
コーカサスオオカブト		1	有	カブトムシ・クワガタムシ展	購入	
グラントシロカブト		1	有	カブトムシ・クワガタムシ展	購入	
チャイロコメノゴミムシダマン		12000			個体数は幼虫数を含む	
ツヤケシオオゴミムシダマン		150			個体数は幼虫数を含む	
フサヒゲルリカミキリ		178			個体数は卵・幼虫の合計	
クロカタゾウムシ		75	有	熱帯・亜熱帯の昆虫沖縄の虫たち展		
リュイスアシナガオトシブミ		5			採集	
ハエ目		トリニドショウジョウバエ	75※		※ボトル数	
ハチ目		クロオオアリ	1※	有	虫と昆虫食べる・食べられる展	※群数
		ムネアカオオアリ	1※	有	ハンターな虫たち展生きもの捕りに行こう！展	※群数
		セイヨウミツバチ	3※	有	バタフライガーデンミツバチの飼育	※群数
サソリ目		ヤエヤマサソリ	1	有		
		ダイオウサソリ	4	有	ハンターな虫たち展虫と昆虫	
サソリモドキ目	タイワンサソリモドキ	3	有		採集	
	アマミサソリモドキ	2	有	ハンターな虫たち展	採集	
オオムカデ目	アオズムカデ	2	有	ハンターな虫たち展虫と昆虫		
クモ目	メキシカンピンクタランチュラ	1	有	ハンターな虫たち展虫と昆虫	CITES預かり個体	
	メキシカンレッドニータランチュラ	1	有			
	ローズヘアータランチュラ	1				
	ホソミアシダカグモ	2	有	きらめくゴキブリ展	採集	
ワラジムシ目	オカダンゴムシ	300	有	虫と昆虫食べる・食べられる展		
原始紐舌目	アオミオカタニシ	9			採集	
有肺目	ヒダリマキマイマイ	20	有			
総種数		103				
総個体数		40,431				

(4) 両生爬虫類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考		
無尾目	モリアオガエル	1					
	シュレーゲルアオガエル	1	有	食べる食べられる展			
	トウキョウダルマガエル	2	有	常設展			
	ニホンアマガエル	4	有	捕りに行こう展、食べる食べられる展			
	ムカシツチガエル	4	有	食べる食べられる展	旧称:ツチガエル		
	ヌマガエル	1					
	アズマヒキガエル	4	有	常設展	旧称:ヒキガエル		
	アフリカツメガエル	9					
	マダラヤドクガエル	11					
	キオビヤドクガエル	1					
	ベルツノガエル	1					
	ヤエヤマヒメアマガエル	1					
	カジガエル	2	有	かくれんぼ展			
	ニホンアカガエル	4	有	水辺の生きもの展			
有尾目	アカハライモリ	7	有	常設展			
	メキシコトラフサンショウウオ	4					
	オオサンショウウオ	1	有	常設展			
	トウキョウサンショウウオ	1					
	トウホクサンショウウオ	1					
	クロサンショウウオ	11					
	マーブルサラマンダー	1					
	キバラガメ	1					
カメ目	クサガメ	3					
	ニホンスッポン	1	有	かくれんぼ展			
	スッポンモドキ	1	有	常設展			
	ヤエヤマインガメ	2					
	セマルハコガメ	1	有	常設展			
	チリメンナガクビガメ	1					
	ブランドーホルストカブトガメ	1	有	常設展	旧称:ニューギニアカブトガメ		
	カロリナハコガメ	2					
	インドホシガメ	2					
	ヒョウモンリクガメ	1					
	ケツメリクガメ	2	有	常設展			
	アカアシガメ	4	有	常設展			
	バンケーキリクガメ	2	有	常設展			
	ニホンインガメ×クサガメ	3					
	ニホンインガメ	18	有	常設展	うち生息域外保全個体17個体		
	ニシキマケクビガメ	2					
	カブトニオイガメ	1					
有鱗目	トカゲ亜目	ミンダナオミズオトカゲ	1	有	常設展		
		ヒョウモントカゲモドキ	4				
		インドシナウォータードラゴン	2	有	常設展		
		ベルモリドラゴン	3	有	常設展		
		メラウケアオジタトカゲ	1	有	常設展		
		サキシマキノボリトカゲ	14	有	常設展		
		ヒガシニホントカゲ	1	有	捕りに行こう展		
		ニホンカナヘビ	9	有	捕りに行こう展		
		ヘビ亜目	ビアクモエギニシキヘビ	1			旧称:ミドリニシキヘビ
			ヒバカリ	1	有	水辺の生きもの展、かくれんぼ展	
	コースタルカーペットニシキヘビ		2	有	常設展		
	ボールニシキヘビ		2				
	ペーレンニシキヘビ		1	有	常設展		
	カリフォルニアキングヘビ		1				
	カンムリヘビ		1				
	アオダイショウ		3	有	常設展		
	セイブネズミヘビ		1			旧称:ネズミヘビ	
	サキシママダラ		1				
	ナンダ	1					
	総種数		58				
総個体数		170					

(5) 水族の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
<b>軟骨魚類綱</b>					
ネコザメ目	ネコザメ	1	有	常設展	
メジロザメ目	ドチザメ	1	有	常設展	
<b>条鰭綱</b>					
ガー目	スポットテッドガー	5	有	常設展	
アロワナ目	ピラルクー	2	有	常設展	
	シルバーアロワナ	5	有	常設展	
	アジアアロワナ	1	有	常設展	紅尾金龍
	ウツボ	2	有	常設展	
ウナギ目	トラウツボ	1	有	常設展	
	ハワイウツボ	1	有	常設展	
	チンアナゴ	11	有	常設展	
	ニシキアナゴ	6	有	常設展	
	ニホンウナギ	1	有	食べる食べられる展	
	ギンブナ	2	有	常設展	
	キンギョ	1,000	有	常設展	品種60種類含む
コイ目	レッドフィンバルブ	5	有	常設展	
	レッドマハシール	6	有	常設展	
	ブルーフィンカーブ	8	有	常設展	
	ハンバラバルブ	1	有	常設展	
	コイ	2	有	常設展	
	ガラ・ルファ	68	有		
	ブラックシャーク	1	有	常設展	
	イエローフィンバルブ	3	有	常設展	
	タモロコ	25	有	常設展	
	ジャイアントダニオ	30	有		
	モツゴ	47	有	常設展、水辺の生きもの展	
	オйкаワ	14	有	常設展	
	タイリクバラタナゴ	3	有	常設展	
	ドジョウ	11	有	常設展	
カラシン目	ガステロペレクス・レヴィス	9	有	生きものの展示を作ろう	
	ラムノーズテトラ	26	有	生きものの展示を作ろう	
	インパイクティスケリー	14	有	生きものの展示を作ろう	
	ネオンテトラ	18	有	生きものの展示を作ろう	
	ピラニア・ナツテリー	10	有	常設展	
	ハラジェルドニー	5	有		
ナマズ目	トランスルーセントグラスキャットフィッシュ	10	有	生きる骨展	
	ナマズ	1	有	常設展	
	カイヤン	2	有		
	ゴンスイ	5	有	常設展	
	ジャウー	1	有	常設展	
	バンジョーキャット	5	有		
	コリドラス・アエネウス	2	有	生きものの展示を作ろう	
	コリドラス・アエネウス アルビノ	2	有	生きものの展示を作ろう	
	コリドラス・アクアトウス	1	有	生きものの展示を作ろう	
	コリドラス・パレアトウス	2	有	生きものの展示を作ろう	
	コリドラス・パンダ	2	有	生きものの展示を作ろう	
	コリドラス・ステルバイ	1	有	生きものの展示を作ろう	
	アグアプレコ	2	有		
	ロリカリア科の1種	5	有		
	オトシンクルス	10	有	生きものの展示を作ろう	
トゲウオ目	サギフエ	10	有	常設展	
カダヤシ目	グッピー	18	有		

スズキ目	カサゴ	3	有	常設展		
	ユメカサゴ	3	有	常設展		
	クエ	1	有	常設展		
	キンギョハナダイ	4	有	常設展		
	アマミイシモチ	1	有	常設展		
	マンジュウイシモチ	5	有	常設展		
	Pterapogon kauderni	5	有	常設展		
	フエダイ	1				
	ヨスジフエダイ	1				
	ヒメフエダイ	1				
	ヒメツバメウオ	12	有	常設展		
	テッポウウオ属の複数種	10	有	常設展	流通名:テッポウウオ	
	ネオランブローグス・プリチャージ	45	有			
	タテジマキンチャクダイ	1				
	クダゴンベ	2	有	常設展		
	デバスズメダイ	1	有	常設展		
	ミズジリュウキュウスズメダイ	3	有	常設展		
	カクレクマノミ	6	有	常設展		
	ルリスズメダイ	1	有	常設展		
	カゴカキダイ	15	有	常設展、生きもの捕りに行こう！展		
	リボンスズメダイ	9	有	常設展		
	ギンヨゴイ	15	有	常設展		
	クロメジナ	3				
	メジナ	1				
	ホンソメフケベラ	12	有			
	ニシキベラ	3	有	常設展、生きもの捕りに行こう！展		
	ギンボ	4				
	フサギンボ	1	有	常設展		
	ニジギンボ	9	有	常設展		
	マハゼ	4	有	水辺の生きもの展		
	ヒメハゼ	1	有	常設展		
	ニクハゼ	3	有	常設展		
	ミナミトビハゼ	17	有	常設展		
	クロダハゼ	12	有	常設展		
	ハタタテハゼ	2	有	常設展		
	ヒフキアイゴ	1	有	常設展		
	ナンヨウハギ	2	有	常設展		
	カレイ目	ヌマガレイ	6	有	常設展	
		イシガレイ	2	有	水辺の生きもの展	
		マコガレイ	1			
	フグ目	アミメハギ	17	有	常設展	
		カワハギ	3	有	常設展	
		ミドリフグ	17	有	常設展	
		アベニーパファー	5	有		
	総種数	95				
総個体数	1,695					

(6) 鳥類・哺乳類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
鳥網					
カモ目	アイガモ	1	有	里山のいきもの	
	アヒル	2	有	里山のいきもの	
オウム目	オカメインコ	32	有	オージードーム	
	セキセイインコ	1	有	オージードーム	
キジ目	オヒキチャボ	2	有	ふれあいコーナー、里山のいきもの	
	ゴインチャボ	1	有	オージードーム	
フクロウ目	ホンドフクロウ	1	有	里山のいきもの	
総種数	7				
総個体数	40				

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
哺乳網					
カンガルー目	オオカンガルー	5	有	オージードーム	
	バルマワビー	4	有	オージードーム	
ウサギ目	カイウサギ	2	有	ふれあいコーナー	
ネズミ目	テンジクネズミ	54	有	ふれあいコーナー	
	チンチラ	12	有	観察展示室	
	ニホンリス	2	有	出会いの広場	
	アマミゲネズミ	6	無	(展示不可)	
アフリカトガリネズミ目	ヒメハリテンレック	1	有	ふれあいコーナー	
サル目	コモンリスザル	2	有	大温室前室	
ネコ目	ネコ	3	有	きつずルーム	
ウシ目	ヤギ	2	有	ふれあいコーナー	
	ヒツジ	2	有	ふれあいコーナー	
総種数	12				
総個体数	95				

### 3. 昆虫飼育展示の主な取り組み実績

#### (1) チョウ類の月別放蝶実績

今年度は大温室に60種8,246頭、昆虫ドームに28種317頭、計72種8,563頭の放蝶を行い、各月15種500頭以上の放蝶数を達成することができました。以下に各月の放蝶種と頭数の一覧を報告します。

月別放蝶実績

分類	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
アゲハチョウ科	ナミアゲハ	27	31	16	19	21	13	35	0	2	0	4	7	175	
	クロアゲハ	0	4	0	26	2	42	1	16	1	0	23	5	120	
	シロオビアゲハ	51	110	43	50	19	9	22	56	25	10	22	20	437	
	ナガサキアゲハ	40	97	100	23	58	40	43	74	23	37	7	31	573	
	キアゲハ	0	3	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	7	
	カラスアゲハ	0	0	26	0	6	7	0	0	0	0	0	0	39	
	アオスジアゲハ	0	5	1	1	3	2	1	0	0	0	0	0	14	
	ジャコウアゲハ	17	28	13	45	48	21	11	14	2	14	9	5	227	
	ベニモンアゲハ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	23	1	0	25	
	マダラチョウ亜科	オオゴマダラ	24	14	31	22	41	14	16	35	33	35	42	24	331
リュウキュウアサギマダラ		75	62	49	33	21	22	24	39	54	17	13	17	426	
スジグロカバマダラ		0	5	6	1	9	18	3	6	24	11	8	24	115	
ヒメアサギマダラ		13	20	30	19	35	11	54	61	41	25	22	31	362	
マルバネリリマダラ		0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	
アサギマダラ		9	3	35	24	12	38	21	18	103	51	18	102	434	
ツمامラサキマダラ		37	14	21	47	8	3	14	23	18	19	30	18	252	
ツマグロヒョウモン		1	2	3	5	52	12	10	11	9	1	2	0	108	
コムスジ		20	1	54	9	30	37	48	42	40	2	0	0	283	
ルリタテハ		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
タテハチョウ科	キタテハ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
	アカタテハ	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
	ヒメアカタテハ	0	0	0	1	94	17	0	9	0	0	0	0	121	
	インガケチョウ	266	64	84	61	24	14	14	29	58	36	39	102	791	
	タテハモドキ	0	0	0	0	0	0	0	9	19	19	17	35	99	
	オオムラサキ	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
	アサマイチモンジ	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
	イチモンジチョウ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	リュウキュウムラサキ	1	3	0	0	0	0	1	0	0	68	0	0	73	
	コノハチョウ	0	45	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	46	
ジャノメチョウ亜科	サカハチチョウ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	ゴマダラチョウ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	カバタテハ	55	37	92	41	47	43	25	31	26	36	20	8	461	
	リュウキュウヒメジャノメ	19	42	29	54	24	27	45	28	17	39	41	60	425	
	サトキマダラヒカゲ	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	クロノマチョウ	7	22	1	51	1	24	3	0	9	3	2	1	124	
	クロヒカゲ	0	0	0	0	0	1	2	9	8	1	2	0	23	
	ヒメウラナミジャノメ	11	47	4	71	1	37	13	44	27	24	14	17	310	
	マサキウラナミジャノメ	0	0	0	0	0	0	0	4	0	28	19	0	51	
	シロチョウ科	モンシロチョウ	25	45	40	21	32	11	15	19	5	45	21	4	283
ツマキチョウ		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	
モンキチョウ		1	3	20	1	0	0	4	1	4	0	0	0	34	
キタキチョウ		40	40	64	38	46	29	45	56	45	26	22	18	469	
クロテンシロチョウ		38	23	33	24	17	23	15	40	50	31	29	30	353	
ウスキシロチョウ		0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	
ツマベニチョウ		2	1	32	11	7	0	24	0	0	0	0	0	77	
ムラサキシジミ		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
ムラサキツバメ		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
シジミチョウ科		ツバメシジミ	0	0	4	0	0	6	0	0	0	0	0	0	10
	ベニシジミ	1	8	9	5	28	0	0	4	2	0	17	74		
	ウラナミシジミ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	
	ヤマトシジミ	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	
	ルリシジミ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	ウラギンシジミ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	
	ツシマウラボシシジミ	175	0	200	0	0	216	0	0	0	0	0	0	591	
	チャバネセセリ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	セセリチョウ科	コチャバネセセリ	0	7	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	15
		ダイミョウセセリ	0	0	0	7	4	0	0	0	0	0	0	0	11
キマダラセセリ		0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
タイワンアオハセセリ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
イチモンジセセリ		0	0	0	0	0	0	12	26	0	0	0	0	38	
ウンモンズメ		1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
スズメガ科	ホシホウジャク	0	0	0	0	0	1	18	19	14	6	10	69		
	コスズメ	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2		
	ホシヒメホウジャク	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2		
	モモスズメ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
	ベニスズメ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
	オオスカシバ	0	0	0	0	0	1	1	4	0	0	0	6		
	シモフリスズメ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1		
	アケビヨノハ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
ヤガ科	アカエグリバ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	タマナギンウバ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	ヤマユガ	0	0	5	7	7	5	0	0	0	0	0	0	24	
合計種数	28	32	30	35	32	39	31	36	26	25	26	26	72		
合計頭数	960	791	1,047	740	702	757	525	734	666	549	501	591	8,563		

(2) 食草管理

チョウをはじめとした草食性昆虫の餌用の植物を栽培・管理しました。植物は園内の食草温室1号から5号での5棟で管理しているほか、温室の外でも管理しています。なおフサヒゲルリカミキリの食草として栽培しているヘメロカリス類については、フサヒゲルリカミキリの報告書を参照ください。



食草の播種作業の様子

分類	種名	鉢数	使用昆虫	備考
アオイ科	フソウゲ	10	ヤエヤマトガリナナフシ	
アカネ科	ヘクソカズラ	1	ホシヒメホウジャク	
アサ科	エノキ	30	オオムラサキ、ゴマダラチョウ、テングチョウ、ヒオドシチョウ	
アブラナ科	コマツナ	45	モンシロチョウ	
アブラナ科	ハダイコン	7	モンシロチョウ	
アブラナ科	セイウアブラナ	7	モンシロチョウ	
アブラナ科	キャベツ	37	モンシロチョウ	
アワブキ科	ナンバンアワブキ	2	スミナガシ、アオバセセリ	
イネ科	レモングラス	5		
イネ科	チヂレザサ	2	ヒメウラナミジャノメ、リュウキュウヒメジャノメ	
イネ科	ジュズダマ	1	クロコノマチョウ、ハツタ類	
ウマノスズクサ科	ウマノスズクサ	3	ジャコウアゲハ	
ウマノスズクサ科	リュウキュウウマノスズクサ	15	ジャコウアゲハ、ベニモンアゲハ	地植えのため株数の概算
カヤツリグサ科	シュロカヤツリ	12	ヒメウラナミジャノメ、リュウキュウヒメジャノメ	
キツネノマゴ科	ヤナギバルイラソウ	7	タテハモドキ	
キツネノマゴ科	セイタカズムシソウ	87	コノハチョウ、タテハモドキ	
キョウチクトウ科	リュウキュウガシワ	17	スジグロカバマダラ、アサギマダラ	
キョウチクトウ科	ツルモウリンカ	294	アサギマダラ、リュウキュウアサギマダラ、ヒメアサギマダラ	
キョウチクトウ科	サクララン	1	アサギマダラ	
キョウチクトウ科	マンデビラ類	3	ツمامラサキマダラ	
キョウチクトウ科	トウワタ	13	カバマダラ	
キョウチクトウ科	ホウライカガミ	100	オオゴマダラ	
キョウチクトウ科	キョウチクトウ	14	ツمامラサキマダラ、アサギマダラ	
クスノキ科	クスノキ	6	アオスジアゲハ	
クマツヅラ科	イワダレソウ	6	タテハモドキ	
クワ科	オオイタビ	6	イシガケチョウ、ツمامラサキマダラ	
クワ科	イヌビワ	2	ナミアゲハ、ナガサキアゲハ、クロアゲハ、	
クワ科	ガジュマル	8	イシガケチョウ、ツمامラサキマダラ、マルバネルリマダラ	
クワ科	ベンジャミン	9	イシガケチョウ、ツمامラサキマダラ、マルバネルリマダラ	
スイカズラ科	スイカズラ	2	イチモンジチョウ、アサマイチモンジ	
スイレシ科	ペリーズ・ファイヤー・オパール	1		レイアウトのために養生
スイレシ科	マイアミ・ローズ	1		レイアウトのために養生
スマレ科	スマレ類	118	ツマグロヒョウモン	
セリ科	ミツバ	1	キアゲハ	
タコノキ科	アダン	28	ツダナナフシ	
タデ科	ギンギン	4	ベニシジミ	
ツユクサ科	トキワツユクサ	2	コブナナフシ	
トウダイグサ科	ヒマ	7	カバタテハ	
ヒルガオ科	チアバスアサガオ	2		レイアウトのために養生
ヒルガオ科	サツマイモ	12	リュウキュウムラサキ	
フウチョウボク科	ギョボク	181	ツマベニチョウ、クロテンシロチョウ	
マメ科	ハギ類	9	キタキチョウ、コムシジ	
マメ科	ギンヨウアカシア	5	キタキチョウ	
マメ科	ヌズビトハギ	269	ツシマウラボシシジミ	
マメ科	ナンバンサイカチ	4	ウスキシロチョウ	
ミカン科	ヘンルーダ	10	ナミアゲハ	
ミカン科	サルカケミカン	9	シロオビアゲハ	
ミカン科	ミカン類	40	ナミアゲハ、ナガサキアゲハ、クロアゲハ、	
ミカン科	ミヤマシキミ	3	カラスアゲハ、クロアゲハ、ナミアゲハ	
ミカン科	カラスザンショウ	2	カラスアゲハ、ナミアゲハ、クロアゲハ、	
ミカン科	キハダ	2	ナミアゲハ、カラスアゲハ、クロアゲハ	
ミカン科	コクサギ	4	カラスアゲハ、ミヤマカラスアゲハ	
モクレン科	オガタマノキ	2	ミカドアゲハ	
ユリ科	ホトトギス	3	ルリタテハ	
	種数	54		
	鉢数	1,471		

### (3) ツシマウラボシシジミの生息域外保全

今年度も引き続きツシマウラボシシジミの生息域外保全を行いました。館内で累代飼育を行い、飼育で余剰となった生体は他の域外保全施設や現地へ放蝶されるほか、飼育技術研究へ協力のため、大学と研究機関に提供しました。

交配作業後に余剰した個体は5月と7月と9月に大温室にて一般公開しました。これらの取り組みについては「令和4年度ツシマウラボシシジミ保全検討連絡会議」内にて発表を行いました。また、3月21日には第3回ツシマウラボシシジミ保全シンポジウムにて生物園でのツシマウラボシシジミの取り組みを発表しました。

また、昨年度までおこなっていた生物多様性保全推進交付金の報告として全国昆虫施設連絡協議会で発表を行ないました。

### (4) ホタルの飼育展示実績

#### ①「ホタルの夕べ」の開催

昨年度に引き続き「ホタルの夕べ」は新型コロナウイルスの影響下での開催になりました。

ソーシャルディスタンス確保のため、定員を設けて申込み制にし、少人数での開催になりました。また、コロナ対策としてコーンバーを用いて導線を延長することで待ち時間の密を避ける工夫をしたり、送風機による空気の循環、手すりの消毒を行いました。



ホタルドームへの導線

ホタルの夕べ					
	6/2	6/3	6/4	6/5	計
ゲンジボタル	600	600	600	600	2,400

※合計は延べ展示数

#### ②その他ホタル展示実績

ホタルの夕べ以外には下記のようにホタルの観賞会を実施し、ゲンジボタル・ヘイケボタルの展示を行いました。

##### 昼のホタル観賞会(夏)

	6/11	6/12	6/18	6/19	6/25	6/26	7/2	7/3	計
ゲンジボタル	70	70	70	70	30	30	10	10	360
ヘイケボタル	10	10	20	20	60	60	80	80	340

※合計は延べ展示数

##### 光の祭典

	12/3	12/4	12/10	12/11	12/17	12/18	12/24	12/25	計
ヘイケボタル	100	100	120	120	150	150	150	150	1,040

※合計は延べ展示数

##### 昼のホタル観賞会(冬)

	1/2	1/3	1/4	1/5	計
ヘイケボタル	150	150	150	150	600

※合計は延べ展示数

#### (5) フサヒゲルリカミキリの生息域外保全について

昨年度に引き続き、全国昆虫施設連絡協議会加盟施設と協力して環境省の絶滅危惧昆虫類生息域外保全モデル事業として実施し、足立区生物園及び伊丹市昆虫館の2館でフサヒゲルリカミキリの生息域外保全に取り組んでいます。今年度の詳細な飼育状況については、添付資料「令和4年度 足立区生物園におけるフサヒゲルリカミキリの生息域外保全への取り組みについて」をご確認ください。

### 4. 両生爬虫類飼育展示の主な取り組み実績

#### (1) 樹上性トカゲ飼育場への生体導入

昨年度にボア・インペラートルが死亡したことを受け、当該個体の飼育展示場のリニューアルを行いました。今年度は展示場に樹上性のインドシナウォータードラゴン、ベルモリドラゴン、地上性のメラウケアオシタトカゲの3種のトカゲ類を展示しました。また、水辺には魚類のジャイアントダニオを導入し、多種混生飼育することで、湿潤環境に生息するトカゲ類の多様性やそれぞれの種が環境とどのように関わっているのか見ていただける展示になっています。



樹上性トカゲ飼育場

#### (2) サキシマキノボリトカゲの繁殖

展示個体の高齢化に伴い、サキシマキノボリトカゲを雌雄合わせて3個体を導入し、繁殖を行いました。その結果、計10個体の繁殖に成功しました。卵から成体までの成長に関して、一連の繁殖技術が生物園で確立できたと考えられます。今後はサキシマキノボリトカゲ以外の飼育生体の繁殖にも取り組むとともに、繁殖個体を生物交換などで利用し、他園館と積極的な交流を行うことで、生体の飼育・繁殖技術の向上も行っていきたいと考えています。



孵化したサキシマキノボリトカゲの幼体

## 5. 水族飼育展示の主な取り組み実績

### (1) サンゴの世界水槽の展示レイアウト変更

水槽の漏水による補修工事に伴い、展示レイアウトを変更しました。サンゴ礁域の複雑な地形を再現し、様々な生き物が見え隠れすることで、親子で生き物を探す楽しみを醸成する展示になることが期待されます。飼育種については順次追加し、生物多様性のホットスポットであるサンゴ礁の生態系を表現していきます。



補修したサンゴの世界

### (2) 持続可能な社会に向けた電気使用量削減の取り組み

令和元年度から持続可能な社会に向けて省エネ化の取り組みを進めています。今年度も照明のLED化や不要な設備を削減し、前年度から電気使用量を 10,407 kWh（前年度比 8.3%）削減しました。取り組み実施前の平成 30 年度と比較すると電気使用量を 54,540 kWh（32.1%）の削減に成功しました。今後も設備更新や飼育業務の効率化によって更なる削減を目指します。



LED化した金魚の大水槽

## 6. 鳥類・哺乳類飼育展示の主な取り組み実績

### (1) ニホンリスの新規導入

これまで展示を行っていたシマリス舎を活用するために、大宮公園小動物園より 2022 年 5 月 16 日にニホンリスを 2 頭譲受しました。

ニホンリスはシマリスより体も大きく、力も強いため、空中トンネルを強度あるステンレス製に改修し、展示を開始しました。

シマリスよりも活発に活動し、展示場を身軽に駆け回る姿よく観察できるようになり、来園者の皆様に楽しんでいただいています。



強化した空中トンネルを走るニホンリス

## (2) アマミトゲネズミの生息域外保全について

アマミトゲネズミは、国内野生希少動植物種および国の記念物に指定されている希少種です。JAZA と環境省は「生物多様性保全の推進に関する基本協定書」に基づき、2017年に「トゲネズミ類生息域外保全実施計画」を策定。トゲネズミ3種のうち野生個体数が比較的安定しているアマミトゲネズミについて、飼育・繁殖技術を確立するための生息域外保全に取り組んでいます。生物園では2021年度より繁殖支援施設として本種の域外保全に参画し、本年度は新たに神戸動物王国より3頭を譲り受け、延べ6頭（内1頭が3月18日に死亡）を飼育しました。

また、令和4年10月5日から10月7日にアマミトゲネズミの生息地である奄美大島にて飼育園館および研究者、環境省が会した「飼育管理検討会」が開催され、当園からも園長が出席し、生物園での飼育状況の報告を行いました。



アマミトゲネズミ飼育管理検討会

詳細は添付「足立区生物園におけるアマミトゲネズミの生息域外保全への取り組み」参照。

## 7.その他の取り組み実績

### (1) 研修・会議

日本動物園水族館協会や全国昆虫施設連絡協議会などの研修や会議の場を通じて情報交換や技術交流を実施し、研究発表も積極的に行い、年間で6題の発表を行いました。

日付	研修・会議名	主催	参加人数	備考
6月28日	第24回西日本動物園水族館両生爬虫類会議	日本両生爬虫類研究所（JAZA後援）	1	
7月4日	第21回日本動物園水族館協会関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会	公益財団法人日本動物園水族館協会	11	
7月6日	全国博物館長会議	文化庁、（公財）日本博物館協会	1	
9月6日	令和4年度全国昆虫施設連絡協議会	全国昆虫施設連絡協議会	2	□頭発表
9月10日	日本海洋教育学会設立大会	海洋教育学会設立準備会	2	
10月16日	第8回オオサンショウウオ共同研究シンポジウム	広島市安佐動物公園	3	
10月19日	第32回日本動物園水族館設備会議	公益財団法人日本動物園水族館協会	3	
11月21日	教育普及ふれあいシンポジウム～モルモットを介した学びを考える～	公益財団法人東京動物園協会	2	□頭発表
11月21日	我が国におけるクラゲ研究の発展と課題：次世代に向けたアプローチ	東京大学大気海洋研究所	1	
11月28日	第67回水族館技術者研究会	公益財団法人日本動物園水族館協会	2	□頭発表(2題)
11月30日	第32回日本動物園水族館両生爬虫類会議	日本動物園水族館両生爬虫類会議事務局	2	
12月7日	令和4年度関東東北・北海道ブロック水族館技術者研究会	公益財団法人日本動物園水族館協会	6	
12月15日	2022年度水族館参加型研修会（ワークショップ）	公益財団法人日本動物園水族館協会	1	
1月5日	環境教育一般指導者養成講習会「プロジェクトワイルド」	一般社団法人横浜港振興協会/八景島事務所	1	
1月18日	第70回動物園技術者研究会	公益財団法人日本動物園水族館協会	1	
1月20日	第63回日本動物園水族館教育研究会札幌大会	日本動物園水族館教育研究会	6	□頭発表
2月11日	チョウ類の保全を考える集い	NPO法人日本チョウ類保全協会	1	
3月13日	JAA第3回水族館研究会	日本水族館協会（JAA）	1	
3月21日	第3回ツシマウラボシシジミ保全シンポジウム	足立区、対馬市、日本鱗翅学会	2	□頭発表

(2) 交易

他園館から生体を収受することで、展示・繁殖生体の確保を行いました。また、余剰個体を譲渡することにより、他園館との連携の強化を図りました。



ニホンリス（収受）



ヒメフチトリゲンゴロウ（譲渡）

日付	相手園館	種	収受数	譲渡数	備考
5月11日	箕面公園昆虫館	ツマベニチョウ	110		卵91個 幼虫19匹
5月16日	大宮公園小動物園	ニホンリス	2		
6月7日	橿原市昆虫館	ハナカマキリ	3		
6月16日	箕面公園昆虫館	シロオビアゲハ		149	卵149個
6月17日	箕面公園昆虫館	オキナワオオミズスマシ		8	
6月21日	丸瀬布昆虫生態館	イリオモテモリバッタ		8	
6月21日	丸瀬布昆虫生態館	ツダナナフシ		3	
6月26日	丸瀬布昆虫生態館	ヘラクレスオオカブト	6		
9月1日	さいたま水族館	イセエビ	1		
9月1日	さいたま水族館	セミエビ	1		
9月1日	さいたま水族館	ソウリエビ	1		
9月1日	さいたま水族館	ホンドオニヤドカリ	1		
9月1日	さいたま水族館	ソメンヤドカリ	1		
9月1日	さいたま水族館	タカアシガニ	1		
9月1日	さいたま水族館	オオホモラ	2		
9月1日	さいたま水族館	メガネカラッパ	1		
9月1日	さいたま水族館	マルソデカラッパ	1		
9月1日	さいたま水族館	スベスベマンジュウガニ	3		
9月1日	さいたま水族館	モクスショイ	1		
9月1日	さいたま水族館	アロークラブ	1		
9月1日	さいたま水族館	オオグソクムシ	5		
9月1日	さいたま水族館	モンハナシャコ	1		
9月1日	さいたま水族館	フトユビシャコモドキ	1		
9月1日	さいたま水族館	ニシキテッポウエビ	1		
9月1日	さいたま水族館	ポウシュウボラ	2		
9月1日	さいたま水族館	オニサザエ	2		
9月1日	さいたま水族館	カコボラ	1		
9月12日	智光山こども動物園	バルマワラビー		1	
10月4日	丸瀬布昆虫生態館	リュウキュウアサギマダラ		50	卵50個
10月4日	丸瀬布昆虫生態館	ヒメアサギマダラ		65	卵65個
10月27日	箕面公園昆虫館	リュウキュウオオイチモンジシマゲンゴロウ		10	
10月27日	箕面公園昆虫館	オキナワスジゲンゴロウ		10	
11月16日	白馬五竜高山植物園	ハメロカリス・シカゴアPATCH		1	フサヒゲルリカミキリ食草
12月17日	箕面公園昆虫館	リュウキュウムラサキ	164		卵108個 幼虫58匹
3月9日	多摩動物公園	タテハモドキ		244	卵244個
3月14日	広島市森林公園こんちゅう館	ハナカマキリ	6		
3月16日	広島市森林公園こんちゅう館	ゲンゴロウ		4	
3月16日	広島市森林公園こんちゅう館	ヒメフチトリゲンゴロウ		5	
3月16日	広島市森林公園こんちゅう館	リュウキュウオオイチモンジシマゲンゴロウ		6	
3月16日	箕面公園昆虫館	ツマベニチョウ	292		卵292個
3月23日	伊丹市昆虫館	カバタテハ	596		卵596個
3月23日	伊丹市昆虫館	クロテンシロチョウ	147		卵100個 幼虫47匹
			計	1,354	564

## 第四章 連携業務

### I 利用促進・教育普及に関わる連携

#### 1. 区民協働活動の推進・支援

元漕江公園・生物園では周辺の地域や企業・団体と連携した施設運営を行うことで、地域に愛され利用される施設、区民参加型の協働施設を目指しています。今年度もさまざまな連携を行いました。

##### (1) 元漕江公園・生物園利用推進協議会

元漕江公園・生物園利用推進協議会は地域の利用者や企業、団体、学校と意見交換会を行い、要望や意見を汲み取り利用促進やサービス向上につなげるものです。今年度もミュージアムショップが中心となって足立区が多様な企業とともに生物園のお土産を開発する「生物園お土産研究会」、区内の教育施設の実務者と専門家による「教育利用研究会」、元漕江公園の活性化につなげるため周辺町会との「地域利用研究会」を開催しました。

##### ① お土産研究会

今年度も2回開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の制限上、1回のみで開催となりました。第22回お土産研究会は密を避けるため、竹ノ塚地域学習センターで開催し、企業との連携商品の販売状況や新規連携商品の紹介、オンラインショップでの売り上げ傾向等をご報告しました。また複数の企業から活動のご報告や新規連携商品のご提案を頂きました。

参加企業からは、お土産研究会参加者同士のコラボにより新たな商品が生まれて成功したことや、お土産研究会の参加をきっかけに足立区内企業同士で新たな交流が生まれていること等をお聞きすることができ、この研究会が有意義なものとなっていることがわかりました。

また今回初めて、足立区都市農業公園を含む、自然教育研究センターが運営する他拠点も参加し、オリジナルグッズ開発の輪をより広げ、参加企業にとっても新しいビジネスにつながる充実した交流となりました。

##### ② 教育利用研究会

今年度も感染症対策のために幼稚園・保育園、小学校、中学校の3つのグループが別々の日程で開催しました。

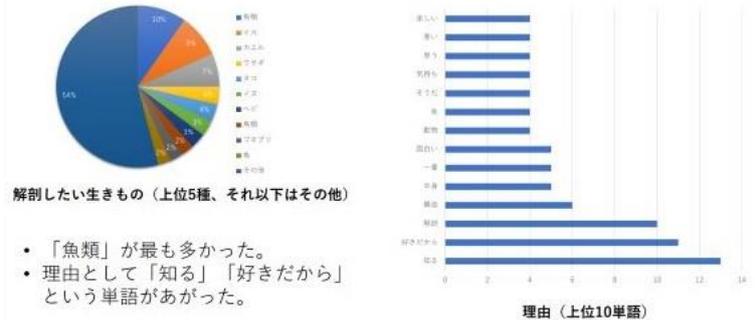
幼稚園・保育園では、作成したプログラムを委員のいる保育園の年長クラスに体験してもらい、改良を重ねました。来年度より運営を開始するため、2月から足立区内の幼稚園や保育園を中心に広報を開始し、3月からはプログラムの予約受付を開始しました。

小学校では、これまで取り組んできた腐葉土作り活動についてまとめたマニュアルの作成を進めています。活動に参加している子どもたちの声を追加するなど、委員の方々

のご意見をいただきながら、マニュアルの改善と完成を目指していきます。

中学校では、中学生の興味関心がどこにあるのかを調査するため、栗島中学校、竹ノ塚中学校にアンケートに協力していただきました。そのアンケート結果を共有しました。アンケートの結果を参考に、新規プログラムの開発を引き続き行います。また、中学生以上を対象とした「生きものふれあいボランティア」「生きものについて学び、自身の言葉で伝えるプログラム」の構築も行っていきます。

質問9 生物園で解剖のプログラムに参加する  
としたらどの生きもので行いたいですか？



中学生アンケートの結果（一部抜粋）

### ③ 地域連携研究会

元淵江公園が近隣公園本来の設置意義である「近隣住民の方々から休息やレクリエーションに利用され、その地域のシンボルとなる」ような利用促進を目的としています。

今年度の地域連携は、元淵江公園にて「第64回新年ラジオ体操会」の開催に向けて南保木間調会と足立区ラジオ体操連盟会を交えて話し合いを行いました。「第9回地域連携研究会」は令和4年10月6日に実施し、3者がそれぞれどのような役割を担っていくかを打ち合わせしました。指定管理者としては、チラシの作成や音響の設営、また記念品としてラジオ体操参加者に向けて「生物園無料入園券」を200枚提供するという形で協力をすることとなりました。

「新年ラジオ体操会」は令和5年1月4日に実施されました。多くの参加者に恵まれ、主催者側からも指定管理者の協力により、段取りよく実施できたことについて感謝の言葉をいただいております。

詳細は添付「第10回「地域連携研究会」第64回新年ラジオ体操会実施報告書」参照



お知らせポスター



ラジオ体操の様子

## (2) 地元企業との連携

生物園ではミュージアムショップを中心に、足立区の企業と連携した商品の開発や販売イベントの実施を行っています。※今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、販売イベントを休止しました。

生物園ではミュージアムショップを中心に、足立区やその周辺地域の企業と連携した商品の開発や販売イベントの実施を行っています。※今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、販売イベントを休止しました。

### • オリジナル商品開発における連携

#### 「昆虫トートバッグ ケラ/ナナフシ」

生物園の昆虫飼育スタッフがデザインした昆虫好き、生物園ファン向けのコアな昆虫グッズで、オンラインショップ限定の商品です。K-Dash design & ONION PRINT さんとの連携商品です。



昆虫トートバッグ ケラ/ナナフシ

#### 「チンチラステッカー」

人気のチンチラを合同会社 3.14 さんにデザインいただき、今回は屋外でも貼ることのできる丈夫なステッカーをご製作頂きました。生物園はチンチラの生態展示を行う数少ない施設で、チンチラ好きには有名なスポットとなっています。



チンチラステッカー

#### 「いきものタオル新柄 カエル/カブトムシ」

足立区の社会福祉法人あいのわ福祉会足立あかしあ園さんとの連携商品です。一つ一つ心のこもった手染めのハンカチタオルで生きものが染め抜きで表現されています。今年度は新たにカエル、カブトムシをご製作頂きました。



生きものタオル

#### 「NEW 足立区生物園の羊さんサシェ」

生物園で飼育しているヒツジの毛をラベンダーオイルで香りづけをしたサシェ（香袋）で、ニットキュア株式会社さんとの連携商品です。パッケージを一新し、よりヒツジらしい印象のお手頃なお土産商品として新発売しました。



NEW 足立区生物園の羊さんサシェ

### 「-GOHAN-巾着」

生物園のプログラム「ごはんの時間」を題材にした巾着で、モルモットのごはん、ピラルクのごはん、チョウのごはんの3種を発売しました。

デザインは生物園スタッフが作成し、生物園でごはんの時間を見ればその光景や体験を思い起こせるようなものとなっています。またこれらのごはんの時間は生物園のYouTubeでも配信しており、遠方の方でも動画と合わせて本グッズを楽しむことができます。

また、本商品はオーガニックコットン製で、**SDGsを意識した商品**でもあります。オーガニックコットンは有機栽培でつくられた綿であり、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献しています。有限会社クラ工業さんとの連携商品です。



-GOHAN-巾着

### 「押しモルを選べる！モルモットートバッグ」

今年度秋に行った「もっともっとモルモットキャンペーン」に合わせて発売した新商品です。

**生物園のオリジナルグッズでは初めて、足立区内3企業でのコラボ商品**で、ボタンのつけ外して容量が3段階変わるトートバッグのアイデア発明をSKプランニングさんが、生物園のモルモットデザインを生物園スタッフが、デザインのプリントをK-Dash design & ONION PRINTさんが行っています。

生物園のモルモット20種から好きなモルモットを自分で選んでカスタマイズすることができます。生物園オンラインショップ限定の受注生産品として販売し、SNSを通じて生物園に来園したことがない多くの人たちからもご購入が相次ぎました。実際に購入した方が、自分が選んだモルモットに会いにご来園する様子も見受けられました。



押しモルを選べる！モルモットートバッグ

### 「へぎTシャツ」

今年度秋に行った「もっともっとモルモットキャンペーン」中のモルモット総選挙に合わせて発売した新商品です。モルモット総選挙は総投票数1500以上というかなり多くの反響があり、その中で1位に輝いた個体「へぎ」をプリントしたTシャツとなっています。K-Dash design & ONION PRINTさんとの連携商品です。



へぎTシャツ

## 2. 区内施設・イベントとの連携

生物園では区内の様々な施設やイベントと連携し、園外で実施する出張型の展示やプログラムの実施、またはスタンプラリーなどにも協力して、生物園のPR、利用促進に努めてまいりましたが、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんどのイベントが中止となりました。

### (1) 足立区主催イベントとの連携

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、例年連携を続けてきた区主催のイベントは全て中止となり、生物園としての連携実績はありませんでした。

### (2) 区内施設との連携

生涯学習センターや中央図書館へのお出張講座や出張プログラムを行いました。

中央図書館とは Dreamnight at the zoo 2022 における、絵本の読み聞かせにもご協力いただきました。保塚地域学習センターには園内でイベントを実施してもらいました。

区内施設連携一覧

日付	内容	主催(実施場所)	参加者		協力内容
			大人	小人	
6月11日	(土) 鳥とみどりの会「野鳥観察・講演会」	東和親水公園	35	5	プログラム実施
8月4日	(木) ロールオンコロム&バスボム作り体験	生物園	21	30	会場の提供
8月6日	(土) Dreamnight at the zoo 2022内「絵本の読み聞かせ」	生物園	—	—	会場の提供
11月19日	(土) 昆虫館はすごい！トークショー	中央図書館	9	10	プログラム実施
11月14日	(月) あだち放課後子ども教室「生きもの探し」	足立区生涯学習振興公社 (中島根小学校)	0	10	プログラム実施
12月3日	(土) 昆虫館はすごい！トークショー	保塚地域学習センター	5	8	プログラム実施
3月29日	(火) こどもおしごとらんど	竹の塚地域学習センター	0	14	プログラム実施

### (3) 区内商業施設との連携

区内の商業施設である西新井の商業施設 西新井パサージュにて出張生物園を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のためモルモットなどの哺乳類とのふれあいの代わりにニシキヘビやリクガメなどの爬虫類のふれあい、標本を多数用意しました。また、生物園のポスター掲示やパンフレットなどの配布を行いました。

区内商業施設連携一覧

日付	内容	主催(実施場所)	参加者		協力内容
			大人	小人	
6月18,19日	出張生物園	西新井パサージュ	726	1,090	プログラム実施
8月27,28日	出張生物園	西新井パサージュ	1,031	1,126	プログラム実施

(4)「あだち自然の遊び場」連携

あだち自然の遊び場における連携として、都市農業公園へ「出張生物園」を行いました。  
また、互いのオリジナル商品の販売でも連携しました。

あだち自然の遊び場連携一覧

日付	内容	主催(実施場所)	参加者		協力内容
			大人	小人	
7月30,31日	出張生物園	都市農業公園	130	151	プログラム実施

3. 区外施設・イベントとの連携

今年度も区外の施設とも連携し、展示への協力やプログラムの実施を通し生物園の PR、  
利用促進にも努めました。

区外施設・イベントとの連携一覧

日付	内容	主催(実施場所)	参加者		協力内容
			大人	小人	
6月12日 (日)	生物園からみた命の誕生	川口市立科学館	20	30	講演会実施



## Ⅱ 大学等との連携・共同研究

### 1. 連携・共同研究一覧

主な研究テーマ	協力者(敬称略)	
ぼうけんあそびを通した子どもたちの自己肯定感育成の効果測定	東京未来大学	横畑泰希
プレーリーダーの養成に関する方法の確立		
モルモットのストレスチェック	帝京科学大学	並木美砂子
ふれあいコーナーリニューアル計画		
帝京科学大学×生物園の地域連携活動		
ツシマウラボシジミの飼育に関する技術開発	東京大学博物館	矢後勝也
	大阪府立大学	平井規央
	長崎バイオパーク	伊藤雅男
	箕面公園昆虫館	清水聡司
フサヒゲルリカミキリの飼育技術開発	伊丹市昆虫館	田中良尚
	兵庫県立大学	中濱直之

### 2. 連携・共同研究の進捗状況

#### (1) 子どもの居場所づくりプロジェクトに関する研究

##### ① 「ぼうけんあそびを通した子どもたちの自己肯定感育成の効果測定」

- 共同研究者：東京未来大学 こども心理学部 こども心理学科 横畑泰希先生

横畑先生と話し合いを進めていく中で、自己肯定感育成の効果測定をするよりも先に、ぼうけんあそびを「居場所」として確立していくためにも、今の子どもたちが何を求めているのかを調べるのが先だという結論に至りました。「子どもが求めるあそび」に関するアンケート調査を実施することを決め、質問項目を作成中です。来年度はアンケートの内容を精査し、近隣小学校への配布を行いたいと考えています。

##### ② 「プレーリーダーの養成に関する方法の確立」

- 共同研究者：東京未来大学 こども心理学部 こども心理学科 横畑泰希先生

本年度プレーリーダーからの「遊べない子との関わり方」にまつわる質問に回答してもらいました。遊んでいるようにみえて遊べていない子がいること、周囲の大人がその子の心を推測、想像して関わる必要があること、関り方はあそびに「導く」よりも「待つ」というスタンスであることなど、プレーリーダーが活動をする際の心の在り方を教えていただきました。

来年度は「遊び」にまつわる講習の他に、プレーリーダー意見交換会を実施する予定です。活動中のエピソードを集め、1人1人の子どもとの関わり方をふりかえり、先生からアドバイスをもらうことで、子どもとの関わり方を検討していく場にしたいと考えています。

## (2) ふれあい動物プロジェクトに関する研究

### ①「モルモットのストレスチェック」

- 共同研究者：帝京科学大学 生命環境学部 アニマルサイエンス学科 並木美砂子先生  
モルモットを介在させたふれあい活動において、懸念される生体への「ストレス」について、引き続き帝京科学大学との共同研究を実施しました。今年度は、その場で簡易に測定できる方法の開発を目的として、「耳穴もしくは鼠径部の体温測定値の変化」に着目して実験を行いました。この方法が確立できれば、参加者とともに福祉状態をモニタリングしながら、モルモットとのふれあいを可能とするプログラムを開発していけると考えています。



帝京科学大学との共同研究

### ②「ふれあいコーナーリニューアル計画」

- 共同研究者：帝京科学大学 生命環境学部 アニマルサイエンス学科 並木美砂子先生  
ハード面の劣化、不整合なゾーニング、動物福祉に対する気運の高まり等、様々な点において生物園のふれあいコーナーは課題を抱えています。現在、楽しみながら動物福祉を学べるふれあいコーナーのリニューアルに向けてプランを策定しており、帝京科学大学の並木美砂子先生に監修を依頼しています。コンセプトの整理とプログラムの開発などについてご助言を仰ぎ、令和 5 年度に新たなふれあいコーナーのビジョンを所管課に提出し、協議の上改修に向けて計画を進めていきたいと考えています。

### ③「帝京科学大学×生物園の地域連携活動」

- 共同研究者：帝京科学大学 生命環境学部 アニマルサイエンス学科 並木美砂子先生  
帝京科学大学が、区内小学校低学年向けに「動物介在活動」の一環として、大学/小学校/生物園が連動した動物介在教育のプログラム確立を目指しています。内容は、生物園の生体を題材とし、事前学習で観察予定の生きものを想像し、当日に実際に生物園で観察、事後学習で共有するというもので、令和 4 年度は 2 校を対象に試験的に本取組が行われました。本プログラムで使用するワークシートについても共同開発しました。

また、令和 4 年 11 月 21 日に公益財団法人東京動物園協会主催の「教育普及ふれあいシンポジウム～モルモットを介した学びを考える～」が井の頭自然文化園にて行われました。「ふれる・ふれないの二元論ではなく、よりよい学びを与えることが必要」というテーマ設定で、上記の取組みを含めた生物園のふれあい体験の事例紹介を行いました。



「ふれあいシンポジウム」での発表

(3) 絶滅危惧種を救うプロジェクトに関する研究

① 「ツシマウラボシシジミの飼育に関する技術開発」

- 共同研究者：東京大学総合研究博物館 矢後勝也先生  
：大阪府立大学 生命環境科学研究科 生命環境科学部 平井規央先生  
：長崎バイオパーク 伊藤雅男氏  
：箕面公園昆虫館 清水聡司氏

本種は近年個体数が激減したチョウの一種であり、2013年に野外で確認された数個体を累代して生息域内保全、生息域外保全に充ててきました。生物園では2014年春から本種の飼育を続けてきており、この間野外からの新規ファウンダーの導入は行っていません。2020年にはオガサワラシジミの飼育個体群が途絶しました。原因として近郊弱性の可能性が挙げられており、本種においても対策が求められています。

そこで、生物園で飼育している本種を3系統に分けて管理し、東京大学総合研究博物館及び、大阪府立大学と連携してDNA解析を行い、遺伝的多様性を確保するための研究に着手しました。

今年度においては東京大学総合研究博物館の作業遅延により遺伝子解析まで着手できませんでしたが、しかし、研究機関や長崎バイオパーク、箕面公園昆虫館と協力し本種の蛹での雌雄同定の技術を向上するための話し合いの場が設けられました。これにより交配時によりスムーズに交配できるようになることが期待されます。

② 「フサヒゲルリカミキリの飼育技術開発」

- 共同研究者：伊丹市昆虫館 田中良尚氏  
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 中濱直之先生

フサヒゲルリカミキリは、現在岡山県でのみ確実に生息が確認されるカミキリムシです。

本種は、生息域の縮小や個体の減少が著しく危機的な状況にあり、現在は環境省レッドリスト絶滅危惧ⅠA類(CR)、国内希少野生動植物種、長野県特別指定希少野生動植物種、岡山県指定希少野生動植物に指定されています。このような状況の中で2018年に「絶滅危惧昆虫類の生息域外保全モデル事業」が実施されることとなり、飼育下繁殖に向けた取り組みを足立区生物園と伊丹市昆虫館の2館で開始いたしました。

なお、本事業は環境省や伊丹市昆虫館と連携、打ち合わせを行いながら進めており、本年度出席した会議等の実績は次の通りになります。

- ・フサヒゲルリカミキリ域外保全打ち合わせ  
令和4年5月26日(木) リモート 出席者：腰塚
- ・令和4年度中国山地草原性希少昆虫保護増殖事業検討会  
令和4年6月1日(水) リモート 出席者：関根、腰塚
- ・令和4年度フサヒゲルリカミキリ飼育等技術交流会  
令和4年6月24日(金)～25日(土) 白馬五竜高山植物園  
出席者：関根、腰塚(リモート)
- ・ヘモロカリス類現状視察及び供給の打合せ  
令和4年7月20日(水)～21日(木) 白馬五竜高山植物園  
出席者：腰塚

- 令和 4 年度中国山地草原性希少昆虫保護増殖事業検討会(第 2 回)  
令和 4 年 9 月 9 日(金) リモート 出席者：腰塚
- 令和 4 年度昆虫館と環境省の連携による生息域外保全に関する意見交換会  
令和 5 年 1 月 31 日(火) リモート 出席者：関根、腰塚

さらに、今年度は兵庫県立大学自然・環境科学研究所の中濱様に協力を頂き、本種の飼育個体の遺伝的多様性等について調査を行いました。飼育個体の体の一部をサンプルとして送り、集団遺伝子解析を実施して頂きました。

## 第五章 施設維持管理業務

### I 元湊江公園の維持管理業務

#### 1. 公園管理上の留意事項

本共同体は、元湊江公園の維持管理業務を遂行するにあたり、「元湊江公園・生物園管理運営業務仕様書」に基づき、以下の点に留意し、適正かつ、適切な公園の維持管理に努めました。

- 日常及び定期的な施設の点検と修繕、清掃などの保守管理を適切に行うとともに、遊具や工作物の故障、台風や降雪等、休園日・夜間においても緊急時に迅速に対応できる体制を確保すること。
- 公園内の見回りを行い、他の公園利用者や近隣住民等の迷惑や危険となる行為については、適正かつ安全な利用を行うよう指導すること。  
(特に喫煙や犬のノーリード、自転車走行、バイクの乗り入れ、草地広場のボール遊びなど)
- 不審者・不審物の発見に努め、不法占拠等、不適切な利用が確認された場合は、公園管理者として撤去、退去を指導すると共に、必要に応じて区と協議し、必要な措置をとること。

#### 2. 公園維持管理業務の主な内容

##### ① 公園内清掃作業

園内は毎日、ゴミ拾い清掃や掃き清掃を適宜組み合わせで行いました。園路・広場、園地の清掃を行い、常に園内をきれいな状態に保つことに努めました。公園外周道路の落葉やゴミについても清掃範囲にふくむものとし、定期的に外周清掃を行いました。またトイレは毎日水洗いを行い、衛生面に配慮した清掃を行いました。ゴミは分別を行ったうえで所定箇所に集積し、適切に処理をしました。その他公園入口の噴水モニュメントや排水口など、適宜高圧洗浄等を行い、美観の保持に努めました。

##### ② 樹木管理

来園者の安全を最優先事項とし、枯枝の有無を日常的に点検し、発見次第速やかに撤去を行いました。樹木の剪定や刈り込み時は、樹木特性に応じて最も適切な時期と方法で行いました。高木に関しては定期的に高所作業車を使用し剪定や間引き作業などを、計画的に行いました。園内で発生した剪定枝等は定期的にチップ化して遊具広場を中心に敷き均すなど園内リサイクルに努めました。

##### ③ 病虫害防除及びカラスの巣撤去

病虫害防除にあたっては早期発見に努め、剪定防除、補殺等により行いました。定期的に点検を行ったので、薬剤を使用する必要はありませんでした。

東京都に鳥獣捕獲申請を行い、カラスの巣を撤去する場合は鳥獣保護法を遵守し、対応しました。なるべく産卵前に行い、産卵後は注意看板を設置して被害防止措置を講じ、早期に対応しました。卵、ヒナの撤去は必要最小限に留めました。

#### ④ 植込み地及び草地管理

公園利用者の憩いと安全に配慮し、定期的に除草、草刈りを行いました。来園者が公園を快適に利用できるように、草の刈り高を少し高めに設定し、埃が立ちにくいように配慮しました。草地広場のうち、草地Aについては年 10 回程度均一に機械刈りを行い、草地Bについては、半面ずつ交互に刈込み、「いきもの原っぱ」として昆虫などが生息出来る環境づくりに努めました。半面を交互に年 10 回程度機械刈りを行いました。また草地A、B以外の草地については、年 10 回程度均一に機械刈りまたは除草を行いました。(図 1 参照)。刈草は基本的には刈放しとしましたが、状況に応じ場外処分としました。A、B以外の草地は公園利用者の利用状況やイベントに合わせた作業を行いました。



(図 1)

#### ⑤ 花壇管理

公園正面の花壇及びに庭園内プランターは、季節に応じて年間3回、草花の植付けを行いました。定期的に花柄摘みや灌水をボランティアさんと一緒に行い、景観の維持に努めました。公園正面入口花壇は、来園者の方を迎え入れるスペースとして、花の色は華やかなものを選び植え付けました。また草花の植え替え時には種名板を毎時更新し、草花の名前や特徴を来園者にお知らせしました。

#### ⑥ 遊具点検

月1回、定期的な目視、触診等による遊具及び工作物の点検を行い、ボルトナットの増し締め、滑り止めや緩衝材の取り付け、グリスアップ、遊具の再塗装、消耗部品の交換などを行いました。また毎日の遊具広場の清掃作業時も目視による点検を行い、安全管理を心掛けました。その他年1回、区が委託する専門業者による点検を行い、点検結果に従い速やかに修繕を行いました。

⑦ つり池清掃・釣り池噴水装置点検

水面のゴミや落葉等を網等で随時除去しました。鯉、鮒の死亡数、水温を毎日記録し、月報に添付し報告しました。また釣り池内に設置してある循環ポンプも適宜清掃点検を行いました。

⑧ 施設改修

・六角堂解体工事（5/9～13）

支柱や座板の経年劣化により、倒壊の可能性もあり、公園利用者の安全を第一と考え、六角堂の解体工事を行いました。

・遊具広場改修

日都産業（株）による年次点検において、大型4連ブランコとステンレス滑り台が旧規格のため、現在の安全基準を満たしていない点が指摘されました。指定管理者としても、利用者の安全を担保できる状態ではないと考え、「遊具広場改修計画」を立案し、区と協議の上今年度より着工しました。今年度は、上述2種の撤去と新設を行いました。

※元渚江公園の維持管理作業の詳細については、月報をご参照ください。ここでは、実施した作業を一覧表「令和4年度施設維持管理業務年間報告（元渚江公園）」でご報告させていただきます。また、共同体直営作業のうち主なものを写真でご報告することとします。

3. 令和4年度 施設管理業務実施報告（元渚江公園）

作業内容	実施回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
公園維持管理													
公園内清掃	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
噴水モニュメント高圧洗浄	適宜					8日							
樹木剪定	適宜												
枯枝撤去	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
落葉清掃	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
剪定枝・枯れ枝・チップ化	適宜				適宜	適宜	適宜			適宜	適宜	28日	1・2日
病害虫駆除	適宜		適宜	適宜				適宜					
カラスの巣 撤去	適宜	適宜											
除草 ※草地広場の刈込日	10回	19日	2・20日	13日	6・21日	3・25日	12・29日	3・27日					20日
花壇植栽・管理	適宜	適宜	12日	適宜	適宜	適宜	8日	適宜	適宜	8日	適宜	適宜	適宜
遊具日常点検	12回	29日	26日	26日	25日	29日	26日	24日	24日	27日	30日	27日	30日
釣り池 清掃	適宜	適宜	適宜	適宜			適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
釣り池 噴水装置清掃	適宜				14日			13日					
公園内 補修	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
スマラブ発砲錠投与	7回		9日	18日	9日	15日	11日	8日					
公園曝気槽清掃 丸三興業	1回							26～28日					
公園機械設備 甲府ビルサービス	1回							27～29日					
高所作業車	6回		6日			22日	16日		14日			2日	16日
公園照明巡回点検	2回				5日						27日		
		計画	適宜	除草	実行	濯水	仕舞いの予定						

#### 4. 公園維持管理作業の様子

##### ■公園内清掃作業

落葉、ゴミ、トイレなどの清掃作業 公園外周の清掃 排水口の清掃など



##### ■噴水モニュメント高圧洗浄

高圧洗浄機を使用しての洗浄作業を行った。



## ■ 樹木剪定

樹木の特徴に合わせて適期に剪定作業を行う。樹木の大きさによっては高所作業車を使用した。



## ■ 枯枝撤去

日常の巡回作業を行い、発見次第随時対応した。



■剪定枝・枯枝・チップ化

公園内で発生した剪定枝や枯枝をチップ化して公園内に敷きならす。緑のリサイクルを実行した。



■病虫害防除

定期的に点検を実施し早期発見に努め、剪定防除、補殺等により対処した。



■カラスの巣撤去

枯枝の点検と同じく日常点検を行い、発見次第対処した。



■除草

機械刈りや手作業での除草作業を行った。



## ■花壇植栽・管理

年間3回の植え替え作業を実地した。日常管理として花柄摘みや灌水作業などを行い維持管理に努めた。



## ■遊具日常点検

毎月1回定期遊具点検を行った。



■ 釣り池および噴水装置清掃

釣り池内の噴水を洗浄する。状態を確認し水中ポンプを解体し清掃を行った。



■ 公園内 補修

日常点検を行い修繕の対応を行った。



■スミラブ発砲錠投与

5月から10月まで毎月1回、雨水枳へスミラブ発砲錠を投与した。



■施設改修

六角堂解体



■施設改修

遊具広場改修



## Ⅱ 生物園の維持管理業務

### 1. 生物園維持管理業務の主な内容

#### ① 館内清掃

利用者が施設を気持ちよく利用できるよう、定期清掃、日常清掃、メンテナンスを計画的に実施し、常に館内の美化及び衛生管理に努めました。

#### ② 植物管理

各種熱帯植物や雑木、野草、水生植物等についてその特性や生態的役割について十分理解し、剪定、除草、間引等必要な作業を適宜行いました。また、来園者が生物を安全に観察しやすいように管理を行いました。

#### ③ 機械設備

日常及び定期的な施設点検を行い、施設及び工作物の適正な維持管理に努めました。毎日温度や機械数値のデータを観測し、異常の有無を早期発見出来るようにして施設の異常が発見された場合は、速やかに修繕し対応しました。

維持管理の仕様は、特記仕様書のほか東京都建設局「設備保守標準仕様書」及び「足立区維持保全業務標準仕様書」に基づき実施しました。

#### ④ 補修・修繕

日々の巡回などで発見した破損箇所は放置することなく、安全面を考慮して、共同体直営で補修、修繕を行いました。また、技術的に困難な場合は、立入禁止柵などを設け、安全を確保した後、専門業者に修繕工事の発注を行いました。

※生物園の維持管理作業の詳細については、月報をご参照ください。ここでは、実施した作業を「令和4年度施設維持管理業務実績表（生物園）」でご報告させていただきます。また、共同体直営作業および委託作業のうち、主なものを写真でご報告することとします。

## 2. 令和4年度 施設維持管理業務実施報告（生物園）

作業内容		実施回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
館内清掃														
定期清掃	6回													
丸三興業			11日		13日			12日	31日	14日	12日		13日	
大温室ガラス清掃	1回										19日			
フジメンテニール														
除塵	毎日		毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
各所水拭き・洗剤拭き	毎日		毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
ゴミ収取	毎日		毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
消耗品補充	適宜		4・6・7・10・12・21 19~24・26~30日	1・3・5・10~15 17~18・20~22 24~29・31日	1~5・7~13 14~19・21~26 28~30日	1~3・5~10 12~18・20・21 23~30日	1~8・10~14 16~18・20~22 24~27・29~31日	1~4・6~11 13~19 19~26・28~30日	1~10・12~16 18~26・28~30日	2~14・16~28 30日	1~11・13~18 20~29日	2~9・11~16 17~31日	1~12・14~19 21~26・28日	1~8 10~31日
植物管理			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
散水	毎日		毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
剪定	適宜		11日	23日	13日	11日	13・15・18・29・29日	10・26日	31日	28日	3・10・10・29・29日	30日	27日	13日
除草	適宜		1・3・4~5・9~10 12~16・18~23 25~29日	1・2・5~13・15 17・20 22~27・29~31日	1~3・7~8・12~17 16・21~22・24 26~30日	1~12・16・18~21 23~31日	1~7~9・11 14~18 22・26~28・31日	1~3・5・12~15 16・21~22・30・31日 22・26~28・31日	3・4・10・12・13 15~18・21 23~28・30・31日	2・3・7・9・13・16 20~29日	2・5・6・8・16 18~24 26~31日	2・3・6・7・9 13・16・20・23・24 26~27・29・30・31日	1~2・4・7~9 11~14~17 20~24・28日	2・3・21・22・25 28~30日
間引き	適宜						13・15・18・29日			28日	12日			
補植・植替等	適宜						13・15・18・29日			4・16・22・27日	3日	8日		3日
機械設備			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エレベーター	毎日【遠隔監視】		毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
	毎月【遠隔診断】		30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日
自立ビルシステム	4回【有人点検】		13日			4日			17日			16日		
自動ドア	2回							12日						13日
ナブコシステム														
消防用設備	2回								24日					20日
吉田防災														
機械警備	毎日		毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
セコム			毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
自家用電気工作物	6回【月次点検】		15日		6日		4日		24日		8日		7日	
	1回【年次点検】								24日					
関東電気保安協会	毎日【遠隔監視】		毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
吸収式冷温水機(ガス焚)	2回			27日					28日					
甲府ビルサービス														
温水ボイラー	3回							26日				23日		13日
甲府ビルサービス														
湧水・排水槽	1回				14日									
甲府ビルサービス														
電話	2回					25日						23日		
足立通信工業														
自動制御設備総合点検	1回												27日	
甲府ビルサービス														
環境測定	6回		27日			20日		26日		10日		23日		13日
甲府ビルサービス														
グリストラップ	3回													
丸三興業					27日				25日				28日	
設備遠隔監視	毎日		毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
アズビル														
定期巡回点検	毎月		13日	16日	13日	11日	8日	12日	17日	14日	12日	16日	13日	20日
アズビル														
第二種 ヘッター	1回								7日					
第二種 密閉式膨張タンク	1回					2日								
ポンプ類	1回						6日							
空気調和機 AHU	2回						7日					7日		
ファンコンベクター 19基	2回							3~7日				1~10日		
エアコン 空調機 24基	2回						1~7日					1~31日		
排気ファン	1回											8日		
加熱冷却ユニット	2回					1~4日			7・11日					
ポンプ類(雑)	1回								9日					
天窓・自動	1回										14日			
フィルター洗浄	6回		3~8日		7~9日		12・14日		11日		4日		5日	
クーリングタワー	4回		1・2日			4・10日		4・6日		2日				
塩素除去装置	4回				30日			30日			31日			31日
			計画		実施									

### 3. 生物園維持管理作業の様子

#### ■各所水拭き、洗剤拭き

モップによる水拭き、洗剤を用いてのポリッシャー掛け、高圧洗浄など



#### 除塵、清掃作業

館内、庭園内、大温室のゴミの清掃



■ゴミ収集、消耗品補充



■除草

庭園や食草温室周りの除草作業



■灌水

大温室、庭園、食草温室の灌水作業 スプリンクラーが届かない部分の手灌水。



## ■ 剪定作業

大温室や庭園の剪定作業 閉園後や休園日に作業を行いチョウなどの昆虫に適した環境を創り出す。



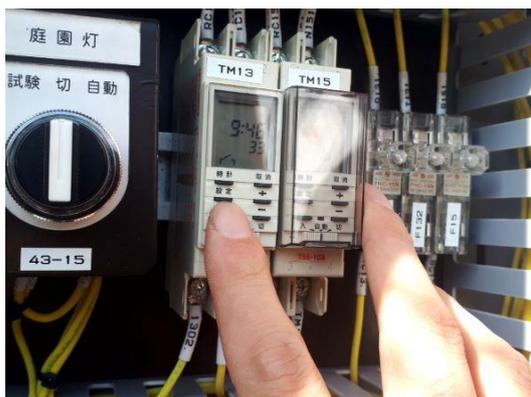
## ■ 間引き、植え替え、補植

食草温室や大温室、庭園での間引き作業や植え替え、補植作業



## ■ 機械設備（定期点検・維持補修）

電気、水道、ガスなど資料状況の確認や機器類の点検清掃作業





■補修・修繕

軽微な破損の補修、修繕作業



■機械設備（再委託業者による点検・維持補修）

ボイラー、消防機器などの有資格者点検や特殊技術を要する清掃作業



